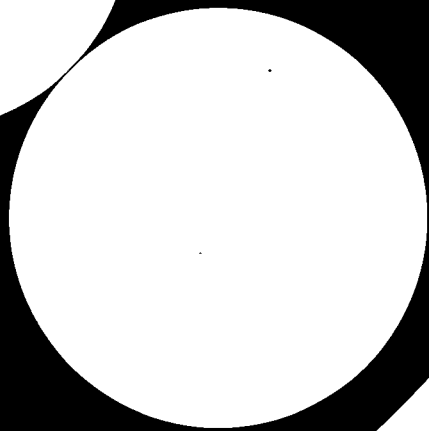
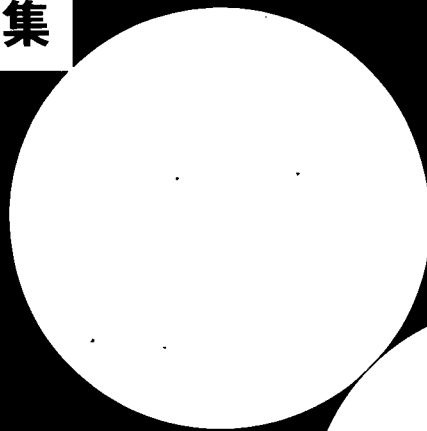


**J.LEAGUE
HANDBOOK
1993**

J.リーグ規約・規程集



J. LEAGUE HANDBOOK

■ 社団法人 日本プロサッカーリーグ規約・規程集 ■

1993年版

社団法人 日本プロサッカーリーグ

〒101 東京都千代田区内神田3丁目19番8号 櫻井ビル4階

電話 03 (3257) 4871

FAX 03 (3257) 4875

Jリーグ [社団法人 日本プロサッカーリーグ]

■ 理事会

- | | | |
|--------------------------|----------------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 理事長
(チェアマン) | 川淵三郎 |
| <input type="checkbox"/> | 専務理事 | 森健児 |
| <input type="checkbox"/> | 常務理事 | 木之本興三 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 小倉純二 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 長沼健 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 岡野俊一郎 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 村田忠男 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 浅見俊雄 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 小宮喜久子 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 三ッ谷洋子 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 福田浩平 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 福小川一成 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 熊地洋二 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 西垣成一 |
| <input type="checkbox"/> | 理事 | 松下正幸 |
| <input type="checkbox"/> | 監事 | 古村宏 |
| <input type="checkbox"/> | 監事 | 清水泰男 |

■ 裁定委員会

- | | | |
|--------------------------|-----|----------------|
| <input type="checkbox"/> | 委員長 | 筧榮一 |
| <input type="checkbox"/> | 委員 | 下河辺淳 |
| <input type="checkbox"/> | 委員 | 本林徹 |
| <input type="checkbox"/> | 委員 | クリストファー マクドナルド |

Jクラブ [正会員]

■ 鹿島アントラーズ

- | | | |
|--------------------------|-------|-------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 法人名 | 株式会社 鹿島アントラーズ・エフ・シー |
| <input type="checkbox"/> | 代表取締役 | 間中峻 |
| <input type="checkbox"/> | 実行委員 | 牛島洋 |
| <input type="checkbox"/> | 所在地 | 〒314 茨城県鹿島郡鹿島町栗生東山 2887 |
| <input type="checkbox"/> | 電話 | 0299 (84) 6800 |
| <input type="checkbox"/> | F A X | 0299 (84) 6825 |

■ 東日本ジェイアール古河サッカークラブ

- 法人名 株式会社 東日本ジェイアール古河サッカークラブ
- 代表取締役 福田 浩平
- 実行委員 福田 浩平
- 所在地 〒279 千葉県浦安市舞浜 26
- 電話 0473 (54) 9069
- F A X 0473 (54) 9297

■ 三菱浦和フットボールクラブ

- 法人名 株式会社 三菱自動車フットボールクラブ
- 代表取締役 清水 泰男
- 実行委員 清水 泰男
- 所在地 〒336 埼玉県浦和市仲町2-4-1
- 電話 048 (832) 3240
- F A X 048 (822) 0324

■ 読売日本サッカークラブ

- 法人名 株式会社 読売日本サッカークラブ
- 代表取締役 小川 一成
- 実行委員 河野 慎二
- 所在地 〒206 東京都稲城市矢野口 3294
- 電話 044 (946) 3030
- F A X 044 (946) 3040

■ 日産 F.C. 横浜マリノス

- 法人名 日産フットボールクラブ 株式会社
- 代表取締役 高木 孝一
- 実行委員 熊地 洋二
- 所在地 〒221 神奈川県横浜市神奈川区新子安1-37-1
- 電話 045 (434) 2331
- F A X 045 (402) 4822

■ 全日空佐藤工業サッカークラブ

- 法人名 全日空スポーツ 株式会社
- 代表取締役 伊地知 尚
- 実行委員 泉 信一郎
- 所在地 〒100 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル11階
- 電話 03 (3592) 3622
- F A X 03 (3592) 5249

■ 清水F C エスパルス

- 法人名 株式会社 エスラップ・コミュニケーションズ
- 代表取締役 戸塚 陽式
- 実行委員 小松 敏雄
- 所在地 〒442 静岡県静岡市栗原 198
- 電話 054 (262) 9898
- F A X 054 (262) 9559

■ 名古屋グランパスエイト

- 法人名 株式会社 名古屋グランパスエイト
 - 代表取締役 豊田 章一郎
 - 実行委員 西垣 成美
 - 所在地 〒460 愛知県名古屋市中区栄5-1-32 久屋ワイエスビル6階
 - 電話 052 (242) 9180
 - F A X 052 (242) 9194
-

■ パナソニックガンバ大阪

- 法人名 株式会社 松下サッカークラブ
 - 代表取締役 山田 利郎
 - 実行委員 山田 利郎
 - 所在地 〒571 大阪府門真市大字門真1006
 - 電話 06 (908) 1610
 - F A X 06 (908) 3288
-

■ サンフレッチェ広島 F. C

- 法人名 株式会社 サンフレッチェ広島
 - 代表取締役 古田 徳昌
 - 実行委員 西田 剛太郎
 - 所在地 〒730 広島県広島市中区大手町3-8-11 植むらビル5階
 - 電話 082 (247) 3255
 - F A X 082 (247) 3115
-

Jクラブ〔準会員〕

■ ヤマハFC ジュビロ磐田

- 法人名 株式会社 ヤマハフットボールクラブ
 - 代表取締役 塩川 信夫
 - 実行委員 内藤 元巳
 - 所在地 〒438 静岡県磐田市新貝2500
 - 電話 0538 (36) 2000
 - F A X 0538 (37) 9404
-

■ 日立フットボールクラブ 柏レイソル

- 法人名 株式会社 日立スポーツ
 - 代表取締役 佐藤 東里
 - 実行委員 有賀 久夫
 - 所在地 〒101-10 東京都千代田区神田駿河台4-4 ヘンミ第1ビル4階
 - 電話 03 (3253) 0141
 - F A X 03 (3258) 1105
-

■ フジタサッカークラブ

- 法人名 株式会社 フジタスポーツクラブ
-

- 代表取締役 高 島 勇
- 実行委員 重 岡 一
- 所在地 〒 151 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15
- 電 話 03 (3402) 1911
- F A X 03 (5410) 2477

社団法人日本プロサッカーリーグ 定 款

第 1 章 総 則

- 第 1 条〔名 称〕 P. 1
- 第 2 条〔事務所〕 P. 1
- 第 3 条〔支 部〕 P. 1

第 2 章 目的及び事業

- 第 4 条〔目 的〕 P. 1
- 第 5 条〔事 業〕 P. 1

第 3 章 会 員

- 第 6 条〔種 別〕 P. 2
- 第 7 条〔入 会〕 P. 2
- 第 8 条〔入会金及び会費〕 P. 2
- 第 9 条〔資格の喪失〕 P. 2
- 第 10 条〔退 会〕 P. 2
- 第 11 条〔除 名〕 P. 3
- 第 12 条〔会費等の不返還〕 P. 3

第 4 章 役員及び職員

- 第 13 条〔役 員〕 P. 3
- 第 14 条〔役員を選任〕 P. 3
- 第 15 条〔理事の職務〕 P. 3
- 第 16 条〔監事の職務〕 P. 4
- 第 17 条〔役員任期〕 P. 4
- 第 18 条〔役員解任〕 P. 4
- 第 19 条〔役員報酬〕 P. 4
- 第 20 条〔顧 問〕 P. 4
- 第 21 条〔事務局〕 P. 4

第 5 章 総 会

- 第 22 条〔構 成〕 P. 5
- 第 23 条〔開 催〕 P. 5
- 第 24 条〔招 集〕 P. 5
- 第 25 条〔議 長〕 P. 5
- 第 26 条〔議決事項〕 P. 5
- 第 27 条〔定足数等〕 P. 5
- 第 28 条〔会員への通知〕 P. 5
- 第 29 条〔議事録〕 P. 6

第 6 章 理 事 会

■ 第 30 条〔構成〕	P. 6
■ 第 31 条〔理事会の開催〕	P. 6
■ 第 32 条〔招集〕	P. 6
■ 第 33 条〔議長〕	P. 6
■ 第 34 条〔定足数等〕	P. 6
■ 第 35 条〔議事録〕	P. 7

第 7 章 実行委員会

■ 第 36 条〔実行委員会〕	P. 7
-----------------	-------	------

第 8 章 資産及び会計

■ 第 37 条〔資産の構成〕	P. 7
■ 第 38 条〔資産の種別〕	P. 7
■ 第 39 条〔資産の管理〕	P. 7
■ 第 40 条〔基本財産の処分の制限〕	P. 8
■ 第 41 条〔経費の支弁〕	P. 8
■ 第 42 条〔事業計画及び収支予算〕	P. 8
■ 第 43 条〔収支決算〕	P. 8
■ 第 44 条〔特別会計〕	P. 8
■ 第 45 条〔長期借入金〕	P. 8
■ 第 46 条〔新たな義務の負担等〕	P. 8
■ 第 47 条〔会計年度〕	P. 8

第 9 章 定款の変更及び解散

■ 第 48 条〔定款の変更〕	P. 9
■ 第 49 条〔解散〕	P. 9
■ 第 50 条〔残余財産の処分〕	P. 9

第 10 章 雑 則

■ 第 51 条〔書類及び帳簿の備置等〕	P. 9
■ 第 52 条〔細 則〕	P. 9

J リ ー グ 規 約

■ 社団法人 日本プロサッカーリーグ 規約 ■

第 1 章 総 則

■ 第 1 条〔Jリーグの目的〕	P. 11
■ 第 2 条〔本規約の趣旨〕	P. 11
■ 第 3 条〔遵守義務〕	P. 11

第 2 章 組 織

第 1 節 理 事 会

■ 第 4 条〔理事会〕	P. 11
■ 第 5 条〔理事会の権限〕	P. 12

第2節 理事長

- 第6条〔理事長〕…………… P.12
- 第7条〔理事長の権限〕…………… P.12

第3節 実行委員会

- 第8条〔構成〕…………… P.12
- 第9条〔招集〕…………… P.12
- 第10条〔招集権者および議長〕…………… P.13
- 第11条〔権限〕…………… P.13
- 第12条〔定足数および決議要件〕…………… P.13
- 第13条〔代理出席〕…………… P.13
- 第14条〔議事録〕…………… P.13
- 第15条〔事務局〕…………… P.13

第4節 その他の委員会

- 第16条〔専門委員会〕…………… P.13

第5節 事務局

- 第17条〔事務局の設置〕…………… P.14
- 第18条〔事務局の運営〕…………… P.14

第3章 Jクラブ

- 第19条〔Jクラブの資格要件〕…………… P.14
- 第20条〔入会金および会費〕…………… P.15
- 第21条〔Jクラブのホームタウン(本拠地)〕…………… P.15
- 第22条〔Jクラブの権益〕…………… P.15
- 第23条〔財務内容の開示〕…………… P.16
- 第24条〔株主の変更等〕…………… P.16
- 第25条〔役職員等の禁止事項〕…………… P.16
- 第26条〔名称および活動区域等〕…………… P.16
- 第27条〔準会員に関する特則〕…………… P.17

第4章 競 技

第1節 競技場

- 第28条〔競技場の確保と維持〕…………… P.18
- 第29条〔競技場〕…………… P.18
- 第30条〔競技場付帯設備〕…………… P.18
- 第31条〔照明装置〕…………… P.18
- 第32条〔ベンチ〕…………… P.19
- 第33条〔医療施設〕…………… P.19
- 第34条〔ビジタークラブのための観客席の確保〕…………… P.19
- 第35条〔広告看板の設置〕…………… P.19
- 第36条〔競技場における告知等〕…………… P.19
- 第37条〔競技場の検査〕…………… P.20
- 第38条〔競技場の視察〕…………… P.20
- 第39条〔悪天候の場合のピッチ整備の義務〕…………… P.20

第2節 公式試合

- 第40条〔公式試合〕…………… P.20
- 第41条〔参加義務等〕…………… P.20
- 第42条〔最強のチームによる試合参加〕…………… P.20
- 第43条〔不正行為への関与の禁止〕…………… P.21
- 第44条〔公式試合の主催等〕…………… P.21

■ 第 45 条	〔競技規則〕	P.21
■ 第 46 条	〔届出義務〕	P.21
■ 第 47 条	〔エントリー〕	P.21
■ 第 48 条	〔ユニフォーム〕	P.22
■ 第 49 条	〔試合球〕	P.22
■ 第 50 条	〔Jクラブの責任〕	P.22
■ 第 51 条	〔チームドクター〕	P.22
■ 第 52 条	〔負傷した選手の活動再開の制限〕	P.22

第 3 節 試合の運営

■ 第 53 条	〔リーグ戦・リーグカップ戦の開催期間〕	P.22
■ 第 54 条	〔主管権の譲渡〕	P.22
■ 第 55 条	〔公式試合の開催〕	P.23
■ 第 56 条	〔試合日程の遵守〕	P.23
■ 第 57 条	〔試合の日時または場所の変更〕	P.23
■ 第 58 条	〔特別の事情による変更〕	P.23
■ 第 59 条	〔同日開催の制限〕	P.23
■ 第 60 条	〔抱き合わせ開催の禁止〕	P.23
■ 第 61 条	〔マッチコミッサー〕	P.23
■ 第 62 条	〔試合の中止の決定〕	P.24
■ 第 63 条	〔再試合〕	P.24
■ 第 64 条	〔敗戦とみなされる場合〕	P.24
■ 第 65 条	〔試合結果の報告〕	P.24
■ 第 66 条	〔試合実施要項〕	P.24
■ 第 67 条	〔規律委員会による処分〕	P.24

第 4 節 非公式試合

■ 第 68 条	〔公式試合以外の有料試合〕	P.25
■ 第 69 条	〔外国チームとの試合等〕	P.25
■ 第 70 条	〔興行等への参加禁止〕	P.25
■ 第 71 条	〔救済試合〕	P.25
■ 第 72 条	〔引退試合〕	P.25
■ 第 73 条	〔救済試合および引退試合の開催手続等〕	P.25
■ 第 74 条	〔慈善試合〕	P.25

第 5 節 試合の収支

■ 第 75 条	〔公式試合の費用負担〕	P.26
■ 第 76 条	〔Jリーグ主管試合の収入の配分〕	P.26
■ 第 77 条	〔救済試合、引退試合および慈善試合の損益の配分〕	P.26
■ 第 78 条	〔不可抗力による試合中止等の場合の費用の負担〕	P.26
■ 第 79 条	〔帰責事由あるクラブの費用の負担〕	P.26
■ 第 80 条	〔納付金〕	P.27
■ 第 81 条	〔収支報告〕	P.27
■ 第 82 条	〔遠征費用〕	P.27

第 6 節 表 彰

■ 第 83 条	〔リーグ表彰〕	P.27
■ 第 84 条	〔功労者表彰〕	P.27
■ 第 85 条	〔表彰規程〕	P.27
■ 第 86 条	〔特別表彰〕	P.27

第 5 章 選 手

■ 第 87 条	〔誠実義務〕	P.28
■ 第 88 条	〔履行義務〕	P.28

■ 第 89 条	〔禁止事項〕	P.28
■ 第 90 条	〔費用の負担および用具の使用〕	P.29
■ 第 91 条	〔疾病および傷害〕	P.29
■ 第 92 条	〔選手契約〕	P.29
■ 第 93 条	〔選手の報酬等〕	P.29
■ 第 94 条	〔支度金〕	P.29
■ 第 95 条	〔代理人等〕	P.29
■ 第 96 条	〔未成年者〕	P.29
■ 第 97 条	〔選手の肖像等の使用〕	P.29
■ 第 98 条	〔契約に関する紛争の解決〕	P.30

第 6 章 登録および移籍

第 1 節 登 録

■ 第 99 条	〔協会の登録規程の遵守〕	P.30
■ 第 100 条	〔エントリー未了の選手〕	P.30

第 2 節 移 籍

■ 第 101 条	〔協会の移籍規程の遵守〕	P.30
■ 第 102 条	〔契約更新の通知〕	P.31
■ 第 103 条	〔専属交渉期間〕	P.31
■ 第 104 条	〔通知の効果〕	P.31
■ 第 105 条	〔移籍リストへの登載〕	P.31
■ 第 106 条	〔他のクラブとの自由交渉権〕	P.31
■ 第 107 条	〔元のクラブとの交渉権の喪失〕	P.31
■ 第 108 条	〔優先契約権の行使〕	P.31
■ 第 109 条	〔更新を希望しない場合〕	P.32
■ 第 110 条	〔最終提示額証明書〕	P.32
■ 第 111 条	〔移籍リストの運用〕	P.32
■ 第 112 条	〔移籍承諾書発行依頼書〕	P.32

第 7 章 監督およびコーチ

■ 第 113 条	〔トップチームの監督〕	P.32
■ 第 114 条	〔トップチーム以外の監督またはコーチ〕	P.32
■ 第 115 条	〔例 外〕	P.33
■ 第 116 条	〔研修への参加義務〕	P.33
■ 第 117 条	〔公式試合等への出場禁止〕	P.33
■ 第 118 条	〔契約等〕	P.33
■ 第 119 条	〔守秘義務〕	P.33

第 8 章 審 判

■ 第 120 条	〔資格要件〕	P.33
■ 第 121 条	〔指 名〕	P.34
■ 第 122 条	〔審判の服装および用具〕	P.34
■ 第 123 条	〔身分証〕	P.34
■ 第 124 条	〔手当等〕	P.34
■ 第 125 条	〔保 険〕	P.34

第 9 章 収 益 事 業

第 1 節 各種の事業

■ 第 126 条	〔収益事業〕	P.34
■ 第 127 条	〔テレビ・ラジオ放送権〕	P.34

■ 第128条〔その他の事業〕	P.35
■ 第129条〔Jリーグ・スポンサー〕	P.35
■ 第130条〔収入の配分〕	P.35

第2節 商品化に関する基本原則

■ 第131条〔定義〕	P.35
■ 第132条〔商品化権の帰属〕	P.35
■ 第133条〔商品化権の実際上の運用基準〕	P.35
■ 第134条〔事前の通知と承認〕	P.36
■ 第135条〔商品化委員会による審議〕	P.36
■ 第136条〔肖像等〕	P.36
■ 第137条〔収入の配分〕	P.36

第10章 紛争解決

第1節 裁定委員会

■ 第138条〔設置〕	P.36
■ 第139条〔組織および委員〕	P.37
■ 第140条〔委員の任期〕	P.37
■ 第141条〔委員長〕	P.37
■ 第142条〔事務局〕	P.37
■ 第143条〔裁定委員会規程〕	P.37

第2節 理事長の決定

■ 第144条〔理事長の決定〕	P.37
■ 第145条〔裁定委員会の答申〕	P.38
■ 第146条〔理事長の決定〕	P.38
■ 第147条〔和解〕	P.38

第11章 制裁

第1節 総則

■ 第148条〔制裁〕	P.38
■ 第149条〔制裁金の併科〕	P.38
■ 第150条〔裁定委員会への諮問〕	P.39
■ 第151条〔制裁金の納付〕	P.39
■ 第152条〔制裁金の合算〕	P.39
■ 第153条〔他者を利用した違反行為〕	P.39
■ 第154条〔両罰規定〕	P.39
■ 第155条〔違反行為の重複による加重〕	P.39
■ 第156条〔酌量軽減〕	P.39

第2節 Jクラブに対する制裁金

■ 第157条〔届出等に関する規約違反〕	P.39
■ 第158条〔競技の運営等に関する規約違反〕	P.40
■ 第159条〔契約更新手続に関する規約違反〕	P.40
■ 第160条〔Jクラブの義務等に関する規約違反(1)〕	P.40
■ 第161条〔Jクラブの義務等に関する規約違反(2)〕	P.40
■ 第162条〔Jクラブの義務等に関する規約違反(3)〕	P.41

第3節 反則金

■ 第163条〔アンフェアなプレイに対する反則金〕	P.41
■ 第164条〔反則ポイントの計算方法〕	P.41

第 12 章 最終的拘束力

- 第 165 条〔最終的拘束力〕 P.42

第 13 章 改 正

- 第 166 条〔改 正〕 P.42

第 14 章 附 則

- 第 1 条〔施行期日〕 P.42

専門委員会規程

- 第 1 条〔趣 旨〕 P.43
- 第 2 条〔組 織〕 P.43
- 第 3 条〔任 期〕 P.43
- 第 4 条〔各専門委員会の所管事項〕 P.43
- 第 5 条〔各専門委員会の職務〕 P.43
- 第 6 条〔議事録〕 P.43
- 第 7 条〔事務局〕 P.43
- 第 8 条〔細 則〕 P.44
- 第 9 条〔施 行〕 P.44
- 別表 1〔所管事項〕 P.45

準 会 員 規 程

- 第 1 条〔趣 旨〕 P.49
- 第 2 条〔準会員の意義〕 P.49
- 第 3 条〔準会員の資格要件〕 P.49
- 第 4 条〔準会員としての入会手続き〕 P.49
- 第 5 条〔準会員の地位〕 P.49
- 第 6 条〔準会員の遵守義務〕 P.49
- 第 7 条〔準会員から正会員になるための手続き〕 P.50
- 第 8 条〔施 行〕 P.50

主管権譲渡規程

- 第 1 条〔趣 旨〕 P.51
- 第 2 条〔主管権の譲渡〕 P.51
- 第 3 条〔後援・協力〕 P.51
- 第 4 条〔譲渡の手続き〕 P.51

■ 第 5 条〔譲渡金〕	P.51
■ 第 6 条〔テレビ・ラジオ放送権〕	P.51
■ 第 7 条〔試合の運営〕	P.51
■ 第 8 条〔施行〕	P.52
■ 主管権譲渡承認申請書〔様式 1〕	P.53
■ 主管権譲渡承認申請書〔様式 2〕	P.55

公式試合出場規程

■ 第 1 条〔目的〕	P.57
■ 第 2 条〔出場料の計算方法〕	P.57
■ 第 3 条〔出場料の計算年度〕	P.57
■ 第 4 条〔出場料の支給方法〕	P.57
■ 第 5 条〔付 則〕	P.57

旅 費 規 程

■ 第 1 条〔目的〕	P.58
■ 第 2 条〔公式試合の旅費および宿泊費〕	P.58
■ 第 3 条〔サテライト J リーグ戦〕	P.58
■ 第 4 条〔審判員の旅費等〕	P.58
■ 第 5 条〔監督・コーチ等の行事参加〕	P.59
■ 第 6 条〔選手の行事参加〕	P.59
■ 第 7 条〔協会の規程の準用〕	P.59
■ 第 8 条〔施行〕	P.59

表 彰 規 程

■ 第 1 条〔趣 旨〕	P.60
■ 第 2 条〔各ステージ表彰〕	P.60
■ 第 3 条〔年間総合表彰〕	P.60
■ 第 4 条〔フェアプレイ賞(高円宮杯)〕	P.60
■ 第 5 条〔個人表彰〕	P.61
■ 第 6 条〔リーグカップ表彰〕	P.61
■ 第 7 条〔サテライト J リーグ表彰〕	P.61
■ 第 8 条〔功労者表彰〕	P.61
■ 第 9 条〔表彰式〕	P.61
■ 第 10 条〔施行〕	P.62

支度金支給基準規程

■ 支度金支給基準	P.63
-----------	-------	------

裁定委員会規程

■ 第 1 条	〔趣 旨〕	P.65
■ 第 2 条	〔会議および議決〕	P.65
■ 第 3 条	〔審理の非公開〕	P.65
■ 第 4 条	〔申立手続き〕	P.65
■ 第 5 条	〔申立の受理および通知〕	P.65
■ 第 6 条	〔答 弁〕	P.66
■ 第 7 条	〔提出書類の部数〕	P.66
■ 第 8 条	〔申立内容の変更〕	P.66
■ 第 9 条	〔訳文の添付〕	P.66
■ 第 10 条	〔代理人〕	P.66
■ 第 11 条	〔審理または調査のための権限等〕	P.66
■ 第 12 条	〔費用の負担〕	P.66
■ 第 13 条	〔裁 定〕	P.67
■ 第 14 条	〔和 解〕	P.67
■ 第 15 条	〔裁定委員会の運営細則〕	P.67
■ 第 16 条	〔施 行〕	P.67

'93 Jリーグ試合実施要項

第1節 競技場

■ 第 1 条	〔競技場の確保と維持〕	P.68
■ 第 2 条	〔競技場〕	P.68
■ 第 3 条	〔競技場附帯設備〕	P.68
■ 第 4 条	〔照明装置〕	P.69
■ 第 5 条	〔ベンチ〕	P.69
■ 第 6 条	〔医療施設〕	P.69
■ 第 7 条	〔ビジタークラブのための観客席の確保〕	P.69
■ 第 8 条	〔広告看板の設置〕	P.69
■ 第 9 条	〔競技場における告知等〕	P.70
■ 第 10 条	〔競技場の検査〕	P.70
■ 第 11 条	〔競技場の視察〕	P.70
■ 第 12 条	〔悪天候の場合のピッチ整備の義務〕	P.70

第2節 試 合

■ 第 13 条	〔大会形式〕	P.71
■ 第 14 条	〔試合の主催等〕	P.71
■ 第 15 条	〔競技規則〕	P.71
■ 第 16 条	〔大会エントリー〕	P.71
■ 第 17 条	〔エントリーと選手証〕	P.71
■ 第 18 条	〔エントリー選手の人数〕	P.72
■ 第 19 条	〔サテライトJリーグへの同時エントリーの禁止〕	P.72
■ 第 20 条	〔ゴールキーパー〕	P.72
■ 第 21 条	〔追加エントリー〕	P.72
■ 第 22 条	〔外国籍選手〕	P.72
■ 第 23 条	〔出場可能日〕	P.72
■ 第 24 条	〔ユニフォーム〕	P.72
■ 第 25 条	〔ユニフォームの選手番号〕	P.73

■ 第 26 条	〔フィールド内のチーム要員〕	P.73
■ 第 27 条	〔試合の勝敗の決定〕	P.73
■ 第 28 条	〔各ステージの順位決定〕	P.73
■ 第 29 条	〔1993 年度総合順位決定〕	P.74
■ 第 30 条	〔審判員〕	P.74
■ 第 31 条	〔通行証〕	P.74
■ 第 32 条	〔入場料〕	P.75
■ 第 33 条	〔試合球の用意〕	P.75
■ 第 34 条	〔Jクラブの責任〕	P.75
■ 第 35 条	〔オフィシャルガイドブックおよびプログラム〕	P.75

第3節 運 営

■ 第 36 条	〔日 程〕	P.75
■ 第 37 条	〔試合の日時または場所の変更〕	P.75
■ 第 38 条	〔特別の事情による変更〕	P.76
■ 第 39 条	〔運営責任〕	P.76
■ 第 40 条	〔抱き合わせ開催の禁止〕	P.76
■ 第 41 条	〔マッチコミッサー〕	P.76
■ 第 42 条	〔試合中止の決定〕	P.76
■ 第 43 条	〔競技場への到着〕	P.76
■ 第 44 条	〔試合への遅刻〕	P.76
■ 第 45 条	〔敗戦とみなされる場合〕	P.77
■ 第 46 条	〔前条の場合の記録〕	P.77
■ 第 47 条	〔主管権の譲渡〕	P.77
■ 第 48 条	〔再試合〕	P.77
■ 第 49 条	〔メンバー提出〕	P.77
■ 第 50 条	〔主審の確認事項〕	P.77
■ 第 51 条	〔選手の交替〕	P.77
■ 第 52 条	〔係 員〕	P.77
■ 第 53 条	〔マスコミ対応〕	P.78
■ 第 54 条	〔試合結果報告〕	P.78
■ 第 55 条	〔試合運営報告〕	P.78
■ 第 56 条	〔退場処分〕	P.78
■ 第 57 条	〔警告による出場停止処分〕	P.78
■ 第 58 条	〔表 彰〕	P.79

第4節 試合の収支

■ 第 59 条	〔試合の費用負担等〕	P.79
■ 第 60 条	〔不可抗力による試合中止等の場合の費用の負担〕	P.79
■ 第 61 条	〔テレビ放送権料〕	P.79
■ 第 62 条	〔納付金〕	P.80
■ 第 63 条	〔納付期限〕	P.80
■ 第 64 条	〔収支報告〕	P.80
■ 第 65 条	〔遠征費用〕	P.80
■ 別表 I	〔Jクラブ関連スポンサー広告看板設置位置〕	P.81

サテライトJリーグ試合実施要項

第1節 競 技 場

■ 第 1 条	〔競技場の確保と維持〕	P.82
■ 第 2 条	〔競技場〕	P.82
■ 第 3 条	〔競技場付帯設備〕	P.82

■	第 4 条	〔照明装置〕	P.83
■	第 5 条	〔ベンチ〕	P.83
■	第 6 条	〔医療施設〕	P.83
■	第 7 条	〔広告看板の設置〕	P.83
■	第 8 条	〔競技場における告知等〕	P.83
■	第 9 条	〔競技場の届け出〕	P.84
■	第 10 条	〔悪天候の場合のピッチ整備の義務〕	P.84

第 2 節 試 合

■	第 11 条	〔大会形式〕	P.84
■	第 12 条	〔試合の主催等〕	P.84
■	第 13 条	〔競技規則〕	P.84
■	第 14 条	〔大会エントリー〕	P.84
■	第 15 条	〔エントリーと選手証〕	P.84
■	第 16 条	〔エントリー選手の人数〕	P.85
■	第 17 条	〔他大会への同時エントリーの禁止〕	P.85
■	第 18 条	〔ゴールキーパー〕	P.85
■	第 19 条	〔追加エントリー〕	P.85
■	第 20 条	〔エントリー変更の制限〕	P.85
■	第 21 条	〔外国籍選手〕	P.85
■	第 22 条	〔出場可能日〕	P.85
■	第 23 条	〔ユニフォーム〕	P.85
■	第 24 条	〔ユニフォームの選手番号〕	P.86
■	第 25 条	〔フィールド内のチーム要員〕	P.86
■	第 26 条	〔試合の勝敗の決定〕	P.86
■	第 27 条	〔順位の決定〕	P.86
■	第 28 条	〔審判員〕	P.87
■	第 29 条	〔通行証〕	P.87
■	第 30 条	〔入場料〕	P.87
■	第 31 条	〔試合球の用意〕	P.87
■	第 32 条	〔Jクラブの責任〕	P.88

第 3 節 運 営

■	第 33 条	〔日 程〕	P.88
■	第 34 条	〔試合の日時または場所の変更〕	P.88
■	第 35 条	〔特別の事情による変更〕	P.88
■	第 36 条	〔運営責任〕	P.88
■	第 37 条	〔マッチコミッサリー〕	P.88
■	第 38 条	〔試合中止の決定〕	P.89
■	第 39 条	〔競技場への到着〕	P.89
■	第 40 条	〔試合への遅刻〕	P.89
■	第 41 条	〔敗戦とみなされる場合〕	P.89
■	第 42 条	〔前条の場合の記録〕	P.89
■	第 43 条	〔主管権の譲渡〕	P.89
■	第 44 条	〔再試合〕	P.89
■	第 45 条	〔メンバー提出〕	P.90
■	第 46 条	〔主審の確認事項〕	P.90
■	第 47 条	〔選手の交替〕	P.90
■	第 48 条	〔係 員〕	P.90
■	第 49 条	〔マスコミ対応〕	P.90
■	第 50 条	〔試合結果報告〕	P.91
■	第 51 条	〔試合運営報告〕	P.91
■	第 52 条	〔退場処分〕	P.91
■	第 53 条	〔警告による出場停止処分〕	P.91
■	第 54 条	〔表 彰〕	P.91

第4節 試合の収支

■ 第55条〔試合の費用負担等〕	P.91
■ 第56条〔不可抗力による試合中止等の場合の費用の負担〕	P.92
■ 第57条〔テレビ放送権料〕	P.92
■ 第58条〔収支報告〕	P.92
■ 第59条〔遠征費用〕	P.92

関係資料

■ 別紙1〔広告掲出申請書〕	P.93
■ 別紙2-①〔大会エントリー表(役員・チームスタッフ用)〕	P.94
■ 別紙2-②〔大会エントリー表(選手用)No.1〕	P.95
■ 別紙2-②〔大会エントリー表(選手用)No.2〕	P.96
■ 別紙2-③〔大会エントリー表(外国籍選手用)〕	P.97
■ 別紙2-④〔ユニフォーム申請書〕	P.98
■ 別紙3-①〔エントリー変更届(役員・チームスタッフ用)〕	P.99
■ 別紙3-②〔追加エントリー申請書(選手用)〕	P.100
■ 別紙3-③〔エントリー抹消申請書(選手用)〕	P.101
■ 別紙3-④〔エントリー変更申請書(選手用)〕	P.102
■ 別紙4〔Jリーグユニフォーム規程〕	P.103
■ 別紙5〔メンバー提出用紙〕	P.104
■ 別紙6〔入場券報告書〕	P.105
■ 別紙7〔試合開催地変更申請書〕	P.106
■ 別紙8〔Jリーグ マッチ・コミッサリー報告書〕	P.107
■ 別紙9〔Jリーグ マッチ・コミッサリー緊急報告書〕	P.109
■ 別紙10〔公式記録用紙〕	P.110
■ 別紙11〔試合メンバー表〕	P.111
■ 別紙12〔試合運営報告書〕	P.112
■ 別紙13〔表彰規程(前掲)〕	(P.60)
■ 別紙14〔試合収支決算書〕	P.114

日本サッカー協会 関連諸規程

選手登録規程

■ 第 1 条	〔総 則〕	P.115
■ 第 2 条	〔登録区分〕	P.115
■ 第 3 条	〔アマチュア規程〕	P.115
■ 第 4 条	〔アマチュア以外の選手〕	P.115
■ 第 5 条	〔規約, 規程等の遵守義務〕	P.115
■ 第 6 条	〔選手登録の方法〕	P.115
■ 第 7 条	〔登録有効期間〕	P.116
■ 第 8 条	〔登録区分変更〕	P.116
■ 第 9 条	〔資格認定等の原則〕	P.116
■ 第 10 条	〔外国籍の選手〕	P.116
■ 第 11 条	〔外国籍扱いない選手〕	P.116
■ 第 12 条	〔公式試合への出場〕	P.116
■ 第 13 条	〔代表チームへの参加〕	P.116
■ 第 14 条	〔規程違反〕	P.117
■ 第 15 条	〔改 正〕	P.117

附 則

■ 第 1 条	〔施行期日〕	P.117
■ 第 2 条	〔経過措置〕	P.117

選手移籍規程

■ 第 1 条	〔総 則〕	P.118
■ 第 2 条	〔目 的〕	P.118
■ 第 3 条	〔移籍の定義〕	P.118
■ 第 4 条	〔移籍の手続き〕	P.118
■ 第 5 条	〔アマチュア選手がアマチュア選手として移籍する場合〕	P.118
■ 第 6 条	〔アマチュア以外の選手がアマチュア選手として移籍する場合〕	P.119
■ 第 7 条	〔アマチュア選手として移籍する場合の特例〕	P.119
■ 第 8 条	〔アマチュア選手がアマチュア以外の選手として移籍する場合〕	P.119
■ 第 9 条	〔アマチュア以外の選手がアマチュア以外の選手として移籍する場合〕	P.119
■ 第 10 条	〔外国籍選手等の移籍〕	P.119
■ 第 11 条	〔公式試合への出場資格〕	P.120
■ 第 12 条	〔外国への移籍〕	P.120
■ 第 13 条	〔代理人等〕	P.120
■ 第 14 条	〔規程違反〕	P.120
■ 第 15 条	〔移籍に関する異議等〕	P.121
■ 第 16 条	〔改正等〕	P.121

附 則

■ 第 1 条	〔施行期日〕	P.121
---------	--------	-------	-------

日本サッカー協会選手契約書 〔プロ選手統一契約書〕

■	第 1 条〔誠実義務〕	P. 122
■	第 2 条〔履行義務〕	P. 122
■	第 3 条〔禁止事項〕	P. 122
■	第 4 条〔報酬〕	P. 123
■	第 5 条〔報酬の算定基準〕	P. 123
■	第 6 条〔費用の負担および用具の使用〕	P. 123
■	第 7 条〔休 暇〕	P. 124
■	第 8 条〔疾病および傷害〕	P. 124
■	第 9 条〔選手の肖像等の使用〕	P. 124
■	第 10 条〔クラブによる契約解除〕	P. 124
■	第 11 条〔選手による契約解除〕	P. 125
■	第 12 条〔制 裁〕	P. 125
■	第 13 条〔有効期間および更新手続き〕	P. 125
■	第 14 条〔修 正〕	P. 126
■	第 15 条〔準拠法〕	P. 126
■	第 16 条〔紛争の解決〕	P. 126
■	第 17 条〔保 管〕	P. 126
■	別紙 1〔特別給の支給基準〕	P. 128
■	別紙 2〔その他の報酬〕	P. 130

移籍金算出基準

■	第 1 条〔趣 旨〕	P. 131
■	第 2 条〔適 用〕	P. 131
■	第 3 条〔算出方法〕	P. 131
■	第 4 条〔端数の処理〕	P. 131
■	第 5 条〔支払方法〕	P. 131
■	第 6 条〔実 施〕	P. 132

トレーニング費用請求基準

■	第 1 条〔趣 旨〕	P. 133
■	第 2 条〔トレーニング費用の金額〕	P. 133
■	第 3 条〔支払方法〕	P. 133
■	第 4 条〔実 施〕	P. 133

懲罰規程・懲罰基準

■ 懲罰規程	P. 134
■ 懲罰基準	P. 135

関係資料

■ 書式 A 契約更新に関する通知書	P. 139
■ 書式 B 移籍リスト登録申請書	P. 140
■ 書式 C 最終提示額証明書	P. 141
■ 書式 D 移籍承諾書発行依頼書	P. 142
* 契約更新と移籍交渉に関する手続き	P. 143

社団法人 日本プロサッカーリーグ 定 款

第 1 章 総 則

第 1 条〔名 称〕

この法人は、社団法人日本プロサッカーリーグ（仮称）といい、英文では Japan Professional Football League（略称 JPFL）と表示する。

第 2 条〔事務所〕

この法人は、事務所を東京都千代田内神田 3 丁目 19 番 8 号に置く。

第 3 条〔支 部〕

この法人は、理事会の議決を経て、支部を置くことができる。

第 2 章 目的及び事業

第 4 条〔目 的〕

この法人は、財団法人日本サッカー協会の傘下団体として、プロサッカー（この法人の正会員となった団体に所属するサッカーチームが業務として行うサッカーをいう。以下同じ。）を通じて日本のサッカーの水準の向上及びサッカーの普及を図ることにより、豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達に寄与するとともに、国際社会における交流及び親善に貢献することを目的とする。

第 5 条〔事 業〕

この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) プロサッカーの試合の主催及び公式記録の作成
- (2) プロサッカーに関する諸規約の制定
- (3) プロサッカーの選手、監督及び審判等の養成、資格認定及び登録
- (4) プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定
- (5) 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及
- (6) サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導
- (7) プロサッカーの選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施
- (8) サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

- (9) サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助
- (10) 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及
- (11) その他目的を達成するために必要な事業

第 3 章 会 員

第 6 条〔種 別〕

この法人の会員は、次のとおりとする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人または法人
- (2) 準会員 この法人の目的に賛同して入会した法人で、正会員に準ずる者
- (3) 賛助会員 この法人の事業を援助する個人または法人
- (4) 名誉会員 この法人に特に功労のあった者で総会の議決をもって推薦された者

第 7 条〔入 会〕

会員になろうとする者は、入会申込書を理事長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。ただし、名誉会員に推薦された者は、入会の手続きを要せず、本人の承諾をもって会員となるものとする。

第 8 条〔入会金及び会費〕

- ① 正会員、準会員または賛助会員になろうとする者は、総会において別に定める入会金を納入しなければならない。
- ② 正会員、準会員または賛助会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。
- ③ 個人である正会員または名誉会員は、入会金及び会費を納めることを要しない。
- ④ 特別の費用を必要とするときは、理事会の議決を経て臨時会費を徴収することができる。

第 9 条〔資格の喪失〕

会員は、次の事由によって資格を喪失する。

- (1) 退会したとき。
- (2) 禁治産もしくは準禁治産または破産の宣告を受けたとき。
- (3) 死亡し、もしくは失踪宣告を受け、または法人である会員が解散したとき。
- (4) 除名されたとき。

第 10 条〔退 会〕

会員が退会しようとするときは、正会員及び準会員については退会希望日の 12 か月前までに、その他の会員については退会希望日の 2 か月前までに、それぞれ理由を付した退会届を理事長に提出しなければならない。

第11条〔除名〕

- ① 会員が次の各号の一に該当するときは、総会において正会員現在数の4分の3以上の多数による議決を経て、理事長が除名することができる。
 - (1) この法人の名誉を傷つけ、またはこの法人の目的に違反する行為があったとき。
 - (2) この法人の会員としての義務に違反したとき。
 - (3) 会費または臨時会費を6か月以上滞納したとき。
- ② 前項第1号及び第2号の規定により会員を除名しようとするときは、除名の議決を行う総会において、その会員に弁明の機会を与えなければならない。

第12条〔会費等の不返還〕

退会し、または除名された会員が既に納入した入会金、会費その他の拠出金品は、いかなる事由があっても、これを返還しない。

第4章 役員及び職員

第13条〔役員〕

この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 10名以上15名以内（うち理事長1名、専務理事及び常務理事若干名）
- (2) 監事 2名

第14条〔役員を選任〕

- ① 理事及び監事は、総会において選任する。
- ② 理事長、専務理事及び常務理事は、理事の互選とする。
- ③ 理事長及び監事は、相互に兼ねることができない。
- ④ 理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特別の関係ある者の合計数が、理事現在数の3分の1を超えて含まれることにはならない。
- ⑤ 監事には、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特別の関係があってはならない。

第15条〔理事の職務〕

- ① 理事長は、この法人を代表し、この法人の業務を統括する。
- ② 専務理事は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき、または理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序で、その職務を代行する。
- ③ 常務理事は、理事長及び専務理事を補佐し、日常の業務を処理する。
- ④ 理事は、理事会を構成し、この定款に定めるもののほか、この法人の総会の権限に属する事項以外の事項を議決し、執行する。

第16条〔監事の職務〕

監事は、この法人の業務及び財産に関し、次の各号に規定する職務を行う。

- (1) 法人の財産の状況を監査すること。
- (2) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (3) 財産の状況または業務の執行について不整の事実を発見したときは、これを理事会及び総会または文部大臣に報告すること。
- (4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会または総会を招集すること。

第17条〔役員任期〕

- ① この法人の役員任期は2年とし、再任を妨げない。
- ② 補欠または増員により選任された役員任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
- ③ 役員は、任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

第18条〔役員解任〕

- ① 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会において理事現在数の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、総会において正会員現在数の4分の3以上の多数による議決を経て、理事長がこれを解任することができる。
 - (1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められるとき。
 - (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。
- ② 前項の規定により役員を解任しようとするときは、解任の議決を行う理事会及び総会において、その役員に弁明の機会を与えなければならない。

第19条〔役員報酬〕

- ① 役員は、有給とすることができる。
- ② 役員報酬は、理事会の議決を経て理事長が定める。

第20条〔顧問〕

- ① この法人に、顧問を若干名置くことができる。
- ② 顧問は、この法人の理事であった者の中から総会の推薦により理事長が委嘱する。
- ③ 顧問は、重要事項について理事長または理事会の諮問に応じる。

第21条〔事務局〕

- ① この法人の事務を処理するため、事務局を置く。
- ② 事務局には、事務局長及び職員を置く。
- ③ 事務局長の任免は、理事会の同意を得て理事長が行う。
- ④ 事務局長は、理事をもって充てることができる。
- ⑤ 前各項に定めるもののほか、事務局に関する事項は別に定める。

第5章 総 会

第22条〔構成〕

総会は、正会員をもって構成される。

第23条〔開催〕

- ① 通常総会は、毎年2月及び6月に開催する。
- ② 臨時総会は、理事会が必要と認めたとき、または正会員現在数の5分の1以上もしくは監事から附議すべき事項を示して請求があったときに開催する。

第24条〔招集〕

- ① 総会は、理事長が招集する。
- ② 総会を招集するには、正会員に対し、附議すべき事項及びその内容並びに日時及び場所を記載した書面をもって、開催の日の14日前までに通知しなければならない。

第25条〔議長〕

通常総会の議長は理事長とし、臨時総会の議長は、その総会において理事長及び出席正会員の中から選任する。

第26条〔議決事項〕

総会は、この定款に別に規定するもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画及び収支予算に関する事項
- (2) 事業報告及び収支決算に関する事項
- (3) 財産目録及び貸借対照表に関する事項
- (4) その他この法人の業務に関する重要事項

第27条〔定足数等〕

- ① 総会は、正会員現在数の2分の1以上の者が出席しなければ、その議事を開き議決することができない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者及びあらかじめ理事会に届け出て承認を得た者を代理人として表決を委任した者は、出席者とみなす。
- ② 総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第28条〔会員への通知〕

総会において議決した事項は、全会員に通知する。

第 29 条〔議事録〕

- ① 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
 - (1) 総会の日時および場所
 - (2) 正会員の現在数
 - (3) 出席正会員の数
 - (4) 議決事項
 - (5) 議事の経過の概要及びその結果
 - (6) 議事録署名人の選任に関する事項
- ② 議事録には、議長のほか、出席正会員のうちからその総会において選出された議事録署名人 2 人以上が署名押印しなければならない。

第 6 章 理 事 会

第 30 条〔構成〕

理事会は、第 13 条第 1 号の理事をもって構成する。

第 31 条〔理事会の開催〕

理事会は、年 4 回以上開催する。ただし、理事長が必要と認めたとき、または理事現在数の 3 分の 1 以上から附議すべき事項を示して請求があったときにも開催することができる。

第 32 条〔招集〕

- ① 理事会は、理事長が招集する。
- ② 理事会を招集するには、理事に対し、附議すべき事項及びその内容並びに日数及び場所を示して、開催の日の 10 日前までに書面をもって通知しなければならない。ただし、緊急の必要があるときは、各理事の同意を得て、この期間を短縮することができる。

第 33 条〔議長〕

理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

第 34 条〔定足数等〕

- ① 理事会は、理事現在数の 3 分の 2 以上の者が出席しなければ議事を開き議決することができない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。
- ② 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第 35 条〔議事録〕

第 29 条の規定は、理事会の議事録に準用する。この場合において、同条中「総会」とあるのは「理事会」と、「正会員」とあるのは「理事」と、「出席正会員」とあるのは「出席理事」と、「出席正会員のうち」とあるのは「出席理事のうち」と、それぞれ読み替えるものとする。

第 7 章 実行委員会

第 36 条〔実行委員会〕

- ① この法人の事業遂行のため、理事会の議決に基づき実行委員会を置く。
- ② 実行委員会の組織、権限及び運営に関する規定は、理事会が定める。

第 8 章 資産及び会計

第 37 条〔資産の構成〕

この法人の資産は、次のとおりとする。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 資産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) 寄付金品
- (6) その他の収入

第 38 条〔資産の種別〕

- ① この法人の資産を分けて、基本財産と運用財産の 2 種とする。
- ② 基本財産は、次に掲げるものをいう。
 - (1) 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
 - (2) 基本財産とすることを指定して寄付された財産
 - (3) 理事会の議決により運用財産から基本財産に繰り入れられた財産
- ③ 運用財産は、基本財産以外の資産とする。

第 39 条〔資産の管理〕

この法人の資産は、理事長が管理し、基本財産のうち現金は、理事会の議決を経て郵便官署もしくは確実な金融機関に預け入れ、信託会社に信託し、また国債、公債その他確実な有価証券にかえて、理事長が保管する。

第 40 条〔基本財産の処分制限〕

基本財産は、譲渡し、交換し、担保に供し、または運用財産に繰り入れてはならない。ただし、この法人の事業遂行上止むを得ない理由があるときは、理事会及び総会において、理事現在数及び正会員現在数各々の3分の2以上の議決を経、かつ、文部大臣の承認を受けて、その一部に限り、これらの処分をすることができる。

第 41 条〔経費の支弁〕

この法人の事業遂行に要する経費は、運用財産をもって支弁する。

第 42 条〔事業計画及び収支予算〕

この法人の事業計画及びこれにともなう収支予算は、理事長が編成し、理事会及び総会の議決を経て、毎会計年度開始前に、文部大臣に届け出なければならない。事業計画及び収支予算を変更しようとする場合も同様とする。

第 43 条〔収支決算〕

- ① この法人の収支決算は、理事長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書及び財産増減理由書並びに社員異動状況届とともに、監事の意見を付け、理事会及び総会の承認を受けて、毎会計年度終了後3か月以内に文部大臣に報告しなければならない。
- ② この法人の収支決算に剰余金があるときは、理事会の議決及び総会の承認を受けて、その一部もしくは全部を基本財産に編入し、または翌年度に繰り越すものとする。

第 44 条〔特別会計〕

- ① この法人は、事業の遂行上必要があるときは、理事会の議決を経て特別会計を設けることができる。
- ② 前項の特別会計は、第 42 条の収支予算及び第 43 条の収支決算に計上しなければならない。

第 45 条〔長期借入金〕

この法人が借入をしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、理事会及び総会において、理事現在数及び正会員現在数各々の3分の2以上の議決を経、かつ、文部大臣の承認を受けなければならない。

第 46 条〔新たな義務の負担等〕

この法人は、第 40 条ただし書及び前条の規定に該当する場合、並びに収支予算で定めるものを除くほか、新たな義務の負担または権利の放棄のうち重要なものを行うときは、理事会及び総会の議決を経なければならない。

第 47 条〔会計年度〕

この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第9章 定款の変更及び解散

第48条〔定款の変更〕

この定款は、理事会及び総会において、理事現在数及び正会員現在数各々の4分の3以上の議決を経、かつ、文部大臣の許可を受けなければ変更することができない。

第49条〔解 散〕

この法人の解散は、理事会及び総会において、理事現在数及び正会員現在数各々の4分の3以上の議決を経、かつ、文部大臣の許可を受けなければならない。

第50条〔残余財産の処分〕

この法人の解散にともなう残余財産は、理事会及び総会において、理事現在数及び正会員現在数各々の4分の3以上の議決を経、かつ、文部大臣の許可を受けて、財団法人日本サッカー協会に寄付するものとする。

第10章 雑 則

第51条〔書類及び帳簿の備置等〕

- ① この法人の事務所に、次の書類及び帳簿を備えなければならない。ただし、他の法令により、これらに代わる書類及び帳簿を備えたときは、この限りでない。
 - (1) 定款
 - (2) 会員の名簿
 - (3) 役員及びその他の職員の名簿及び履歴書
 - (4) 財産目録
 - (5) 財産台帳及び負債台帳
 - (6) 収入支出に関する帳簿及び証拠書類
 - (7) 総会及び理事会の議事に関する書類
 - (8) 処務日誌
 - (9) 官公署往復書類
 - (10) その他必要な帳簿及び書類
- ② 前項第1号ないし第5号及び第7号の書類は永年、同項第6号の帳簿及び書類は10年以上、同項第8号ないし第10号の書類及び帳簿は1年以上保存しなければならない。

第52条〔細 則〕

この定款の施行についての細則は、理事会及び総会の議決を経て、別に定める。

〔改 正〕 平成 4 年 12 月 14 日

Jリーグ規約

第1章 総 則

第1条〔Jリーグの目的〕

社団法人日本プロサッカーリーグ（以下「Jリーグ」という）は、日本のサッカーの水準の向上およびサッカーの普及を図ることにより、豊かなスポーツ文化の振興および国民の心身の健全な発達に寄与するとともに、国際社会における交流および親善に貢献することを目的とする。

第2条〔本規約の趣旨〕

本規約は、「社団法人日本プロサッカーリーグ定款」（以下「定款」という）に基づき、Jリーグの組織および運営に関する基本原則を定めることにより、Jリーグの安定的発展を図ることを目的とする。

第3条〔遵守義務〕

Jリーグの会員およびその役職員ならびにJリーグに所属する選手、監督、コーチ、審判その他の関係者は、Jリーグの構成員として、本規約および財団法人日本サッカー協会（以下「協会」という）の寄附行為ならびにこれらに付随する諸規程を遵守する義務を負う。

第2章 組 織

第1節 理 事 会

第4条〔理事会〕

- ① 理事会は、理事をもって構成する。

- ② 理事会は、理事長がこれを招集し、その議長となる。
- ③ 理事会の権限および運営に関する事項は、定款および本規約に定めるところによる。

第5条〔理事会の権限〕

理事会は、Ｊリーグの運営に関する次の権限を行使する。

- (1) 諸規程の制定
- (2) 裁定委員会の委員の任命の同意
- (3) 実行委員会への審議事項の委嘱
- (4) ホームタウンの設定および変更ならびにＪクラブの名称変更の承認
- (5) 事務局の組織および人事に関する重要事項の承認
- (6) 理事長に事故ある場合の職務代行者の指名
- (7) その他定款および本規約に定める事項

第2節 理 事 長

第6条〔理事長〕

- ① 理事長は、Ｊリーグを代表するとともに、Ｊリーグの業務を管理統括する。
- ② 理事長は、チェアマンと呼称する。

第7条〔理事長の権限〕

理事長は、Ｊリーグの運営に関する次の権限を行使する。

- (1) Ｊリーグ全体の利益を確保するためのＪリーグ所属の団体および個人に対する指導
- (2) Ｊリーグ所属の団体および個人の紛争解決および制裁に関する最終決定
- (3) 実行委員会の招集および主宰
- (4) その他定款および本規約に定める事項

第3節 実 行 委 員 会

第8条〔構成〕

実行委員会の委員は、理事長、担当理事および各チームから1名ずつ選任された代表とする。

第9条〔招集〕

実行委員会は、原則として毎月1回招集し、その他必要があるごとに随時招集する。

第10条〔招集権者および議長〕

- ① 実行委員会は理事長が招集し、その議長となる。ただし、理事長に事故あるときは、理事会が予め指名した理事がこれにあたる。
- ② 委員総数の3分の2以上から会議の目的事項を示して請求があったときは、理事長は、実行委員会を招集しなければならない。
- ③ 実行委員会の招集は、予め実行委員会において定めた期日の場合を除き、各委員に対し会日の7日前までに通知しなければならない。ただし、緊急の必要があるときはこの限りではない。

第11条〔権限〕

実行委員会は、Jリーグの業務執行に関する事項および理事会から委嘱された事項を審議決定する。

第12条〔定足数および決議要件〕

実行委員会の決議は、委員現在数の3分の2以上が出席し、その出席委員の過半数をもって行う。

第13条〔代理出席〕

予め理事長に届け出て承認を得た者は、委員の代理人として実行委員会に出席し、議決権を行使することができる。

第14条〔議事録〕

実行委員会の議事の経過の要領および結果は議事録に記載し、これをJリーグの事務局に保存する。

第15条〔事務局〕

実行委員会に関する事務は、Jリーグの事務局長が統括する。

第4節 その他の委員会

第16条〔専門委員会〕

- ① 実行委員会の下に次の専門委員会を置く。
 - (1) 運営委員会
 - (2) 選手委員会
 - (3) ホームタウン委員会
 - (4) ユニフォーム選定委員会
 - (5) 事業委員会
 - (6) 商品化委員会

- (7) 広報委員会
 - (8) 厚生委員会
 - (9) 経理委員会
- ② 理事長の下に次の専門委員会を置き、理事長がこれを直轄する。
- (1) 規律委員会
 - (2) 審判委員会
 - (3) 指導者委員会
 - (4) 技術委員会
 - (5) 医学委員会
 - (6) 法務委員会
- ③ 前2項の各専門委員会の組織、権限および運営に関する事項は、理事会が制定する「専門委員会規程」の定めるところによる。

第5節 事務局

第17条〔事務局の設置〕

Jリーグの総会、理事会および各委員会の事務を処理し、理事長の職務の執行を補佐するとともに、Jリーグの活動に関する諸事項の企画・立案を行うため、専任の職員により構成される事務局を置く。

第18条〔事務局の運営〕

- ① 事務局の組織および人事に関する重要事項は、理事会の承認を得て理事長が定める。
- ② 事務局の機能、職務その他事務局の運営に関する事項は、理事長が制定する「事務局運営細則」の定めるところによる。

第3章 Jクラブ

第19条〔Jクラブの資格要件〕

Jリーグの正会員および準会員たるクラブ（以下総称して「Jクラブ」という）は、以下の要件を具備するものでなければならない。

- (1) 日本法に基づき設立された株式会社であり、発行済株式総数の過半数を日本国籍を有する者が保有していること
- (2) 協会の定めるプロ選手統一契約書に基づく選手契約（以下「統一契約」という）

を締結した選手を18名以上保有していること

- (3) 協会の寄附行為細則に定める登録種別の1種、2種、3種および4種に属するチームを有していること
- (4) 前号の1種チームにおいては、そのクラブにおける最高水準の競技力を保持するチーム（以下「トップチーム」という）およびトップチームにおいて競技する選手を養成するチーム（以下「サテライトチーム」という）を、双方同時に編成し得ること
- (5) 第4章第1節に定める競技場を確保していること

第20条〔入会金および会費〕

- ① 正会員たるJクラブは、Jリーグに対し、次に定める入会金および会費（年会費）を納入しなければならない。
 - (1) 入会金 金6000万円
 - (2) 会費 総会において別途定める金額
- ② 準会員たるJクラブは、Jリーグに対し、次に定める入会金および会費（年会費）を納入しなければならない。
 - (1) 入会金 金2000万円
 - (2) 会費 総会において別途定める金額
- ③ 準会員が新たに正会員となる場合には、第1項第1号に定める入会金を別途納入しなければならない。

第21条〔Jクラブのホームタウン（本拠地、英文 HOME TOWN）〕

- ① Jクラブは、理事会の承認を得て特定の市町村をホームタウンとして定め、地域社会と一体となったクラブ作りを行い、サッカーの普及および振興に努めなければならない。
- ② Jクラブのホームタウンは、原則として変更することができない。
- ③ やむを得ない事由により、ホームタウンを変更する必要がある場合には、変更の日の1年以上前までに理由を記載した書面により理事会に申請し、その承認を得なければならない。ただし、第53条に定める開催期間の途中における申請は認められないものとする。

第22条〔Jクラブの権益〕

- ① Jクラブは、原則としてそのホームタウンを含む都道府県を活動区域とする。
- ② Jクラブは、活動区域において主管した公式試合に伴う広告料およびテレビ放送権料等につき、理事会の定めるところにより分配を受けることができる。
- ③ Jクラブは、活動区域におけるサッカースクール、講演その他サッカーに関する諸行事の開催について、優先的にJリーグの公認を受けることができる。
- ④ Jクラブがその活動区域内で有料試合の開催を予定している日には、その活動区域内では原則として協会または協会加盟団体の公式試合は行われないものとする。
- ⑤ Jクラブがその活動区域内で有料試合の開催を予定している時間およびその前後2

時間を含む時間帯には、原則としてその活動区域内においては、協会が主催または主管する試合のテレビ放送は行われたいものとする。

- ⑥ 特別の事情により前2項の定めに抵触する公式試合またはテレビ放送を行う必要がある場合には、これにより不利益を受けるおそれのあるJクラブの補償について、Jリーグ、当該Jクラブおよび当該主催団体または協会間で別途協議の上決定するものとする。

第23条〔財務内容の開示〕

- ① JクラブはJリーグに対し、各会計年度終了後3か月以内に次の書類を提出しなければならない。
- (1) 当該会計年度の貸借対照表および損益計算書
 - (2) 主管した試合およびイベント等の収支明細書
- ② Jリーグは、いつでも代理人を通じて前項の書類を閲覧することができる。
- ③ Jリーグは、Jクラブの事前の同意がない限り、第1項の書類を第三者に開示しないものとする。

第24条〔株主の変更等〕

- ① JクラブはJリーグに対し、各会計年度終了時における株主名簿の写しを提出しなければならない。
- ② Jクラブは、その発行済株式総数の5%を超える株式について株主が変更する場合には、理事会の承認を得なければならない。

第25条〔役職員等の禁止事項〕

- ① Jクラブの役員または職員は、直接たると間接たるとを問わず、次の事項を行ってはならない。
- (1) 他のクラブの役員または職員を兼務すること
 - (2) 他のクラブの株式を保有すること
 - (3) 他のクラブまたは他のクラブの役職員との間で金銭貸借、債務保証もしくはこれらに類する契約を締結すること
- ② Jクラブに所属する選手、監督、コーチおよび役員その他の関係者は、公の場において、協会（審判を含む）、Jリーグまたは自他のJクラブを中傷または誹謗してはならない。

第26条〔名称および活動区域等〕

- ① 正会員たるJクラブの法人名およびチーム名（以下総称して「名称」という）ならびにホームタウンおよび活動区域は次のとおりとする。

法人名	チーム名	ホームタウン	活動区域
(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー	鹿島アントラーズ	鹿島町	茨城県
(株)東日本ジェイアール古河サッカークラブ	東日本J R古河サッカークラブ	市原市	千葉県
(株)三菱自動車フットボールクラブ	三菱浦和フットボールクラブ	浦和市	埼玉県
(株)読売日本サッカークラブ	読売日本サッカークラブ	川崎市	神奈川県
日産フットボールクラブ(株)	日産F.C. 横浜マリノス	横浜市	神奈川県
全日空スポーツ(株)	全日空佐藤工業 サッカークラブ	横浜市 (鹿児島市) (熊本市) (長崎市)	神奈川県 (鹿児島県) (熊本県) (長崎県)
(株)エスラップ・コミュニケーションズ	清水F C エスパルス	清水市	静岡県
(株)名古屋グランパスエイト	名古屋グランパスエイト	名古屋市	愛知県
(株)松下サッカークラブ	パナソニックガンバ大阪	吹田市	大阪府
(株)サンフレッチェ広島	サンフレッチェ広島 F.C	広島市	広島県

- ② Jクラブの名称は、原則として変更することができない。ただし、正当な事由がある場合において、理事会の承認を得たときはこの限りではない。

第27条〔準会員に関する特則〕

- ① 準会員たるJクラブは、リーグカップ戦およびJリーグが特に指定した試合に参加するものとする。
- ② 準会員に関するその他の事項は、理事会が制定する「準会員規程」の定めるところによる。

第4章 競 技

第1節 競 技 場

第28条〔競技場の確保と維持〕

Jクラブは、次条以下に定める要件を具備する競技場を確保し、良好な状態でホームゲームを実施し得るよう、これを維持管理する責任を負う。

第29条〔競技場〕

- ① 競技場は、次の各号の条件を満たすものでなければならない。
 - (1) ピッチは天然芝であり、原則として縦長105 m、横幅68 mであること
 - (2) ゴールのポストおよびバーは、白色かつ丸形（直径12 cm）であること
 - (3) ゴールネットは白色で、鉄製その他ボールを反発するような補強材を使用しないで取り付けるものであること
- ② フィールド（ピッチおよびその周辺部分）には、選手のプレーに影響を与え、または危険を及ぼすおそれのある物は一切放置もしくは設置してはならない。
- ③ 競技場の観客席は、15,000人以上収容できるものでなければならない。ただし、芝生席は、観客席とはみなされない。
- ④ 競技場には、平均1,500ルクス以上の照度をもつ照明装置を設置しなければならない。

第30条〔競技場付帯設備〕

競技場は、次の各号の付帯設備を備えるものでなければならない。

- (1) 更衣室（温水シャワーが使用でき、かつ、ホームチーム、アウェイチームおよび審判員について各々別個に用意されていること）
- (2) スコアボード（原則として電光掲示板であること）
- (3) メンバー掲示板
- (4) 放送設備
- (5) 記者席（ピッチ全体を見渡すことができ、かつ、手元照明付きの机を備えていること）
- (6) リーグ旗およびクラブ旗の掲揚ポール
- (7) 飲食物およびサッカー関連グッズ等の販売所

第31条〔照明装置〕

Jクラブは、競技場の照明装置の故障を未然に防止し、かつ、故障箇所をすみやか

に修理するための措置を講じるよう努めなければならない。

第32条〔ベンチ〕

- ① ベンチは、原則として次の要件を満たすものでなければならない。
 - (1) ピッチのタッチラインから5メートル以上離れた位置に設置すること
 - (2) 屋根を備えていること（ただし、観客等の視野を妨げるものであってはならない）
- ② ホームチームのベンチは、原則としてピッチから向かって右側に設置するものとする。

第33条〔医療施設〕

競技場には、医務室を設置し、かつ、試合開催時には観客等のための医師を待機させなければならない。

第34条〔ビジタークラブのための観客席の確保〕

Jクラブは、対戦チームの所属するJクラブ（以下「ビジタークラブ」という）の応援者のために、ビジタークラブと合意した数の観客席を確保しなければならない。

第35条〔広告看板の設置〕

- ① 競技場には、Jリーグが指定する位置に、Jリーグ・スポンサーが所定のサイズおよび枚数の広告看板を掲出することができるスペースを確保しなければならない。
- ② 前項の広告看板以外の広告物等を設置しようとする場合には、事前にJリーグに届け出て承認を得なければならない。

第36条〔競技場における告知等〕

- ① ホームゲームを実施するJクラブ（以下「ホームクラブ」という）は、競技場において、次の事項を告知しなければならない。
 - (1) 選手および審判員
 - (2) 選手および審判員の交替
 - (3) 得点者（得点時）
 - (4) 他の試合の結果
 - (5) 次の試合の予定
 - (6) 前各号のほか、Jリーグの指定する事項
- ② ホームクラブは、試合の前後およびハーフタイムに、次の事項を行うことができる。
 - (1) 事前にJリーグに届け出て承認を得た広告宣伝
 - (2) 他の試合の途中経過の告知
 - (3) 音楽放送
 - (4) チームまたは選手に関する情報の告知
 - (5) 前各号のほか、Jリーグの承認を得た事項

第 37 条〔競技場の検査〕

- ① 競技場（付帯設備を含む）は、運営委員会の検査を受け、これに合格したものでなければならない。
- ② 前項の検査に関する事項は、理事長が実行委員会の承認を得て制定する「競技場検査要項」の定めるところによる。

第 38 条〔競技場の視察〕

- ① 運営委員会は、大会開催の 3 か月前までに競技場を視察することができ、その結果、試合実施が困難であると判断したときは、その旨を遅滞なく理事長に報告しなければならない。
- ② 理事長は、前項の報告を受けたときは、その競技場での試合の実施を中止する決定を下すことができる。
- ③ 前項の中止の決定およびその通知は、大会開催の 2 か月前までにホームクラブに対して行わなければならない。

第 39 条〔悪天候の場合のピッチ整備の義務〕

ホームクラブは、降雪または降雨等、悪天候の場合であっても、可能な限りピッチを整備し、その競技場での試合を実施することができるよう最善の努力をしなければならない。

第 2 節 公 式 試 合

第 40 条〔公式試合〕

- ① Jリーグにおける公式試合（以下「公式試合」という）とは、次の試合をいう。
 - (1) リーグ戦
 - (2) リーグカップ戦
 - (3) 前 2 号のほか、Jリーグが指定した試合
- ② Jクラブは、公式試合のホームゲームをホームタウン（本拠地）の競技場で実施しなければならない。ただし、Jリーグが指定した試合をJリーグが指定した競技場において実施する場合は、この限りではない。

第 41 条〔参加義務等〕

- ① Jクラブは、公式試合および協会が開催する天皇杯全日本サッカー選手権大会に参加しなければならない。
- ② Jクラブは、所属選手が、代表チームまたは選抜チーム等の一員に選出された場合、当該選手をこれに参加させる義務を負う。

第 42 条〔最強のチームによる試合参加〕

Jクラブは、その時点における最強のチーム（ベストメンバー）をもって前条の試合に臨まなければならない。

第43条〔不正行為への関与の禁止〕

JクラブおよびJクラブの役員、選手、監督、コーチその他の関係者は、方法・形式のいかんにかかわらず、また直接たると間接たるとを問わず、試合の結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為に一切関与してはならない。

第44条〔公式試合の主催等〕

- ① 公式試合は、すべて協会およびJリーグが主催（自己の名義において試合を開催すること、以下同じ）し、Jリーグが主管（自己の責任と費用負担において試合を実施・運営すること、以下同じ）する。
- ② Jリーグは、公式試合のホームゲームの主管をホームクラブに委譲する。
- ③ 前項の規定にかかわらず、Jリーグは、ホームタウン（本拠地）以外の競技場で実施する公式試合を自ら主管することができる。

第45条〔競技規則〕

公式試合は、すべて国際サッカー連盟（FIFA）および協会の競技規則に従って実施される。

第46条〔届出義務〕

- ① Jクラブは、大会ごとに、Jリーグの指定する日までに、次の事項を所定の用紙によりJリーグに届け出なければならない。
 - (1) 選手
 - (2) 監督、コーチ、チームドクターおよびマッサージ等（以下「チームスタッフ」という）
 - (3) 実行委員、運営委員および広報委員
 - (4) チームのユニフォーム
 - (5) 入場料金の体系（年間指定席券その他すべての入場券を含む）
- ② 前項第5号の入場料金は、ビジタークラブの観客に対してもホームクラブの観客と平等の条件で設定されなければならない。ただし、ホームクラブのファンクラブ会員または年間指定席券購入者に対する割引その他合理的理由がある場合にはこの限りではない。

第47条〔エントリー〕

- ① 前条第1項第1号に基づく届け出（以下「エントリー」という）を完了した選手のみが、公式試合における競技資格をもつ。
- ② 選手は、エントリーが承認された日の翌々日から公式試合に出場することができる。
- ③ ゴールキーパーは、事前のJリーグの承認を得た場合に限り、第1項の適用を受けず随時エントリーすることができ、かつ、前項の規定にかかわらず即時、公式試合に

出場することができる。

- ④ 選手は、公式試合出場に際し、協会の発行する選手証を持参しなければならない。

第48条〔ユニフォーム〕

- ① 公式試合においては、Ｊリーグが承認したユニフォームを使用しなければならない。
- ② 前項のユニフォームには、メンバー提出用紙に記載された選手番号が明確に表示されていなければならない。
- ③ チームのキャプテンは、キャプテンであることを明確に表示するアームバンドを着用しなければならない。

第49条〔試合球〕

公式試合の試合球は、Ｊリーグが、協会検定球の中から認定する。

第50条〔Ｊクラブの責任〕

- ① ホームクラブは、選手、チームスタッフ、実行委員、運営委員、広報委員、審判員および観客等の安全を確保する責任を負う。
- ② ホームクラブおよびビジタークラブは、それぞれのサポーター（応援者）が試合の前後および試合中において秩序ある適切な態度を保持するよう努める義務を負う。

第51条〔チームドクター〕

- ① Ｊクラブは、すべての試合に、チームドクターを同行しなければならない。
- ② チームドクターは、選手が試合中に負傷した場合には、試合終了後可及的すみやかにＪリーグに対し「傷害報告書」を提出しなければならない。

第52条〔負傷した選手の活動再開の制限〕

- ① Ｊクラブは、選手が試合中に負傷して退場した場合において、その傷害が頭部その他特に慎重な配慮を要する部位に生じたものであるときは、医師の承認を得なければ、当該選手の選手としての活動を再開させてはならない。
- ② 前項の傷害が練習中に生じた場合においても同様とする。

第3節 試合の運営

第53条〔リーグ戦・リーグカップ戦の開催期間〕

リーグ戦およびリーグカップ戦は、原則として毎年3月から11月までの間に実施する。

第54条〔主管権の譲渡〕

Ｊクラブは、Ｊリーグの事前の承認を得て、その主管するホームゲームの主管権を、

協会に所属する都道府県サッカー協会に対し譲渡することができる。ただし、この場合においても、当該Jクラブは、本規約上の義務を免れるものではない。

第55条〔公式試合の開催〕

- ① 公式試合の試合日程は、次の事項を考慮のうえ運営委員会が作成し、実行委員会の審議を経て理事会が決定する。
 - (1) 開幕権は前シーズンの年間総合順位上位5チームに与えられること
 - (2) 試合開催が特定の地域に集中しないこと
 - (3) 同一大会でアウェイゲームが3試合以上連続しないこと
- ② 公式試合は、原則として土曜日または水曜日に開催されるものとする。

第56条〔試合日程の遵守〕

Jクラブは、前条により定められた公式試合の開催日、キックオフ時刻および開催地等の試合日程を遵守しなければならない。

第57条〔試合の日時または場所の変更〕

- ① 公式試合の開催日、キックオフ時刻または開催地の変更は、次の手続きに従い決定する。
 - (1) ホームクラブがJリーグ事務局に対し、変更しようとする開催日の30日前までに所定の用紙により申請する。
 - (2) 実行委員会は、申請を受けた変更理由を審議のうえ、変更される開催日の20日前までに、変更の可否を、ホームクラブおよびビジタークラブの双方に通知する。
- ② 前項の手続きが行われない場合、ビジタークラブは、当該変更を拒否することができる。
- ③ やむを得ない特別の事情がある場合において、ホームクラブの申請に基づき理事長が承認したときは、前2項の規定にかかわらず、開催の日時または場所を変更することができるものとする。

第58条〔特別の事情による変更〕

Jクラブは、協会またはJリーグにおいて特別の事情がある場合には、日程等の変更に応じなければならない。

第59条〔同日開催の制限〕

公式試合は、原則として、同一日に同一競技場で2試合以上行ってはならない。

第60条〔抱き合わせ開催の禁止〕

公式試合は、Jリーグまたは協会以外の第三者が主催するサッカーその他のスポーツの試合またはイベント等と抱き合わせで開催してはならない。

第61条〔マッチコミッサー〕

- ① マッチコミッサーは、実行委員会が推薦し、理事会が承認した後、理事長が任命し、各公式試合に派遣される。
- ② マッチコミッサーは、次の事項を遵守しなければならない。
 - (1) キックオフ時刻の120分前までに競技場に到着すること
 - (2) 試合終了後24時間以内にJリーグ宛に「マッチコミッサー報告書」を発信すること
 - (3) 試合の中断または競技中の悪質な違反による退場等の重大な事項が発生した場合に、所定の手続きにより「緊急報告書」をすみやかに理事長に提出すること
 - (4) 裁定委員会または規律委員会より出席を求められた場合に、これに出席し報告すること
 - (5) 前各号のほか、別途理事長の定める事項を行うこと

第62条〔試合の中止の決定〕

試合の中止は、主審が、マッチコミッサーおよびホームクラブの実行委員と協議のうえ決定する。ただし、主審が到着する前にやむを得ない事情により試合を中止する場合は、マッチコミッサーおよびホームクラブの実行委員が協議のうえ決定する。

第63条〔再試合〕

- ① 公式試合が、悪天候、地震等の天災地変または公共交通機関の不通その他いずれのチームの責にも帰すべからざる事由（以下「不可抗力」という）により開催不能または中止となった場合に限り、再試合を行うものとする。
- ② 前項に基づく再試合は、原則として同一競技場において行われるものとする。

第64条〔敗戦とみなされる場合〕

公式試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止となった場合には、その帰責事由あるチームは、0対2で敗戦したものとみなされる。

第65条〔試合結果の報告〕

ホームクラブの実行委員は、所定の手続きに従い公式記録および試合運営報告書をJリーグに提出しなければならない。

第66条〔試合実施要項〕

公式試合の運営に関する事項は、理事長が実行委員会の承認を得て制定する「試合実施要項」の定めるところによる。

第67条〔規律委員会による処分〕

次の各号のいずれかに該当する者に対する処分は、規律委員会において審議決定する。

- (1) 退場を命じられた者
- (2) 警告を受けた者

- (3) 前2号に相当する不正な行為を行った者

第4節 非公式試合

第68条〔公式試合以外の有料試合〕

- ① 公式試合以外のすべての有料試合は、事前にＪリーグに所定の申請書を提出し、Ｊリーグの承認を得なければ開催することができない。
- ② 前項の試合の開催日については、公式試合の日程が優先する。
- ③ 第1項の開催申請書の提出期限は、原則として開催日の3か月前までとする。

第69条〔外国チームとの試合等〕

Ｊクラブが外国のサッカーチームと試合を行う場合は、試合の場所が国内であるか国外であるかにかかわらず、事前に協会およびＪリーグの承認を得なければならない。

第70条〔興行等への参加禁止〕

Ｊクラブ、選手、監督およびコーチは、事前にＪリーグの承認を得ない限り、Ｊリーグまたは協会以外の第三者が主催するサッカーその他のスポーツの試合またはイベント等に参加してはならない。

第71条〔救済試合〕

救済試合は、傷害または疾病により選手としての活動が不可能となった有望な選手を、経済的窮状から救済することを目的として開催する。

第72条〔引退試合〕

引退試合は、公式試合および天皇杯全日本サッカー選手権大会において通算300試合以上の出場実績を達成した選手またはＪリーグで活躍し、Ｊリーグの発展に著しく貢献した選手を対象として開催する。

第73条〔救済試合および引退試合の開催手続等〕

- ① 救済試合および引退試合は、当該選手の現所属クラブまたは元所属クラブが、事前にＪリーグに所定の申請書を提出し、その承認を得なければ開催することができない。
- ② 救済試合および引退試合の開催地は、原則として当該試合の開催クラブのホームタウンとする。
- ③ 救済試合および引退試合は、前2条に定める理由がある場合に、選手1名につき1回に限り開催することができる。

第74条〔慈善試合〕

- ① Ｊクラブは、被災者、病者、孤児等の困窮者の救済その他の社会還元を目的として、

人道的見地に基づき、慈善試合を開催することができる。

- ② 前条第1項および第2項の規定は、前項の場合に準用する。

第5節 試合の収支

第75条〔公式試合の費用負担〕

ホームクラブは、ホームゲームからの収入を受領し、その試合の開催に要する次の費用（以下総称して「必要経費」という）を負担する。

- (1) 運営人件費
- (2) 競技場使用料（投光照明を含む）
- (3) 入場券・招待券の印刷費
- (4) 広告宣伝費

第76条〔Jリーグ主管試合の収入の配分〕

Jリーグが主管する公式試合の収入は、理事会が制定する「公式試合出場料規程」の定めるところに従い、Jクラブに配分する。

第77条〔救済試合、引退試合および慈善試合の損益の配分〕

- ① 救済試合および引退試合の損益の配分については、Jリーグと当該試合の開催Jクラブとの協議により決定する。ただし、総収入から必要経費を控除した純益は、原則として対象選手が受領することができるものとする。
- ② 慈善試合の損益の配分については、Jリーグと当該試合の開催クラブとの協議により決定する。ただし、総収入から必要経費を控除した純益は、原則として慈善試合の目的である救済事業等のために使用されなければならない。

第78条〔不可抗力による試合中止等の場合の費用の負担〕

すでに何らかの経費が発生している公式試合が、不可抗力により開催不能または中止となった場合には、ホームクラブにおいて発生した第75条第1号ないし第3号の費用ならびにビジタークラブにおいて発生した旅費および宿泊費はJリーグが負担する。

第79条〔帰責事由あるクラブの費用の負担〕

- ① ホームクラブの責に帰すべき事由により公式試合が開催不能または中止となった場合、ホームクラブは、ビジタークラブに発生した旅費および宿泊費を補償しなければならない。
- ② ビジタークラブの責に帰すべき事由により公式試合が開催不能または中止となった場合、ビジタークラブは、ホームクラブに発生した第75条第1号ないし第3号の費用を補償しなければならない。

第 80 条〔納付金〕

ホームクラブは、Ｊリーグが主催するすべての試合の入場料収入のうち、次の各号に定める金額を、その試合の属する大会が終了した後 21 日以内に、協会に納付しなければならない。

- (1) 協会納付金：3%相当額
- (2) 2002 年ワールドカップ招致協力金：有料入場券 1 枚につき金 100 円

第 81 条〔収支報告〕

公式試合の収支報告は、その試合の属する大会が終了した後 21 日以内に、「試合収支決算書」および「大会収支決算書」をＪリーグに送付することにより行う。

第 82 条〔遠征費用〕

遠征に要する旅費および宿泊費については、理事会が制定する「旅費規程」の定めるところによる。

第 6 節 表 彰

第 83 条〔リーグ表彰〕

Ｊリーグは、リーグ戦およびリーグカップ戦に関し、チーム、選手、監督および審判員等の表彰を行う。

第 84 条〔功労者表彰〕

- ① Ｊリーグは、Ｊリーグの発展に功労のあった者に対し、記念品等を贈呈して表彰することができる。
- ② 前項の表彰を受ける者は、理事長の推薦に基づき理事会が決定する。

第 85 条〔表彰規程〕

前 2 条に基づく表彰に関する事項は、理事会が制定する「表彰規程」の定めるところによる。

第 86 条〔特別表彰〕

第 83 条および第 84 条に定める表彰のほか特に表彰を必要とする場合は、理事会の定めるところによる。

第5章 選手

第87条〔誠実義務〕

- ① 選手は、協会の寄附行為および本規約ならびにこれらに付随する諸規程を遵守するとともにJクラブの諸規則を遵守し、Jクラブとの間に締結した契約を誠実に履行しなければならない。
- ② 選手は、自己の能力を最大限に発揮するため、常に最善の健康状態の保持および運動能力の維持・向上に努めなければならない。

第88条〔履行義務〕

選手は、次の各事項を履行する義務を負う。

- (1) Jクラブの指定するすべての試合および研修ならびに協会およびJリーグの指定する試合および研修への参加
- (2) Jクラブの通常のスケジュールのトレーニングならびに特別に指定されたトレーニングおよび合宿を含むトレーニングへの参加
- (3) Jクラブの指定するミーティングおよび試合の準備に必要な行事への参加
- (4) Jクラブの指定する医学的検診、注射、予防処置および治療処置への参加
- (5) Jクラブの指定する広報活動およびファンサービス活動への参加
- (6) 副業に関する事前のJクラブの同意の取得
- (7) 合宿、遠征等に際してのJクラブの指定する交通機関および宿泊施設の利用
- (8) 居住場所に関する事前のJクラブの同意の取得
- (9) その他Jクラブが必要と認めた事項

第89条〔禁止事項〕

選手は、次の各行為を行ってはならない。

- (1) Jクラブ、協会およびJリーグの内部事情の部外者への開示
- (2) 試合およびトレーニングに関する事項（試合の戦略・戦術・選手の起用・トレーニングの内容等）の部外者への開示
- (3) Jクラブ、協会およびJリーグの承認が得られない広告宣伝・広報活動への参加もしくは関与
- (4) Jクラブとの契約の履行の妨げとなる内容の第三者との契約の締結
- (5) Jクラブの事前の同意を得ない、第三者の主催するサッカーまたはその他のスポーツの試合への参加
- (6) 試合の結果に影響を与える不正行為への関与
- (7) その他Jクラブにとって不利益となる行為

第 90 条〔費用の負担および用具の使用〕

- ① 選手が Jクラブのために旅行する期間の交通費および宿泊費は、Jクラブが負担する。
- ② 選手が試合およびトレーニングに使用する用具のうち、ユニフォーム一式およびトレーニングウェアは、Jクラブが支給したものを使用しなければならない。

第 91 条〔疾病および傷害〕

選手は、疾病または傷害に際してはすみやかに Jクラブに通知し、Jクラブの指示に従わなければならない。

第 92 条〔選手契約〕

- ① Jクラブと統一契約を締結した選手の移籍に関する権利および義務は、すべて当該 Jクラブに帰属する。
- ② Jクラブは、選手と締結したすべての契約書の写しを Jリーグに提出しなければならない。
- ③ Jリーグは、Jクラブの事前の同意がない限り、前項の写しを第三者に開示しないものとする。

第 93 条〔選手の報酬等〕

- ① Jクラブは選手に対し、前条第 2 項に基づき Jリーグに提出した契約書に記載された報酬以外の金銭または利益を名目のいかなを問わず供与してはならない。
- ② Jクラブは、選手の技能、報酬総額その他の事情を勘案したうえ、当該選手の能力を最も発揮し得るように、基本給、出場給および特別給の割合を設定するよう努めなければならない。

第 94 条〔支度金〕

Jクラブが、新規採用した選手または移籍した選手に対し、支度金を支払う場合は、理事会が制定する「支度金支給基準規程」の定めるところによる。

第 95 条〔代理人等〕

Jクラブと選手との契約に関し、弁護士以外の者は、代理人、仲介人等名称のいかににかかわらず、かつ、直接であると間接であるとを問わず、一切関与してはならない。

第 96 条〔未成年者〕

選手が、契約締結時に未成年である場合には、契約の締結について法定代理人の同意を得なければならない。

第 97 条〔選手の肖像等の使用〕

- ① 選手は、サッカー活動中の選手の肖像、映像、氏名等（以下「選手の肖像等」とい

う)が報道、放送されることおよび当該報道、放送に関する選手の肖像等につき何ら権利を有するものでない。

- ② 選手は、Ｊクラブから指示があった場合、Ｊクラブ、協会およびＪリーグの広報・広告宣伝活動に使用するための素材制作（肖像写真撮影、フィルム・ビデオ撮影、インタビュー録音等）に、原則として無償で応じなければならない。
- ③ Ｊクラブは、選手の肖像等を、Ｊクラブ、協会およびＪリーグの広報・広告宣伝活動のために無償にて使用することができるものとする。
- ④ 選手は、テレビ・ラジオ番組もしくはイベント等への出演または新聞・雑誌記事もしくは広告宣伝・販売促進活動等への関与については事前にＪクラブの書面による承諾を得なければならない。
- ⑤ 前項の出演または関与に際しての対価の分配は、Ｊクラブと選手が協議して定める。

第98条〔契約に関する紛争の解決〕

Ｊクラブと選手との間の契約の解釈または履行に関し、Ｊクラブと選手との間に紛争が生じたときは、Ｊクラブおよび選手が、その都度、誠意をもって協議の上解決するよう努めなければならない。

第6章 登録および移籍

第1節 登録

第99条〔協会の登録規程の遵守〕

Ｊクラブは、協会の「選手登録規程」を遵守し、同規程に従い協会への選手登録を行わなければならない。

第100条〔エントリー未了の選手〕

Ｊクラブは、エントリー未了の選手を公式試合に出場させてはならない。

第2節 移籍

第101条〔協会の移籍規程の遵守〕

Ｊリーグに所属する選手の移籍は、協会の「選手移籍規程」に従って行わなければ

ならない。

第 102 条〔契約更新の通知〕

Jクラブが、現に所属する選手との統一契約を更新（優先契約権の行使を含む）しようとするときは、契約期間満了日の属する年の前年の 10 月 31 日（日曜その他の休日である場合はその前日、以下も同様とする）までに、選手に対し、契約条件を明示した書面により、その旨を通知しなければならない。

第 103 条〔専属交渉期間〕

Jクラブが前条の通知をした場合、同年 11 月 1 日から 11 月 30 日までの期間は、現 Jクラブとの専属交渉期間とし、この期間内においては、当該選手は他の Jクラブと移籍に関する交渉を行ってはならず、かつ、他の Jクラブも、当該選手と移籍の交渉その他一切の接触をしてはならない。

第 104 条〔通知の効果〕

- ① 第 102 条による更新の通知の内容が現在の契約条件を下回らない場合において、通知を受けた選手が同年 11 月 30 日までに諾否の通知をしなかったときは、当該契約条件をもって契約を更新することを承諾したものとみなす。
- ② 第 102 条による更新の通知の内容が現在の契約条件を下回る場合において、通知を受けた選手が同年 11 月 30 日までに諾否の通知をしなかったときは、当該契約条件をもって契約を更新することを拒絶したものとみなす。

第 105 条〔移籍リストへの登載〕

選手が Jクラブが通知した契約条件による契約更新を拒絶した場合（前条第 2 項により拒絶したものとみなされる場合を含む）には、当該選手は、同年 12 月 1 日より「移籍リスト」に登載されるものとする。

第 106 条〔他のクラブとの自由交渉権〕

前条により「移籍リスト」に登載された選手は、以後自由に他の Jクラブと移籍に関する交渉を行う権利（以下「自由交渉権」という）を有する。

第 107 条〔元のクラブとの交渉権の喪失〕

- ① 「自由交渉権」を取得した選手は、以後、現に所属するクラブに対し、契約更新に関する交渉を申し入れることはできない。ただし、現に所属する Jクラブから当該選手に対する交渉の申し入れについてはこの限りではない。
- ② 前項ただし書により再度の交渉を申し入れる場合、現に所属する Jクラブは、当初に提示した報酬額を減額することができる。

第 108 条〔優先契約権の行使〕

Jクラブが、適法に優先契約権を行使した場合には、その通知が選手に到達した日

に、当該通知に記載された内容をもって、契約更新の合意が成立したものとみなす。

第109条〔更新を希望しない場合〕

- ① Jクラブが、選手との契約更新を希望しない場合には、契約期間満了日の属する年の前年の10月31日までに、書面により、その旨を通知しなければならない。
- ② 前項の場合、Jクラブは当該選手を、同年11月1日以降可及的すみやかに「移籍リスト」に登載するものとする。ただし、当該選手が反対の意思を表示した場合はこの限りではない。

第110条〔最終提示額証明書〕

- ① Jクラブは、現に所属する選手との契約を更新しないことが確定したときは、ただちに、当該選手との契約更新に関する交渉において最終的に提示した報酬額（基本給の年額および出場給の総額。以下も同様とする）を明記した書面（以下「最終提示額証明書」という）を、当該選手に対し発行しなければならない。
- ② 前条第1項の場合、「最終提示額証明書」に記載する金額は、いずれも0とする。

第111条〔移籍リストの運用〕

- ① 「移籍リスト」には、選手の氏名、生年月日、現在（または最終）の所属Jクラブの名称、契約終了時期および登載日を記載するものとする。
- ② 「移籍リスト」への登載および抹消の手続きは、「移籍リスト登録申請書」によるものとする。

第112条〔移籍承諾書発行依頼書〕

選手の報酬および移籍金について合意が成立したときは、移籍先クラブは移籍元クラブに対し、「移籍承諾書発行依頼書」を提出する。

第7章 監督およびコーチ

第113条〔トップチームの監督〕

Jクラブのトップチームは、監督として、協会が認定したS級コーチライセンスを保有する者を置かなければならない。

第114条〔トップチーム以外の監督またはコーチ〕

Jクラブのトップチーム以外のチームは、監督またはコーチとして、協会が認定した次の各号に定めるコーチライセンスを保有する者を1名以上置かなければならない。

- (1) サテライトチーム：B級以上
- (2) 2種、3種および4種チーム：C級以上

第115条〔例 外〕

次の要件を具備する者は、事前に協会およびJリーグの承認を得た場合に限り、例外として、前2条に定める監督またはコーチとなり得る。

- (1) 外国における経験に照らし前2条に定めるコーチライセンスと同等以上の資格を有していると認められること
- (2) 指導者としてふさわしい人格、識見を有すること

第116条〔研修への参加義務〕

すべての監督またはコーチは、協会またはJリーグが指定する研修会に参加しなければならない。

第117条〔公式試合等への出場禁止〕

監督およびコーチは、公式試合またはプレシーズンマッチに選手として出場してはならない。

第118条〔契約等〕

- ① Jクラブは、監督およびコーチと書面による契約を締結した場合は、その写しをJリーグに提出しなければならない。
- ② 監督およびコーチは、同一期間に複数のクラブと契約を締結することはできない。
- ③ 第97条〔選手の肖像等の使用〕第1項ないし第5項の規定は、監督およびコーチについて、これを準用する。

第119条〔守秘義務〕

監督およびコーチは、職務の遂行を通じて知り得た協会、JリーグまたはJクラブの秘密ないし内部事情を、第三者に開示または漏洩してはならない。

第 8 章 審 判

第120条〔資格要件〕

- ① 公式試合の主審および線審（以下総称して「審判」という）は、協会の認定する1級審判員の資格を有する者でなければならない。
- ② 外国における経験に照らし前項に定める審判資格と同等以上の資格を有していると

認められる者は、事前に協会の承認を得た場合に限り、例外として前項に定める審判となり得る。

第121条〔指名〕

- ① Jリーグは、協会の審判委員会に対し、原則として主審15名および線審30名の指名を要請するものとする。
- ② 前項の指名は、1年ごとに更新されるものとする。

第122条〔審判の服装および用具〕

審判は、Jリーグが指定する服装および用具を使用しなければならない。

第123条〔身分証〕

審判は、Jリーグが交付する身分証を携帯するものとする。

第124条〔手当等〕

審判に対する手当および交通費・宿泊費については、理事会が制定する「旅費規程」の定めるところによる。

第125条〔保険〕

Jリーグは、審判の、試合中および試合の前後（試合のための移動途中を含む）における事故に備えるため、Jリーグの費用負担において保険措置を講ずるものとする。

第9章 収益事業

第1節 各種の事業

第126条〔収益事業〕

Jリーグは、サッカーの普及および振興を促進するため、サッカーの試合の開催に加え、各種の付随的事業を行うものとし、各Jクラブはこれに積極的に協力するものとする。

第127条〔テレビ・ラジオ放送権〕

- ① 公式試合のテレビ・ラジオ放送権は、すべてJリーグに帰属する。
- ② 前項の放送権の取扱いについては、理事会において定める。

第 128 条〔その他の事業〕

Jリーグは、前 2 条に定める事業のほか、次の各号の事業を行うものとする。

- (1) サッカー用具の認定および検定に関する事業
- (2) 広報・出版に関する事業
- (3) その他理事会において定める事業

第 129 条〔Jリーグ・スポンサー〕

公式試合のスポンサーシップに関する事項については、理事会において定める。

第 130 条〔収入の配分〕

前 4 条の事業に基づく収入は、予め定められた比率により、Jクラブに配分する。

第 2 節 商品化に関する基本原則

第 131 条〔定義〕

本節における用語の意義は、次の各号に定めるところによる。

- (1) マーク等 JリーグまたはJクラブの名称、ロゴ、マーク、キャラクター、紋章、意匠、商標その他JリーグまたはJクラブを表示するもの
- (2) 商品化権 マーク等を使用して商品を製造・販売する権利
- (3) 「ケース・J」 Jリーグのみのマーク等を使用して商品を製造・販売する場合
- (4) 「ケース・J+10クラブ」 JリーグおよびすべてのJクラブのマーク等を使用して商品を製造・販売する場合
- (5) 「ケース・J+1クラブ」 Jリーグおよびある単一のJクラブのマーク等を使用して商品を製造・販売する場合
- (6) 「ケース・1クラブ」 ある単一のJクラブのみのマーク等を使用して商品を製造・販売する場合

第 132 条〔商品化権の帰属〕

- ① マーク等の商品化権の帰属は、原則として次のとおりとする。
 - (1) 「ケース・J」および「ケース・J+10クラブ」は、Jリーグに専属的に帰属する。
 - (2) 「ケース・J+1クラブ」は、Jリーグおよび当該Jクラブに帰属する。
 - (3) 「ケース・1クラブ」は、当該Jクラブに帰属する。
- ② JリーグおよびJクラブは、それぞれのマーク等を自己の費用負担と責任において開発・登録・管理するものとする。

第 133 条〔商品化権の実際上の運用基準〕

- 前条の規定にかかわらず、マーク等の商品化権の実際上の行使は次のとおりとする。
- (1) 「ケース・J」および「ケース・J+10クラブ」は、Jリーグのみが行使する。
 - (2) 「ケース・J+1クラブ」および「ケース・1クラブ」は、JリーグおよびJクラブの双方が行使する。
 - (3) Jリーグは、前2号の商品化権を第三者に許諾することができるものとする。ただし、この場合、当該第三者がJクラブに対し商品を低廉な優遇価格で販売することを条件とする。

第134条〔事前の通知と承認〕

Jクラブおよび前条第3号に基づき許諾を受けた第三者は、商品化に先立ち、各商品ごとにその素材、形状等をJリーグに通知し、その承認を得るものとする。

第135条〔商品化委員会による審議〕

前条に基づく承認の可否については、「商品化委員会」において審議するものとする。

第136条〔肖像等〕

- ① Jリーグは、Jクラブ所属の選手、監督、コーチ等（以下「選手等」という）の肖像、氏名、略歴等（以下「肖像等」という）を包括的に用いる場合に限り、これを無償で使用することができるものとする。ただし、特定の選手等の肖像等のみを使用する場合には、その都度、事前にJクラブと協議し、その承認を得るものとする。
- ② Jリーグは、前項の権利を第三者に許諾することができる。

第137条〔収入の配分〕

商品化権の行使によるJリーグの収入は、予め定められた比率により、Jクラブに配分する。

第10章 紛争解決

第1節 裁定委員会

第138条〔設置〕

本規約に関連する紛争の解決および本規約に基づく制裁に関する理事長の諮問機関として裁定委員会を設置する。

第 139 条〔組織および委員〕

- ① 裁定委員会は、5名以内の委員をもって組織する。
- ② 委員は、サッカーに関する経験と知識を有し、または学識経験を有する者で、公正な判断をすることができる者のうちから、理事会の同意を得て理事長が任命する。
- ③ 委員は、Jリーグの理事もしくは事務局職員またはクラブの役員もしくは職員を兼ねることができない。
- ④ 委員は、非常勤とする。

第 140 条〔委員の任期〕

- ① 委員の任期は2年とし、再任されることができる。
- ② 委員に欠員が生じた場合に、補欠として任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第 141 条〔委員長〕

- ① 裁定委員会に委員長を置く。
- ② 委員長は、委員が互選する。
- ③ 委員長は、裁定委員会を代表し、議事その他の会務を主宰する。
- ④ 委員長に事故あるときは、委員のうちから予め互選された者が、その職務を代行する。

第 142 条〔事務局〕

裁定委員会の事務を処理させるため、裁定委員会に事務局を置く。

第 143 条〔裁定委員会規程〕

裁定委員会の運営に関する事項は、本規約に定める事項を除き、理事会が制定する「裁定委員会規程」の定めるところによる。

第 2 節 理事長の決定

第 144 条〔理事長の決定〕

- ① Jリーグに所属する団体および個人は、次の事項につき、理事長の決定を求めることができる。
 - (1) 選手の契約に関するJクラブと選手との間の紛争
 - (2) 選手の移籍に関するJクラブ相互間またはJクラブと選手との間の紛争
 - (3) 前2号のほか、本規約上の権利・業務に関する紛争
- ② 前項により理事長の決定を求めようとする者は、「裁定委員会規程」の定めるところにより、裁定委員会に対し申立書を提出しなければならない。

第145条〔裁定委員会の答申〕

前条第2項による申立があったときは、まず裁定委員会が申立の内容について調査・審理した上、理事長に対し、書面により裁定案を答申するものとする。

第146条〔理事長の決定〕

理事長は、前条の答申を十分に尊重し、かつ、Ｊリーグ全体の利益を考慮した上、申立に対する決定を下すものとする。

第147条〔和解〕

申立があった後、当事者が和解した場合において、裁定委員会がその和解の内容を相当と認めたときは、その和解の内容をもって最終解決とする。

第11章 制 裁

第1節 総 則

第148条〔制裁〕

- ① 理事長は、ＪクラブまたはＪクラブに所属する個人（選手、監督、コーチ、役員その他の関係者を含む、以下同じ）が、本規約または本規約に付随する諸規程に違反したときは、制裁を科することができる。
- ② Ｊクラブに対する制裁の種類は次のとおりとし、これらの制裁を併科することができる。
 - (1) 譴 責 始末書を取り、将来を戒める。
 - (2) 除 名 Ｊリーグから除名する（ただし、総会において正会員現在数の4分の3以上の多数による議決を要する）。
- ③ Ｊクラブに所属する個人に対する制裁の種類は次のとおりとし、これらの制裁を併科することができる。
 - (1) 譴 責 始末書を取り、将来を戒める。
 - (2) 資格停止 始末書を取り、違反行為1件につき1年以内の期限を付して、公式試合の出場資格を停止する。
 - (3) 無期限の資格停止 期限を定めなくて公式試合の出場資格を停止する。

第149条〔制裁金の併科〕

- ① 理事長は、Ｊクラブに対し前条第２項の制裁を科すにあたり、制裁金を併科することができる。
- ② Ｊクラブに対する制裁金は、１件につき 3000 万円以下とする。

第 150 条〔裁定委員会への諮問〕

理事長は、前 2 条による制裁の種類および内容に関し裁定委員会に諮問し、その答申に基づき制裁を決定する。

第 151 条〔制裁金の納付〕

制裁金は、理事長による制裁金の決定後 30 日以内に、Ｊリーグの指定する方法により納付しなければならない。

第 152 条〔制裁金の合算〕

同時に複数の違反行為が制裁金の対象となったときは、各々について定められた制裁金の合算額をもって制裁金の金額とする。

第 153 条〔他者を利用した違反行為〕

他の者をして、違反行為を行わせたＪクラブまたはＪクラブに所属する個人には、自ら違反行為を行った場合と同様の制裁を科するものとする。

第 154 条〔両罰規定〕

Ｊクラブに所属する個人が違反行為を行った場合には、その個人に対して制裁を科すほか、その個人が所属するＪクラブに対しても制裁を科することができる。ただし、当該Ｊクラブに過失がなかったときは、この限りではない。

第 155 条〔違反行為の重複による加重〕

同種の違反行為を重ねて行ったときは、その違反行為について定められた制裁金の金額の 2 倍以下の範囲内において、制裁金の金額を加重することができる。

第 156 条〔酌量減輕〕

- ① 違反行為が行われた場合においても、その情状において酌量すべき事情があるときは、その制裁金の金額を減額することができる。
- ② 前条により加重すべき場合においても、なお前項の規定を適用することができる。

第 2 節 Ｊクラブに対する制裁金

第 157 条〔届出等に関する規約違反〕

次の各号のいずれかに該当するＪクラブに対しては、100 万円以下の制裁金を科す。

- (1) 第 23 条〔財務内容の開示〕第 1 項の規定に違反して所定の書類を提出せず、または虚偽の記載をした書類を提出したとき
- (2) 第 24 条〔株主の変更等〕第 1 項の規定に違反して株主名簿の写しを提出せず、または虚偽の記載をした株主名簿の写しを提出したとき
- (3) 第 110 条〔最終提示額証明書〕の規定に違反して「最終提示額証明書」を発行せず、または虚偽の記載をした「最終提示額証明書」を発行したとき

第 158 条〔競技の運営等に関する規約違反〕

次の各号のいずれかに該当する J クラブに対しては、300 万円以下の制裁金を科す。

- (1) 第 46 条〔届出義務〕第 1 項または第 2 項の規定に違反して所定の事項の届出をせず、または入場料金を所定の条件で設定しなかったとき
- (2) 第 48 条〔ユニフォーム〕第 1 項または第 2 項の規定に違反して所定の条件を満たすユニフォームを使用しなかったとき
- (3) 第 118 条〔契約等〕第 1 項の規定に違反して所定の写しを提出せず、または虚偽の内容の写しを提出したとき

第 159 条〔契約更新手続に関する規約違反〕

次の各号のいずれかに該当する J クラブに対しては、500 万円以下の制裁金を科す。

- (1) 第 102 条〔契約更新の通知〕の規定に違反して所定の書面による通知をせず、または虚偽の内容を通知したとき
- (2) 第 109 条〔更新を希望しない場合〕の規定に違反して所定の書面による通知をせず、または虚偽の内容を通知したとき

第 160 条〔J クラブの義務等に関する規約違反(1)〕

次の各号のいずれかに該当する J クラブに対しては、1000 万円以下の制裁金を科す。

- (1) 第 24 条〔株主の変更等〕第 2 項の規定に違反して理事会の承認を得ずに株主を変更したとき
- (2) 第 41 条〔参加義務等〕第 2 項の規定に違反して選出された選手を試合に参加させなかったとき
- (3) 第 60 条〔抱き合わせ開催の禁止〕の規定に違反して公式試合を他のイベント等と抱き合わせで開催したとき
- (4) 第 134 条〔事前の通知と承認〕の規定に違反して所定の手続を経ずに商品化を行ったとき

第 161 条〔J クラブの義務等に関する規約違反(2)〕

次の各号のいずれかに該当する J クラブに対しては、1500 万円以下の制裁金を科す。

- (1) 第 42 条〔最強のチームによる試合参加〕の規定に違反して最強のチームをもって試合に臨まなかったとき

- (2) 第 50 条〔Jクラブの責任〕の規定に違反して安全確保を怠り、または適切な態度を保持するよう努めなかったとき
- (3) 第 56 条〔試合日程の遵守〕の規定に違反して試合日程を遵守しなかったとき
- (4) 第 68 条〔公式試合以外の有料試合〕の規定に違反して事前にJリーグの承認を得ずに有料試合を開催したとき
- (5) 第 69 条〔外国チームとの試合等〕の規定に違反して事前に協会およびJリーグの承認を得ずに外国チームと試合を行ったとき
- (6) 第 70 条〔興行等への参加禁止〕の規定に違反して事前にJリーグの承認を得ずに第三者が主催するスポーツの試合またはイベント等に参加したとき
- (7) 第 92 条〔選手契約〕第 2 項の規定に違反して所定の写しを提出せず、または虚偽の内容の写しを提出したとき
- (8) 第 95 条〔代理人等〕の規定に違反してJクラブと選手との契約に関し、弁護士以外の者を代理人等として関与させたとき
- (9) 第 103 条〔専属交渉期間〕の規定に違反して選手と移籍に関する交渉または接触をしたとき

第 162 条〔Jクラブの義務等に関する規約違反(3)〕

次の各号のいずれかに該当するJクラブに対しては、3000万円以下の制裁金を科す。

- (1) 第 41 条〔参加義務等〕第 1 項の規定に違反して所定の試合に参加しなかったとき
- (2) 第 43 条〔不正行為への関与の禁止〕の規定に違反して試合の結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為に関与したとき
- (3) 第 93 条〔選手の報酬等〕第 1 項の規定に違反して選手に対して所定の報酬以外の金銭または利益を供与したとき
- (4) 第 100 条〔エントリー未了の選手〕の規定に違反してエントリー未了の選手を公式試合に出場させたとき

第 3 節 反 則 金

第 163 条〔アンフェアなプレイに対する反則金〕

- ① Jリーグは、反則ポイントの年間合計数が108ポイント以上のチームに対し、実行委員会の定めるところにより、100万円以下の反則金を科すものとする。
- ② 前項の反則ポイントの対象試合は、リーグ戦(第1, 第2ステージ)に限るものとする。

第 164 条〔反則ポイントの計算方法〕

前条の反則ポイントの計算は、退場(同一試合における警告2回による退場を除

く) 1回につき3ポイント, 警告1回につき1ポイント, 出場停止1試合につき3ポイントとして加算する。

第12章 最終的拘束力

第165条〔最終的拘束力〕

理事長の下す決定はJリーグにおいて最終のものであり, 当事者およびJリーグに所属するすべての団体および個人はこれに拘束され, 理事長の決定を不服として裁判所その他の第三者に訴えることはできない。

第13章 改正

第166条〔改正〕

本規約の改正は, 理事会の発議に基づく総会の議決により, これを行う。

第14章 附則

第1条〔施行期日〕

本規約は, 平成5年4月1日から施行する。

専門委員会規程

第1条〔趣旨〕

本規程は、「Jリーグ規約」第16条第3項に基づき、各専門委員会の組織、権限および運営に関する事項について定める。

第2条〔組織〕

- ① 各専門委員会は、それぞれ委員長および委員若干名をもって、これを組織する。
- ② 各専門委員会の委員長および委員は、サッカーに関する知識を有し、または学識経験者の中から、実行委員会の下に置かれる専門委員会については実行委員会が、理事長の下に置かれる専門委員会については理事長が、それぞれ任命する。
- ③ 各専門委員会は、委員長がこれを招集し、議事その他の会務を主宰する。
- ④ 委員長に事故あるときは、委員のうちから予め互選された者が、その職務を代行する。

第3条〔任期〕

- ① 各専門委員会の委員長および委員の任期は2年とする。ただし、補欠として任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- ② 各専門委員会の委員長および委員は、再任されることができる。

第4条〔各専門委員会の所管事項〕

各専門委員会の所管事項は、別表1に記載のとおりとする。

第5条〔各専門委員会の職務〕

- ① 各専門委員会は、その所管事項に関し、次の事項を行う。
 - (1) 所管事項およびこれに付帯関連する事項に関する調査、研究
 - (2) その他実行委員会または理事長から特に指示された事項
- ② 複数の専門委員会の所管事項に関連する事項については、実行委員会または理事長が、これを調整する。

第6条〔議事録〕

各専門委員会の議事の経過の要領および結果は、議事録に記録しておかねばならない。

第7条〔事務局〕

各専門委員会は、その事務を処理させるため、事務局を置くことができる。

第8条〔細則〕

各専門委員会は、その所管事項の処理に関し必要な細則を定めることができる。

第9条〔施行〕

本規程は、平成5年4月1日から施行する。

〔別表1〕 所 管 事 項

〔1〕 実行委員会の下に置かれる専門委員会

専門委員会の名称	所 管 事 項
1. 運営委員会	(1) 公式試合の試合日程の検討・立案 (2) 公式試合の実施に関する要項の検討・立案 (3) その他公式試合の開催・運営に関する事項の検討・立案
2. 選手委員会	(1) 選手契約に関する事項の検討・立案 (2) 選手の資格に関する事項の検討・立案 (3) 選手の移籍に関する事項の検討・立案 (4) その他選手の管理に関する事項の検討・立案
3. ホームタウン委員会	(1) 各Jクラブのチーム名, ホームタウンおよび活動区域の設定・変更に関する事項の検討・立案 (2) 各Jクラブの活動区域内における諸行事の承認・調整に関する事項 (3) その他ホームタウンに関する事項の検討・立案
4. ユニフォーム選定委員会	(1) 公式試合のユニフォームの選定・承認に関する事項 (2) その他公式試合のユニフォームに関する事項の検討・立案
5. 事業委員会	(1) スポンサー契約に関する事項の検討・立案 (2) イベント等の主催, 後援, 協力に関する事項 (3) テレビ・ラジオ放送権に関する事項の検討・立案

専門委員会の名称	所 管 事 項
6. 商品化委員会	(1) Jリーグおよび各Jクラブのマーク等を使用した商品の製造・販売（商品化）に関する事前審査および承認に関する事項 (2) 前号のマーク等の管理に関する事項 (3) その他商品化および収益事業に関する事項の検討・立案
7. 広報委員会	(1) 報道機関への発表その他の広報活動 (2) 放送，後援，協賛等に関する交渉 (3) 「オフィシャルガイドブック」その他の刊行物の発行 (4) その他広報活動に関する事項の検討・立案
8. 厚生委員会	(1) 年金制度に関する事項 (2) 傷害保険に関する事項 (3) その他選手等の福利・厚生に関する事項の検討・立案
9. 経理委員会	(1) 各会計年度の予算および決算の検討・立案 (2) 諸行事の実施に関する予算統制および収支の監査 (3) 資金の運用・借入等の資金計画に関する事項の検討・立案 (4) その他財務および経理に関する事項の検討・立案

〔2〕理事長の下に置かれる専門委員会

専門委員会の名称	所 管 事 項
1. 規律委員会	(1) ピッチおよびその周辺部分ならびに競技場内外における懲罰事由の調査および処分の決定 (2) Jリーグに対する社会一般の評価を悪化させるおそれのある事項の防止に関する検討・立案 (3) スポーツマンシップおよび秩序維持に関する事項の検討・立案 (4) その他規律および懲罰に関する事項の検討・立案
2. 審判委員会	(1) 審判技術の指導に関する事項 (2) 審判員の養成に関する事項 (3) 協議規則の解釈および運用に関する事項 (4) その他審判に関する事項の検討・立案
3. 指導者委員会	(1) 指導者の資格（ライセンス）に関する事項 (2) 指導者の養成・研修に関する事項 (3) その他指導者に関する事項の検討・立案
4. 技術委員会	(1) 強化方針に基づく技術指導 (2) サッカー技術に関する調査・研究 (3) その他サッカー技術に関する事項の検討・立案
5. 医学委員会 (スポーツ医学委員会)	(1) 公式試合における、競技場内医事運営に関する事項 (2) 医学的検査、外傷・傷害の処置を含む選手の健康管理の指導に関する事項 (3) 大会エントリーに際してのメディカルチェックに関する事項 (4) その他のスポーツ医学に関する事項の検討・立案

6. 法務委員会	<ul style="list-style-type: none">(1) 定款, Jリーグ規約および諸規程の制定・改廃に関する検討・立案(2) 選手契約の法的解釈・運用に関する事項(3) サッカーに関する外国の制度, 規程等の調査・検討(4) 理事長から特に指定された事項の調査・検討(5) その他法務関連事項に関する検討・立案
----------	---

準 会 員 規 程

第1条〔趣 旨〕

本規程は、「Jリーグ規約」第27条第2項に基づき、準会員の資格要件、入会手続きその他準会員に関する事項について定める。

第2条〔準会員の意義〕

Jリーグは、Jリーグの正会員になるとする意思を有するJ1リーグまたはJ2リーグ所属のクラブのうち、本規程に定める資格および条件を具備するクラブを、準会員として入会させることができる。

第3条〔準会員の資格要件〕

準会員たるクラブは、「Jリーグ規約」第19条第1号ないし第5号に定める資格要件を具備するものでなければならない。

第4条〔準会員としての入会手続き〕

- ① 準会員として入会を希望するクラブは、毎年9月30日までに、Jリーグに対し所定の申請書を提出しなければならない。
- ② Jリーグは、前項の申請書を提出したクラブに対し、次の手続きおよび調査を行う。
 - (1) クラブ責任者およびホームタウンの行政当局責任者からの聴聞
 - (2) 地域との協力関係およびホームスタジアム等に関する現地調査
 - (3) チームの戦力、観客動員数その他Jリーグが必要と認める事項に関する調査
- ③ Jリーグは、前項に基づく調査等の結果、入会が可能であると認めたクラブに対し、遅くとも同年11月30日までに、その旨を書面で通知する。
- ④ 前項の通知を受けたクラブは、同年12月31日までに準会員としての入会金（金2000万円）を納入しなければならない。

第5条〔準会員の地位〕

準会員たるクラブには、次の事項に関する権利が認められるものとする。

- (1) リーグ戦を除くJリーグ公式試合およびサテライトリーグに参加すること
- (2) リーグカップ戦その他Jリーグが特に指定した試合の収入の配分を受けること
- (3) 各種委員会にオブザーバーとして参加すること
- (4) その他Jリーグが特に指定した事項

第6条〔準会員の遵守義務〕

- ① 準会員たるクラブは、次の事項を履行する義務を負う。

- (1) 協会の「寄附行為」および「Ｊリーグ規約」ならびにこれらに付随する諸規則を遵守すること
 - (2) 次に掲げるＪリーグの設立趣旨に賛同すること
 - イ. スポーツ文化としてのサッカーの振興
 - ロ. 日本サッカーの強化と発展
 - ハ. 選手・指導者の地位の向上
 - ニ. 競技場等の環境整備
 - (3) その他Ｊリーグが指定する事項
- ② 準会員たるクラブは、Ｊリーグに対し、次に定める入会金および年会費を納入しなければならない。
- (1) 入会金 金 2000 万円
 - (2) 年会費 総会において別途定める金額

第 7 条〔準会員から正会員になるための手続き〕

- ① Ｊリーグは、第 4 条に基づき準会員となったクラブについて、翌年度のＪ１リーグ戦の終了後直ちに、リーグ戦の成績が上位のクラブから順次正会員としての入会の意思および資格要件を再度確認した上その可否を決定し、正会員としての入会を認めたクラブに対し、その旨を書面で通知する。
- ② 前項の通知を受けたクラブは、通知受領後 10 日以内に正会員としての入会申込み手続きを行うとともに、1 か月以内に正会員としての入会金（金 6000 万円）を納入しなければならない。

第 8 条〔施行〕

本規程は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。

主管権譲渡規程

第1条〔趣旨〕

本規程は、「Jリーグ規約」第54条に基づき、公式試合のホームゲームの主管権の譲渡について定める。

第2条〔主管権の譲渡〕

- ① Jクラブは、Jリーグの事前の承認を得て、その主管する公式試合のホームゲームの主管権を、協会に所属する都道府県サッカー協会に対し譲渡することができる。
- ② 主管権譲渡の対象となった試合（以下「譲渡試合」という）の運営に関する一切の費用（協会納付金等を含む）は、主管権の譲渡を受けた都道府県サッカー協会が負担する。
- ③ Jクラブは、主管権を譲渡した場合においても、「Jリーグ規約」に定めるJクラブの義務を免れることはできない。

第3条〔後援・協力〕

主管権の譲渡を受ける都道府県サッカー協会は、Jリーグの事前の承認を得た場合にかぎり、譲渡試合に対する地方公共団体、新聞社または放送会社の後援または協力を得ることができる。

第4条〔譲渡の手続き〕

主管権の譲渡は、次に定める手続きによるものとする。

- (1) 主管権を譲渡しようとするJクラブは、譲渡試合の属する大会の開幕日の3か月前までに、主管権を譲渡する都道府県サッカー協会との連名にて、Jリーグに対し所定の申請書（様式1または様式2）により申請する。
- (2) Jリーグは、申請を受理した後14日以内に、承認の可否を、申請元のJクラブに対し通知する。

第5条〔譲渡金〕

本規程に基づく主管権の対価は、金1000万円（消費税を含まない）以上とする。ただし、サテライトJリーグについては金50万円（消費税を含まない）以上とする。

第6条〔テレビ・ラジオ放送権〕

譲渡試合のテレビ・ラジオ放送権は、Jリーグに帰属する。

第7条〔試合の運営〕

譲渡試合の運営については、「Jリーグ規約」および「試合実施要項」の定めるところによる。

第8条〔施行〕

本規程は、平成5年4月1日から施行する。

平成 年 月 日

社団法人 日本プロサッカーリーグ
理事長 川 淵 三 郎 殿

(住所)
甲〔譲渡するJクラブ〕 (名称)
(代表者) (印)

(住所)
乙〔譲受ける都道府県 (名称)
サッカー協会〕 (代表者) (印)

主管権譲渡承認申請書〔様式Ⅰ〕

甲から乙に対し、下記の条件により公式試合の主管権を譲渡いたしたく、「Jリーグ規約」第54条および「主管権譲渡規程」第4条に基づき申請いたします。

記

1	譲渡試合	①日 時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
		②場 所	
		③対戦相手	
2	大会運営	Jリーグの試合実施要項に準拠する。	
3	経 費	①必要経費	乙が、Jリーグ規約第75条の必要経費を負担する。
		②遠征費用	乙は、「旅費規程」に定める基準に従い、出場チーム双方に対し試合当日までに支払う。
		③その他	(1)マッチコミッサーならびに主審および線審2名の旅費等はJリーグが負担する。 (2)スペア審判員の旅費等は乙が負担する。 (3)試合使用球3個は甲が準備する。
4	入場料および入場券等	①入場料	入場料収入はすべて乙が管理する。
		②入場券	入場券は乙の費用負担により作成し、その発行枚数は所定の用紙により甲からJリーグに報告する。
		③招待券	乙は、Jリーグ所定の枚数の招待券を、無償にてJリーグに提供する。

		④協会納付金等	乙は、協会納付金（入場料収入の3%相当額）およびワールドカップ招致協力金（有料入場券の販売枚数に金100円を乗じた金額）を、甲を経由して協会に納付する。
		⑤事前承認	乙は、入場料の体系および入場券のデザインについて事前に甲を経由してJリーグの承認を得る。
5	放送権	テレビ・ラジオ放送権はJリーグに帰属する。	
6	ポスター等	ポスターおよびプログラムは、乙の費用負担により作成する。	
7	広告掲載等	乙は、競技場に掲出する広告看板および入場券の裏面への広告掲出等については、事前に甲を経由してJリーグの承認を得る。	
8	譲渡の対価	①金額	主管権譲渡の対価は金_____円 (ただし、消費税を含まない)とする。
		②支払時期	乙は、前項の対価を、譲渡試合の実施日の翌日から起算して20日以内に、甲に対し支払う。
		③支払方法	Jリーグの指定する方法による。
9	後援または協力 (団体名)	①後援	
		②協力	
10	収支報告	乙は、譲渡試合の実施日の翌日から起算して20日以内に、甲を経由してJリーグに対し、所定の用紙により譲渡試合の収支報告を行う。	
11	協議	本申請書に定めのない事項については、協会の寄附行為、Jリーグ規約およびこれらに付随する諸規程の定めるところに従い、甲、乙およびJリーグが誠意をもって協議の上決定する。	

以上

[注]：本申請書は、甲乙捺印済みのもの3通を提出して下さい。

承認書

上記の申請書に基づく主管権の譲渡を承認します。

平成 年 月 日

社団法人 日本プロサッカーリーグ
理事長 川 淵 三 郎 (印)

承認番号	平成 年・第	号
------	--------	---

平成 年 月 日

社団法人 日本プロサッカーリーグ
理事長 川 淵 三 郎 殿

(住所)
甲〔譲渡するJクラブ〕 (名称)
(代表者) (印)

(住所)
乙〔譲受ける都道府県 (名称)
サッカー協会〕 (代表者) (印)

主管権譲渡承認申請書〔様式2〕

——サテライトJリーグ用——

甲から乙に対し、下記の条件により公式試合の主管権を譲渡いたしたく、「Jリーグ規約」第54条および「主管権譲渡規程」第4条に基づき申請いたします。

記

1	譲渡試合	①日 時	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
		②場 所	
		③対戦相手	
2	大会運営	Jリーグの試合実施要項に準拠する。	
3	経 費	①必要経費	乙が、Jリーグ規約第75条の必要経費を負担する。
		②遠征費用	乙は、「旅費規程」に定める基準に従い、出場チーム双方に対し試合当日までに支払う。
		③その他	(1)主審および線審2名の旅費等はJリーグが負担する。 (2)マッチコミッサーおよびスペア審判員の旅費等は乙が負担する。 (3)試合使用球2個は甲が準備する。
4	入場料および入場券等	①入場料	入場料収入はすべて乙が管理する。
		②入場券	入場券は乙の費用負担により作成し、その発行枚数は所定の用紙により甲からJリーグに報告する。

		③招待券	乙は、Ｊリーグ所定の枚数の招待券を、無償にてＪリーグに提供する。
		④事前承認	乙は、入場料の体系および入場券のデザインについて事前に甲を経由してＪリーグの承認を得る。
5	放送権	テレビ・ラジオ放送権はＪリーグに帰属する。	
6	ポスター等	ポスターおよびプログラムは、乙の費用負担により作成する。	
7	広告掲載等	乙は、競技場に掲出する広告看板および入場券の裏面への広告掲出等については、事前に甲を経由してＪリーグの承認を得る。	
8	譲渡の対価	①金額	主管権譲渡の対価は金_____円 (ただし、消費税を含まない)とする。
		②支払時期	乙は、前項の対価を、譲渡試合の実施日の翌日から起算して20日以内に、甲に対し支払う。
		③支払方法	Ｊリーグの指定する方法による。
9	後援または協力 (団体名)	①後援	
		②協力	
10	収支報告	乙は、譲渡試合の実施日の翌日から起算して20日以内に、甲を経由してＪリーグに対し、所定の用紙により譲渡試合の収支報告を行う。	
11	協議	本申請書に定めのない事項については、協会の寄附行為、Ｊリーグ規約およびこれらに付随する諸規程の定めるところに従い、甲、乙およびＪリーグが誠意をもって協議の上決定する。	

以上

[注]：本申請書は、甲乙捺印済みのもの3通を提出して下さい。

承認書

上記の申請書に基づく主管権の譲渡を承認します。

平成 年 月 日

社団法人 日本プロサッカーリーグ
理事長 川 淵 三 郎 (印)

承認番号	平成 年・第	号
------	--------	---

公式試合出場料規程

第1条〔目的〕

本規程は、「Jリーグ規約」第76条に基づき、Jリーグが主管するリーグ戦、リーグカップ戦その他の公式試合（以下「公式試合」という）に出場するチームを保有する正会員および準会員（以下「クラブ」という）に対して支給される対価（以下「出場料」という）について定める。

第2条〔出場料の計算方法〕

- ① 各クラブの出場料は、公式試合の収入の総額の65%以内の金額を参加クラブ数で除した金額とする。
- ② 年度毎の出場料算出基準は、各年度初めに決定する。
- ③ 第1項の収入とは、協賛金、放送権料および入場料の合計金額をいう。ただし、放送権料のうち、各クラブに支払われる放送権料は除くものとする。

第3条〔出場料の計算年度〕

出場料の計算年度は、毎年3月1日から翌年2月末日までとする。

第4条〔出場料の支給方法〕

- ① 出場料の支給方法は、次のとおりとする。
 - (1) 毎年3月31日までに、当年の2月末日に終了する計算年度に関する出場料を決定する。
 - (2) 前号により決定した出場料を、当年の4月30日までに各クラブに対して支給する。
- ② 前項の規定にかかわらず、理事会および全てのクラブが承認した場合には、計算年度の途中において、出場料の2分の1に相当する金額を、中間金として支給することができる。
- ③ 前項に基づき支給した中間金は、第1項に基づく支給額から控除されるものとする。

第5条〔付則〕

- ① 本規程は、平成5年3月1日から実施する。
- ② 前項の規定にかかわらず、平成4年度については、各クラブに対し、第2条第3項に定める収入の総額の6.5%に相当する金額を、出場料として支給するものとする。

旅 費 規 程

第1条〔目 的〕

本規程は、Ｊリーグ規約第82条および第124条に基づき、選手、監督、コーチおよび審判員等の旅費および宿泊費について定める。

第2条〔公式試合の旅費および宿泊費〕

- ① 公式試合（リーグ戦およびリーグカップ戦）のための遠征に要する旅費および宿泊費は、次の基準により算出する。
 - (1) 人員数は24名（役員およびスタッフ8名、選手16名）を上限とする。
 - (2) 旅費は、新幹線グリーン車による往復を原則とする。
ただし、
 - イ. 在来線による場合はグリーン車の特急または寝台とする。
 - ロ. 試合当日に本拠地に帰着できない場合、航空機の利用を認めることがある。
 - (3) 宿泊費は、試合前の1泊分として1名につき金2万円とする。
ただし、
 - イ. 本拠地から試合開催地までの距離が片道100km未満のときを除く。
 - ロ. 試合当日に本拠地に帰着できない場合、試合後の1泊を認めることがある。
- ② 前項の旅費および宿泊費は、Ｊリーグ規約に別段の定めがない限り、その全額を、遠征を行ったＪクラブが自ら負担する。

第3条〔サテライトＪリーグ戦〕

- ① サテライトＪリーグ戦における遠征に要する費用（旅費、宿泊費および日当）は、次の基準により算出された全クラブの費用の合計額を、各クラブにおいて均等の割合で負担する。
 - (1) 1クラブの人員数は22名（役員およびスタッフ6名、選手16名）を上限とする。
 - (2) 旅費は、新幹線普通車の往復運賃を原則とする。
ただし、
 - イ. 在来線による場合は普通車の特急またはB寝台とする。
 - ロ. 試合当日に本拠地に帰着できない場合、航空機の利用を認めることがある。
 - (3) 宿泊費は、試合前の1泊分として1名につき金1万5000円とする。
- ② 本拠地から試合開催地までの距離が片道100km未満の場合には、前項第3号および第4号の各費用は除かれるものとする。

第4条〔審判員の旅費等〕

- ① 公式試合の審判員の旅費等は、次の基準によりＪリーグが支給する。

(1) 宿泊費は、1泊につき金2万円とする。

ただし、自宅の最寄り駅から試合開催地までの距離が200km以上のときは前泊を認め、特別の事情があるときは後泊も認める。

(2) 旅費は、次の基準により支給する。

イ、片道100km以上のときは、グリーン車の特急、寝台の往復とし、新幹線利用の場合は普通車往復運賃を原則とする。ただし、主審についてはグリーン車の利用を認める。

ロ、タクシーの利用が不可避の場合には、タクシーの利用を認める。

ハ、試合開催地が自宅所在地と同一県内にある場合は一律金2000円とし、超過分は実費精算とする。

② サテライトJリーグ戦の審判員の旅費等は、次の基準によりJリーグが支給する。

(1) 宿泊費は、1泊につき金1万5000円とする。

ただし、自宅の最寄り駅から試合開催地までの距離が200km以上のときは前泊を認め、特別の事情があるときは後泊も認める。

(2) 旅費は、次の基準により支給する。

イ、片道100km以上のときは、グリーン車の特急、寝台の往復とし、新幹線利用の場合は普通車往復運賃を原則とする。

ロ、試合開催地が自宅所在地と同一県内にある場合は一律金2000円とし、超過分は実費精算とする。

③ プレシーズンマッチの審判員の旅費等は、前項に定める基準により、主管者が支給する。

第5条〔監督・コーチ等の行事参加〕

Jクラブの監督およびコーチ等が、Jリーグの指示に基づき行事に参加する場合の旅費等は、次の基準によりJリーグが支給する。

(1) 旅費は、新幹線グリーン車による往復を原則とする。ただし、在来線による場合はグリーン車の特急または寝台とする。

(2) 宿泊費は、1泊につき金2万円とする。

第6条〔選手の行事参加〕

選手が、Jリーグの指示に基づき行事に参加する場合の旅費等については、第2条第1項または第3条第1項に定める基準により、Jリーグが支給する。

第7条〔協会の規程の準用〕

本規程に定めのない事項については、協会の「旅費規程」を準用する。

第8条〔施行〕

本規程は、平成5年4月1日から施行する。

表彰規程

第1条〔趣旨〕

本規程は、「Jリーグ規約」第85条に基づき、Jリーグ公式試合におけるチーム、選手、監督、コーチおよび審判員の表彰ならびにJリーグの発展に功労のあった者に対する表彰に関し定める。

第2条〔各ステージ表彰〕

Jリーグは、第1、第2各ステージにおけるチームの順位により、それぞれ次のとおり賞金および記念品を授与する。

- (1) 優勝：賞金 50,000,000 円、チェアマン杯、スポンサー杯
- (2) 2位：賞金 20,000,000 円、Jリーグ楯、スポンサー杯
- (3) 3位：賞金 10,000,000 円、Jリーグ楯

第3条〔年間総合表彰〕

Jリーグは、各チームの年間総合成績により、次のとおり賞金および記念品を授与する。

- (1) 優勝：賞金 10,000,000 円、Jリーグ杯（優勝銀皿）、日本サッカー協会会長杯、日本・ポルトガル友好アトランティス杯、メダル
- (2) 2位：賞金 3,000,000 円、Jリーグ杯（2位銀皿）

第4条〔フェアプレイ賞（高円宮杯）〕

- ① Jリーグは、リーグ戦（第1、第2ステージ）における反則ポイント数の年間合計数が24ポイント以下であり、かつ、当該反則ポイント数が最少のチームに対し、高円宮杯を授与する。ただし、該当チームが複数あるときは、年間総合成績が最上位のチームに対して授与する。
- ② 前項の反則ポイントの計算は、退場（同一試合における警告2回による退場を除く）1回につき3ポイント、警告1回につき1ポイント、出場停止1試合につき3ポイントとして加算する。
- ③ Jリーグは、反則ポイントの年間合計数が次の区分のいずれかに該当するチームに対し、フェアプレイ賞としてそれぞれ次の賞金を授与する。

9ポイント以下	賞金 5,000,000 円
12ポイント以下	賞金 3,000,000 円
18ポイント以下	賞金 2,000,000 円
24ポイント以下	賞金 1,000,000 円

第5条〔個人表彰〕

- ① Jリーグは、選手等に対し、リーグ戦における活躍を評価して次の各賞を選考し、賞金または賞品を授与する。
 - (1) 得点王：賞金 1,000,000 円
 - (2) ベストイレブン：賞金 1,000,000 円
 - (3) 最優秀選手賞：賞金 2,000,000 円
 - (4) 新人王：賞金 500,000 円
 - (5) 優秀監督賞：賞金 1,000,000 円
 - (6) 最優秀審判員賞
- ② 前項の各賞の受賞者は、実行委員会が指名した者により構成される選考委員会が決定する。
- ③ Jリーグは、選手および審判員に対し、リーグ戦通算出場記録により、記念品および賞品を授与して表彰を行うことができる。

第6条〔リーグカップ表彰〕

- ① Jリーグは、リーグカップ終了後、チームの順位により次のとおり賞金および記念品を授与する。
 - (1) 優勝：賞金 50,000,000 円，Jリーグカップ，メダル，スポンサー杯
 - (2) 2位：賞金 20,000,000 円，楯，メダル
 - (3) 3位：賞金 10,000,000 円，楯
 - (4) 4位：賞金 10,000,000 円
- ② Jリーグは、選手に対し、リーグカップにおける活躍を評価して最優秀選手を選考し、賞金または賞品を授与する。

第7条〔サテライトJリーグ表彰〕

Jリーグは、サテライトJリーグにおける各チームの順位により、次のとおり記念品を授与する。

- (1) 優勝：楯
- (2) 2位：楯
- (3) 3位：楯

第8条〔功労者表彰〕

- ① Jリーグは、Jリーグの発展に功労のあった者に対し、記念品等を贈呈して表彰を行うことができる。
- ② 前項の表彰を受ける者は、理事長の推薦に基づき理事会が決定する。

第9条〔表彰式〕

- ① 各ステージ表彰，年間総合表彰，フェアプレイ賞，個人表彰およびサテライトJリーグ表彰の表彰式は、Jリーグチャンピオンシップ終了後に行う。
- ② 表彰式には、次の者が出席する。

- (1) Jリーグ役員，マッチコミッサー，実行委員，運営委員および広報委員
 - (2) 受賞対象チームの役員および選手
 - (3) 個人表彰の受賞者
 - (4) その他の表彰対象者
- ③ 前項の出席者の旅費は，Jリーグ「旅費規程」に基づきJリーグが負担する。
 - ④ 表彰式には，サッカー担当記者，審判関係者，スポンサー関係者およびその他の関係者を招待する。

第10条〔施行〕

本規程は，平成5年4月1日から施行する。

- ③ 子供用品等
- ④ 自動車

5. その他

旅費，宿泊費および引越し費用は，実費を支給することができる。

裁定委員会規程

第1条〔趣旨〕

本規程は、「Jリーグ規約」第143条に基づき、裁定委員会の運営に関する事項について定める。

第2条〔会議および議決〕

- ① 裁定委員会の会議は、委員長が招集する。
- ② 裁定委員会は、委員長および1名以上の委員の出席がなければ、会議を開き、または議決をすることができない。
- ③ 裁定委員会の議事は、出席者の過半数をもって決する。可否同数のときは、委員長の決するところによる。

第3条〔審理の非公開〕

裁定委員会の審理は、非公開とする。ただし、裁定委員会は、審理の公正が害されるおそれがなく、かつ、相当の理由があると認めるときは、関係者の傍聴を許すことができる。

第4条〔申立手続き〕

- ① 裁定の申立を行う者（以下「申立人」という）は、裁定委員会に対し、次の書類を提出しなければならない。
 - (1) 裁定申立書
 - (2) 申立人の主張を裏付ける書証がある場合は、その原本または写し
 - (3) 代理人により申立を行う場合は、委任状
- ② 前項第1号の裁定申立書には、次の事項を記載しなければならない。
 - (1) 当事者の氏名または名称（法人の場合は代表者も記載する）および住所
 - (2) 代理人に代理させる場合は、代理人の氏名および住所
 - (3) 裁定の申立の趣旨
 - (4) 裁定の申立の理由および立証方法
- ③ 申立の手数料は1件につき金10万円とし、申立と同時に納付しなければならない。

第5条〔申立の受理および通知〕

- ① 裁定委員会は、前条の規定に適合する裁定の申立があったときは、これを受理するとともに、申立の相手方（以下「被申立人」という）に対し、その旨を通知する。
- ② 前項の通知には、裁定申立書1部を添付しなければならない。

第6条〔答 弁〕

- ① 被申立人は、前条の通知が到達した日から30日以内に、裁定委員会に対し、次の書類を提出して答弁することができる。
 - (1) 答弁書
 - (2) 答弁の理由を裏付ける書証がある場合は、その書証の原本または写し
 - (3) 代理人により答弁を行う場合は、委任状
- ② 前項第1号の答弁書には、次の事項を記載しなければならない。
 - (1) 当事者の氏名または名称（法人の場合は代表者も記載する）および住所
 - (2) 代理人に代理させる場合は、代理人の氏名および住所
 - (3) 答弁の趣旨
 - (4) 答弁の理由および立証方法
- ③ 裁定委員会は、前2項の規定に適合する答弁があったときは、これを受理するとともに、申立人に対し、その旨を通知する。
- ④ 前項の通知には、答弁書1部を添付しなければならない。
- ⑤ 裁定委員会は、第1項に定める期間内に被申立人から答弁書が提出されなかった場合には、申立人の主張を認める裁定を行うことができる。

第7条〔提出書類の部数〕

本規程により申立人または被申立人が提出する書類の部数は、委任状を除き3部（原本を提出するときは、その写しを含めて3部）とする。ただし、当事者が3名以上のときは、当事者1名につき1部増加する。

第8条〔申立内容の変更〕

申立人は、被申立人に対し裁定申立の通知が発信された後においては、裁定委員会の承認を得なければ、申立の内容を変更することができない。

第9条〔訳文の添付〕

当事者が裁定委員会に対して提出する書面が外国語で記載されている場合には、日本語の訳文を添付しなければならない。

第10条〔代理人〕

弁護士および裁定委員会が承認した者以外の者は、申立人または被申立人の代理人となることができない。

第11条〔審理または調査のための権限等〕

裁定委員会は、申立の審理のために必要と認めるときは、第三者の証言もしくは鑑定人の鑑定を求め、または資料の提出を命じることができる。

第12条〔費用の負担〕

前条の調査に要する費用は、原則として当事者が負担するものとする。

第13条〔裁定〕

- ① 裁定委員会は、申立の内容につき調査・審理した上、次の事項を記載し、委員長および審理に参加した委員が署名押印した裁定書を作成し、これを理事長に提出しなければならない。
 - (1) 当事者の氏名または名称（法人の場合は代表者も記載する）および住所
 - (2) 代理人があるときは、その氏名および住所
 - (3) 主文（裁定委員会の判断の結論）
 - (4) 判断の理由
 - (5) 裁定書の作成年月日
- ② 前項の裁定書には、申立手数料およびその他の費用を負担する当事者およびその割合を記載しなければならない。

第14条〔和解〕

- ① 申立後当事者が和解した場合において、裁定委員会がその和解の内容を相当と認めたときは、その和解の内容を裁定書に記載する。
- ② 前条第1項第1号、第2号および第5号ならびに第2項の規定は、前項の場合に準用する。

第15条〔裁定委員会の運営細則〕

裁定委員会は、裁定委員会の会議その他運営に関する細則を定めることができる。

第16条〔施行〕

本規程は、平成5年4月1日から施行する。

'93 Jリーグ試合実施要項

本実施要項は、1993年度Jリーグの第1ステージおよび第2ステージのリーグ試合（以下「本大会」という）の実施に関し定めるものであり、本大会運営はすべてこの要項に定めるところによる。

第1節 競技場

第1条〔競技場の確保と維持〕

Jクラブは、次条以下に定める要件を具備する競技場を確保し、良好な状態でホームゲームを実施し得るよう、これを維持管理する責任を負う。

第2条〔競技場〕

- ① 競技場は、次の各号の条件を満たすものでなければならない。
 - (1) ピッチは、天然芝であり、原則として縦長105 m、横幅68 mであること
 - (2) ピッチの外側周囲には、原則としてすべて1.5 mの芝生部分を確保すること
 - (3) ゴールのポストおよびバーは白色かつ丸型（直径12 cm）であること
 - (4) ゴールネットは白色で、鉄製その他ボールを反発するような補強材を使用しないで取り付けるものであること
 - (5) コーナーフラッグおよびコーナーフラッグポールは、Jリーグ指定のものであること
- ② フィールド（ピッチおよびその周辺部分）には、選手のプレーに影響を与え、または危険を及ぼすおそれのある物は一切放置もしくは設置してはならない。
- ③ 競技場の観客席は、15,000人以上収容できるものでなければならない。ただし、芝生席は、観客席とはみなさない。
- ④ 競技場には、平均1,500ルクス以上の照度をもつ照明装置を設置しなければならない。

第3条〔競技場付帯設備〕

競技場は、次の各号の付帯設備を備えるものでなければならない。

- (1) 更衣室（温水シャワーが使用でき、かつ、ホームチーム、ビジターチームおよび審判員について各々別個に用意されていること）
- (2) スコアボード（原則として電光掲示板であること）

- (3) メンバー掲示板
- (4) 放送設備
- (5) 記者席（フィールド全体を見渡すことができ、かつ、手元照明付きの机を備えていること）
- (6) リーグ旗およびクラブ旗の掲揚ポール（それぞれの旗の掲揚位置はリーグ旗を中央、ホームチームのクラブ旗をピッチから向かって左、ビジターチームのものを右とする。リーグ旗、クラブ旗の大きさは天地 180 cm、左右 270 cmとする）
- (7) 飲食物およびサッカー関連グッズ等の販売所

第 4 条〔照明装置〕

Jクラブは、競技場の照明装置の故障を未然に防止し、かつ、故障箇所をすみやかに修理するための措置を講じるよう努めなければならない。

第 5 条〔ベンチ〕

- ① ベンチは、原則として次の各号の要件を満たすものでなければならない。
 - (1) ピッチのタッチラインから 5メートル以上離れた位置に設置すること
 - (2) 屋根を備えていること（ただし、観客等の視野を妨げるものであってはならない）
- ② ホームチームのベンチは、原則としてピッチから向かって右側に設置するものとする。

第 6 条〔医療施設〕

競技場には、医務室を設置し、かつ、試合の開催時には観客等のための医師を待機させなければならない。

第 7 条〔ビジタークラブのための観客席の確保〕

ホームゲームを実施するJクラブ（以下「ホームクラブ」という）は、対戦チームの所属するJクラブ（以下「ビジタークラブ」という）の応援者のために、ビジタークラブと合意した数の観客席を確保しなければならない。

第 8 条〔広告看板の設置〕

- ① 競技場には、Jリーグが指定した位置にJリーグ・スポンサーが次の各号の条件を満たす広告看板または横断幕を掲出できるスペースを別表 1 のとおり確保しなければならない。
 - (1) サイズ：イ 大会タイトル 天地 900 mm×左右 13,500 mm
 - ロ 大会冠スポンサーおよびオフィシャルスポンサー 900 mm×6,750 mm
 - ハ チームスポンサー 900 mm×4,500 mm
 - (2) 枚 数：イ 大会タイトル 1枚
 - ロ 大会冠スポンサー 7枚（該当シリーズスポンサー 4枚、該当外シリーズスポンサー 3枚）

- ハ 大会オフィシャルスポンサー 8 枚
- (3) 色 : イ 大会冠スポンサーおよびオフィシャルスポンサー 4 色
ロ チームスポンサー 2 色 (地色含む)
- ② 広告看板設置位置は、ピッチのタッチラインから 5 メートル以上離れていなければならない。ゴールラインに対してはカメラマン用のラインに沿うものとする。
- ③ チームスポンサー 等の広告看板または横断幕を掲出する場合は、事前に「広告掲出申請書」(別紙 1) により Jリーグに届け出なければならない。

第 9 条〔競技場における告知等〕

- ① ホームクラブは、競技場において、次の各号の事項を告知しなければならない。
 - (1) 選手および審判員
 - (2) 選手および審判員の交替
 - (3) 得点者 (得点時)
 - (4) 他の試合の結果
 - (5) 次の試合の予定
 - (6) 前各号のほか、Jリーグの指定する事項
- ② ホームクラブは、試合の前後およびハーフタイムに、次の各号の事項を行うことができる。
 - (1) 事前に Jリーグに届け出て承認を得た広告宣伝
 - (2) 他の試合の途中経過の告知
 - (3) 音楽放送
 - (4) その他、Jリーグの承認を得たもの

第 10 条〔競技場の検査〕

- ① 競技場 (付帯設備を含む) は、運営委員会の検査を受け、これに合格したものでなければならない。
- ② 前項の検査に関する事項は、理事長が実行委員会の承認を得て制定する「競技場検査要項」の定めるところによる。

第 11 条〔競技場の視察〕

- ① 運営委員会は、大会開催の 3 か月前までに競技場を視察することができ、その結果、試合実施が困難であると判断したときは、その旨を遅滞なく理事長に報告しなければならない。
- ② 理事長は、前項の報告を受けたときは、その競技場での試合の実施を中止する決定を下すことができる。
- ③ 前項の中止の決定およびその通知は、大会開催の 2 か月前までにホームクラブに対して行わなければならない。

第 12 条〔悪天候の場合のピッチ整備の義務〕

ホームクラブは、降雪または降雨等、悪天候の場合であっても、可能な限りピッチ

を整備し、その競技場での試合を実施することができるよう最善の努力をしなければならない。

第 2 節 試 合

第 13 条〔大会形式〕

すべてのチームが第 1 ステージおよび第 2 ステージにおいてそれぞれ 2 回戦総当たりリーグ戦をホーム & アウェイ方式にて行う。

第 14 条〔試合の主催等〕

- ① 試合は、すべて財団法人日本サッカー協会（以下「協会」という）および Jリーグが主催（自己の名義において試合を開催すること、以下同じ）し、Jリーグが主管（自己の責任と費用負担において試合を実施および運営すること、以下同じ）する。
- ② Jリーグは、公式試合のホームゲームの主管をホームクラブに委譲する。

第 15 条〔競技規則〕

試合は、すべて国際サッカー連盟（FIFA）および協会の競技規則に従って実施される。

第 16 条〔大会エントリー〕

すべてのチームは、1993 年 2 月 1 日までに次の各号の事項を「大会エントリー用紙」（別紙 2—①～④）により Jリーグに届け出なければならず、また追加、抹消等の変更があった場合は「エントリー変更届出用紙」（別紙 3—①～④）によりすみやかにこれを行わなければならない。

- (1) 役員、チームスタッフおよび選手
- (2) 第 1 ユニフォームおよび第 2 ユニフォーム

第 17 条〔エントリーと選手証〕

- ① 協会登録および本大会にエントリーを承認された選手のみが、試合における競技資格をもつ。
- ② エントリーの追加および抹消の申請に関する受付時間は、休日を除く月曜日と木曜日の午前中（午前 9 時から正午まで）とし、手続きに問題ない場合、同日付で当該申請に基づくエントリーは承認される。
- ③ 前項の受付時間以外に提出された申請については、当該提出がなされた直後の受付時間において処理される。
- ④ 選手は、第 56 条および第 57 条の出場停止処分期間中に本大会とサテライト Jリーグ間のエントリーの変更を行うことはできない。
- ⑤ 選手は、試合出場に際し、協会の発行する選手証（以下「選手証」という）を携帯

しなければならない。

第18条〔エントリー選手の人数〕

本大会のエントリー選手の人数は、1チーム16名以上とする。

第19条〔サテライトJリーグへの同時エントリーの禁止〕

本大会にエントリーした選手は、同時にサテライトJリーグにエントリーすることはできない。

第20条〔ゴールキーパー〕

前条の規定にかかわらず、ゴールキーパーに関しては、サテライトJリーグへの同時エントリーが認められる。

第21条〔追加エントリー〕

- ① 選手の追加エントリーの期限は、第1ステージについては1993年6月10日まで、第2ステージについては1993年11月4日までとし、それぞれのステージにおいて当該期限以降は認められない。
- ② 前項の規定にかかわらず、同一クラブの所属チームからの追加エントリーは、対象となる選手が追加エントリーの期限以前から当該同一クラブに所属していた場合にかぎり、随時認められる。

第22条〔外国籍選手〕

チームは、本大会に3名までの外国籍選手をエントリーすることができる。

第23条〔出場可能日〕

追加エントリーされた選手の試合に出場できる日は、エントリーが承認された日の翌日とする。

第24条〔ユニフォーム〕

- ① 本大会においては、Jリーグが承認したユニフォームを使用しなければならない。
- ② 前項のユニフォームには、メンバー提出用紙に記載された選手番号が明確に表示されていなければならない。
- ③ チームのキャプテンは、キャプテンであることを明確に表示するアームバンドを着用しなければならない。
- ④ チームは、Jリーグ所定のJリーグマークを上着の右袖上腕部に着けなければならない。
- ⑤ スポンサーの名称、商品名等の表示は、「Jリーグユニフォーム規程」(別紙4)に従って行うものとし、事前に「広告掲出申請書」によりJリーグに届け出なければならない。

第 25 条〔ユニフォームの選手番号〕

本大会において着用するユニフォームの選手番号は、次の各号のとおりとする。

- (1) 選手番号は、服地と明確に判別できる色のものとし、Jリーグ所定のサイズでなければならない。
- (2) スターティング・メンバーの選手番号は、1 から 11 までとし、ゴールキーパーは 1 番で以下ディフェンダー、ミッドフィールダー、フォワードのポジション順に若い番号からつける。
- (3) 5 名の交替要員は、12 から 16 までの番号をつけ、控えのゴールキーパーは 16 番をつける。

第 26 条〔フィールド内のチーム要員〕

- ① フィールド上に用意されたチーム用ベンチには、「メンバー提出用紙」(別紙 5)によってあらかじめエントリーされた役員およびチームスタッフ 6 名ならびに交替選手 5 名の合計 11 名が着席できる。ただし、ベンチでの喫煙は、禁止する。
- ② クラブは、協会、Jリーグの決定により、ベンチ入りの資格を停止された者、出場停止処分を受けた者をベンチ入りさせてはならない。
- ③ 主審が試合を中断し、その旨の合図を出してはじめて、チーム要員 2 名がピッチ内に立ち入ることができる。これらの人員は試合がすみやかに続行できるように尽力しなければならない。
- ④ 前各項に違反する行為は、主審により排除されるものとし、試合終了後に主審から報告を受けた規律委員会により処分を決定される。

第 27 条〔試合の勝敗の決定〕

試合は、次の各号に従い勝敗を決定する。

- (1) 90 分以内に勝敗が決しない場合には、5 分間の休憩ののち、30 分間(前後半各 15 分)を限度として延長戦を行う。
- (2) 前号の延長戦においては、前後半にかかわらず、先に得点をしたチームを勝者とし、当該得点の時点でただちに試合終了とする。
- (3) 第 1 号の延長戦で勝敗が決しない場合は、PK 方式(各チーム 5 人ずつ、決着がつかない場合は 6 人目以降サドンデス)にて勝者を決定する。

第 28 条〔各ステージの順位決定〕

- ① 全試合が終了した時点で、勝利数の多いチームを上位とし、順位を決定する。ただし、勝利数が同一の場合は、次の各号の順序により順位を決定する。
 - (1) 全試合の得失点差
 - (2) 全試合の総得点数
 - (3) 当該チーム間の対戦成績(イ. 勝利数 ロ. 得失点差 ハ. 総得点数)
 - (4) 当該チームの全勝利の内容(イ. 90 分勝利数 ロ. 延長を含んでの勝利数)
 - (5) 順位決定戦
- ② 順位決定戦は、実行委員会が必要と判断した場合のみ実施され、それ以外は代表者

による抽選によって順位が決定される。

第 29 条〔1993 年度総合順位の決定〕

- ① 大会が終了した時点で総合順位を次の各号のとおり決定する。
 - (1) 優勝：Ｊリーグチャンピオンシップの勝者
 - (2) 2 位：Ｊリーグチャンピオンシップの敗者
 - (3) 3 位以下：チャンピオンシップ出場決定戦が行われた場合、その敗者を 3 位とし、それ以外の場合、全試合（第 1，2 ステージ）の勝利数の多いチームを上位とし、順位を決定する。ただし、勝利数が同一の場合は、以下の順序により決定する。
 - イ 全試合（第 1，2 ステージ）の得失点差
 - ロ 全試合（第 1，2 ステージ）の総得点数
 - ハ 当該チーム間対戦成績（a. 勝利数 b. 得失点差 c. 総得点数）
 - ニ 当該チームの全勝利の内容（a. 90 分勝利数 b. 延長を含んでの勝利数）
 - ホ 順位決定戦
- ② 順位決定戦は実行委員会が開幕試合の開催権の決定等に必要と判断した場合においてのみ実施され、それ以外は、当該チームの代表者による抽選によって順位が決定される。

第 30 条〔審判員〕

- ① 主審および線審についてはＪリーグより協会審判委員会に協会登録の 1 級審判員の派遣を依頼する。
- ② 審判員は、キックオフ時刻の 90 分前までに競技場に到着しなければならない。
- ③ スペア審判員については、2 級以上の審判員とし、ホームクラブの責任により準備する。
- ④ スペア審判員は、次の各号の職務を行う。
 - (1) 主審により要請された試合前，中，後の管理上の業務
 - (2) 選手交替の手続きの援助および交替選手の用具の検査
 - (3) 予備ボールの管理および試合中のボール交換
- ⑤ 主審または線審のいずれかにその職務の続行が不可能となる事態が生じた場合、スペア審判員は、マッチコミッサーの承認のもとに第 2 線審を務める。
- ⑥ 審判員の手当ては以下のとおりとする。

手当て：主審 30,000 円 線審 15,000 円 スペア審判員 7,000 円
旅費・宿泊費用：Ｊリーグの旅費規程による

第 31 条〔通行証〕

Ｊリーグは、次の各号の通行証を発行する。

- (1) 役員通行証（OFFICIAL・紫）
- (2) 選手・チームスタッフ通行証（TEAM・赤）
- (3) 業者通行証（SUPPLIER・青）

- (4) 報道関係者通行証 (PRESS・緑)
- (5) カメラマンゼッケン (黄)

第 32 条〔入場料〕

- ① 入場料金はホームクラブが設定する。ただし、入場料金の下限は次の各号のとおりとし、料金の体系を Jリーグの指定日までに「入場券報告書」(別紙 6)により報告する。
 - (1) 前売り券：大人 1200 円 小中学生 500 円
 - (2) 当日券：大人 1500 円 小中学生 500 円
- ② 入場券の販売は、売り切れにならない限りその試合の後半 15 分経過時まで行う。

第 33 条〔試合球の用意〕

ホームクラブは、キックオフ時刻の 120 分前までに Jリーグ指定の試合球「アディダス・エトルスコ・ユニコ (モルテン製) 5 号球」を 3 個用意する。

第 34 条〔Jクラブの責任〕

- ① ホームクラブは、選手、審判員、役員および観客等の安全を確保する責任を負う。
- ② ホームクラブおよびビジタークラブは、それぞれのサポーター (応援者) が試合の前後および試合中において秩序ある適切な態度を保持するよう努める義務を負う。

第 35 条〔オフィシャルガイドブックおよびプログラム〕

Jリーグは、本大会にチーム紹介および試合記録等を内容としたオフィシャルガイドブックおよびプログラムを製作・販売する。

第 3 節 運 営

第 36 条〔日 程〕

本大会は、Jリーグにより決定された当該年度の日程に従い開催される。

第 37 条〔試合の日時または場所の変更〕

- ① 試合の開催日、キックオフ時刻または開催地の変更は、次の手続きに従い決定する。
 - (1) ホームクラブが Jリーグに対し、変更しようとする開催日の 30 日前までに「試合開催地変更申請書」(別紙 7)により申請する。
 - (2) 実行委員会は、申請を受けた変更理由を審議のうえ、変更される開催日の 20 日前までに変更の可否をホームクラブおよびビジタークラブの双方に通知する。
- ② 前項の手続きが行われない場合、ビジタークラブは当該変更を拒否することができる。
- ③ やむを得ない特別の事情がある場合において、ホームクラブの申請に基づき理事長

が承認したときは、前2項の規定にかかわらず、開催日時または場所を変更することができる。

第38条〔特別の事情による変更〕

Jクラブは、協会またはJリーグにおいて特別の事情がある場合には、日程等の変更に応じなければならない。

第39条〔運営責任〕

試合の運営にあたっては、ホームクラブの実行委員が一切の責任を負う。

第40条〔抱き合わせ開催の禁止〕

試合は、Jリーグまたは協会以外の第三者が主催するサッカーその他の試合（前座試合等）またはイベント等と抱き合わせで開催してはならない。

第41条〔マッチコミッサリー〕

- ① マッチコミッサリーは、実行委員会が推薦し、理事会が承認した後、理事長が任命し、各試合に派遣される。
- ② マッチコミッサリーは、次の事項を遵守しなければならない。
 - (1) キックオフ時刻の120分前までに競技場に到着すること
 - (2) 試合終了後24時間以内にJリーグ宛に「マッチコミッサリー報告書」（別紙8）を発信すること
 - (3) 試合の中断または競技中の悪質な違反による退場等の重大な事項が発生した場合に、所定の手続きにより「緊急報告書」（別紙9）をすみやかに理事長に提出すること
 - (4) 裁定委員会または規律委員会より出席を求められた場合に、これに出席し報告すること
 - (5) 前各号のほか、別途理事長の定める事項を行うこと

第42条〔試合の中止の決定〕

試合の中止は、主審が、マッチコミッサリーおよびホームクラブの実行委員と協議のうえ決定する。ただし、主審が到着する前にやむを得ない事情により試合を中止する場合は、マッチコミッサリーおよびホームクラブの実行委員が協議のうえ決定する。

第43条〔競技場への到着〕

双方のチームはバスを使用し、原則としてキックオフ時刻の60分前までに競技場に到着しなければならない。

第44条〔試合への遅刻〕

- ① いずれか一方のチームがキックオフ時刻に競技場に現れない場合、相手チームは45分間、待機する義務を負う。

- ② 前項の待機時間経過後、競技場に現れなかったチームは、0対3で敗戦したものとみなされる。
- ③ 裁定委員会は遅刻したクラブに対して、Jリーグに納付する罰金および相手チームに発生した費用の補償を命じることができる。

第45条〔敗戦とみなされる場合〕

試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止となった場合には、その過失あるチームは、0対3で敗戦したものとみなされる。

第46条〔前条の場合の記録〕

前条に基づき中止となった試合の得点の得点者は、記録されない。

第47条〔主管権の譲渡〕

ホームクラブは、Jリーグの事前の承認を得て、その主管するホームゲームの主管権を、協会に所属する都道府県サッカー協会に対し譲渡することができる。ただし、この場合においても、ホームクラブは、Jリーグ規約上の義務を免れるものではない。

第48条〔再試合〕

- ① 公式試合が悪天候、地震等の天災地変または公共交通機関の不通その他いずれのチームの責にも帰すべからざる事由（以下「不可抗力」という）により開催不能または中止となった場合に限り、再試合を行うものとする。
- ② 前項に基づく再試合は、原則として同一競技場において行われる。

第49条〔メンバー提出〕

双方のチームは、キックオフ時刻の150分前までに「メンバー提出用紙」に必要事項を記入し、ホームクラブの実行委員に提出しなければならない。

第50条〔主審の確認事項〕

- ① 主審は、選手証と大会エントリー表の照合により選手の試合出場資格を確認しなければならない。
- ② 主審は、メンバー提出用紙の記載事項を確認し、もしこれに不備があれば、そのチームに差し戻す義務を負う。

第51条〔選手の交替〕

選手の交替は、次の各号のとおりとする。

- (1) 試合中の選手交替は2名に限る。
- (2) 交替は、出場選手の選手番号を交替ボードで提示したうえ、行わなければならない。

第52条〔係員〕

- ① ホームクラブは、試合実施を円滑に進行するため、次の各号の補助係員をおき、必要な業務を行わせる。
 - (1) 場内整備員
 - (2) 場内放送要員
 - (3) ボールボーイ
 - (4) 担架要員（4名、担架を2台用意しておくこと）
- ② 記録員は、所定の公式記録用紙（別紙10）により、試合記録を作成し、試合終了後、内容確認のためマッチコミッサリーおよび主審の署名を受けたのち、ホームクラブの実行委員に提出する。
- ③ ホームクラブは、マッチコミッサリーが円滑に業務を行うため、補助係員をおかなければならない。

第53条〔マスコミ対応〕

- ① 報道関係者の取材（インタビューを含む）は、原則としてキックオフ時刻の60分前より、試合終了時までには行わない。ただし、それぞれのクラブの広報委員を通じての取材は行う。
- ② カメラ（スチールおよびテレビ）による撮影は、ホームクラブより指示された場所以外では許可しない。
- ③ キックオフ時刻の80分前までに「試合メンバー表」（別紙11）の配布を行う。
- ④ 試合終了後、監督および選手の記者会見が行える場所を設ける。

第54条〔試合結果報告〕

ホームクラブの実行委員は、公式記録をすみやかに報道関係者等に配布し、かつ、本紙をJリーグに提出しなければならない。（観客数は入場者実数を記入）

第55条〔試合運営報告〕

ホームクラブの実行委員は、試合終了後すみやかに「試合運営報告書」（別紙12）に必要事項を記載し、Jリーグに提出しなければならない。

第56条〔退場処分〕

- ① 退場処分になった選手は、規律委員会の決定があるまで出場を停止される。
- ② 退場（同一試合における2回の警告による退場を除く）を命ぜられた選手は、自動的に至近の公式試合または天皇杯全日本サッカー選手権大会試合の出場停止処分を受ける。

第57条〔警告による出場停止処分〕

- ① 本大会で累積された警告が3回となった選手は、自動的に至近の公式試合1試合の出場停止処分を受ける。
- ② 同一試合で2回の警告による退場を命ぜられた選手は、自動的に至近の公式試合1試合の出場停止処分を受ける。

- ③ 前2項における警告は、試合出場停止により処分されたものとし、累積されない。
- ④ 累積された警告ならびに同一試合における2回の警告による退場での出場停止処分は、本大会終了時をもって効力を失う。
- ⑤ 出場停止処分の対象となる公式試合は、サテライトJリーグの試合を除く。
- ⑥ 前5項の規定は、選手が移籍する等の事由によりクラブを移動しても適用される。

第58条〔表彰〕

Jリーグは各ステージごとの表彰を、別途定められた「表彰規程」(別紙13)に従い行う。

第4節 試合の収支

第59条〔試合の費用負担等〕

ホームクラブは、ホームゲームからの収入を受領し、その試合の開催に要する次の費用を負担する。

- (1) 人件費
- (2) 競技場使用料(照明使用料を含む)
- (3) 入場券・招待券の印刷費
- (4) 広告宣伝費

第60条〔不可抗力による試合中止等の場合の費用の負担〕

すでに何らかの経費の発生している試合が、不可抗力その他双方のクラブに過失なくして開催不能または中止となった場合には、前条第1号から第3号までの費用はJリーグが負担する。

第61条〔テレビ放送権料〕

- ① すべての試合のテレビ放送権はJリーグに帰属し、交渉窓口については、全国放送試合をJリーグとし、ローカル放送試合を各ホームクラブとする。
- ② 各ステージの試合のテレビ放送権料は、次の各号のとおりとする。
 - (1) 全国放送 : 1000万円
 - (2) 東京・単 : 500万円 以上
 - (3) ローカル放送 : 300万円 以上
 - (4) 独立UHF局 : 80万円 以上
- ③ 衛星放送、ケーブルテレビ等の放送権料については、その都度Jリーグ、ホームクラブおよび放送局により協議し、決定する。
- ④ 前2項の放送権料は、別途定める基準により全クラブにそれぞれ配分するものとする。ただし、第2項の下限額を超える金額については、ホームクラブにすべて帰属する。

第 62 条〔納付金〕

① ホームクラブは、主管した試合の入場料収入のうち、次の各号に定める金額を協会に納付しなければならない。ただし、都道府県サッカー協会に主管権譲渡を行った試合に関する納付金については別に定めるところによる。

- (1) 3%相当額
- (2) 有料入場券 1 枚につきワールドカップ招致協力金 100 円

第 63 条〔納付期限〕

すべてのクラブは、大会終了後、21 日以内に所定の納付金を納めなければならない。

第 64 条〔収支報告〕

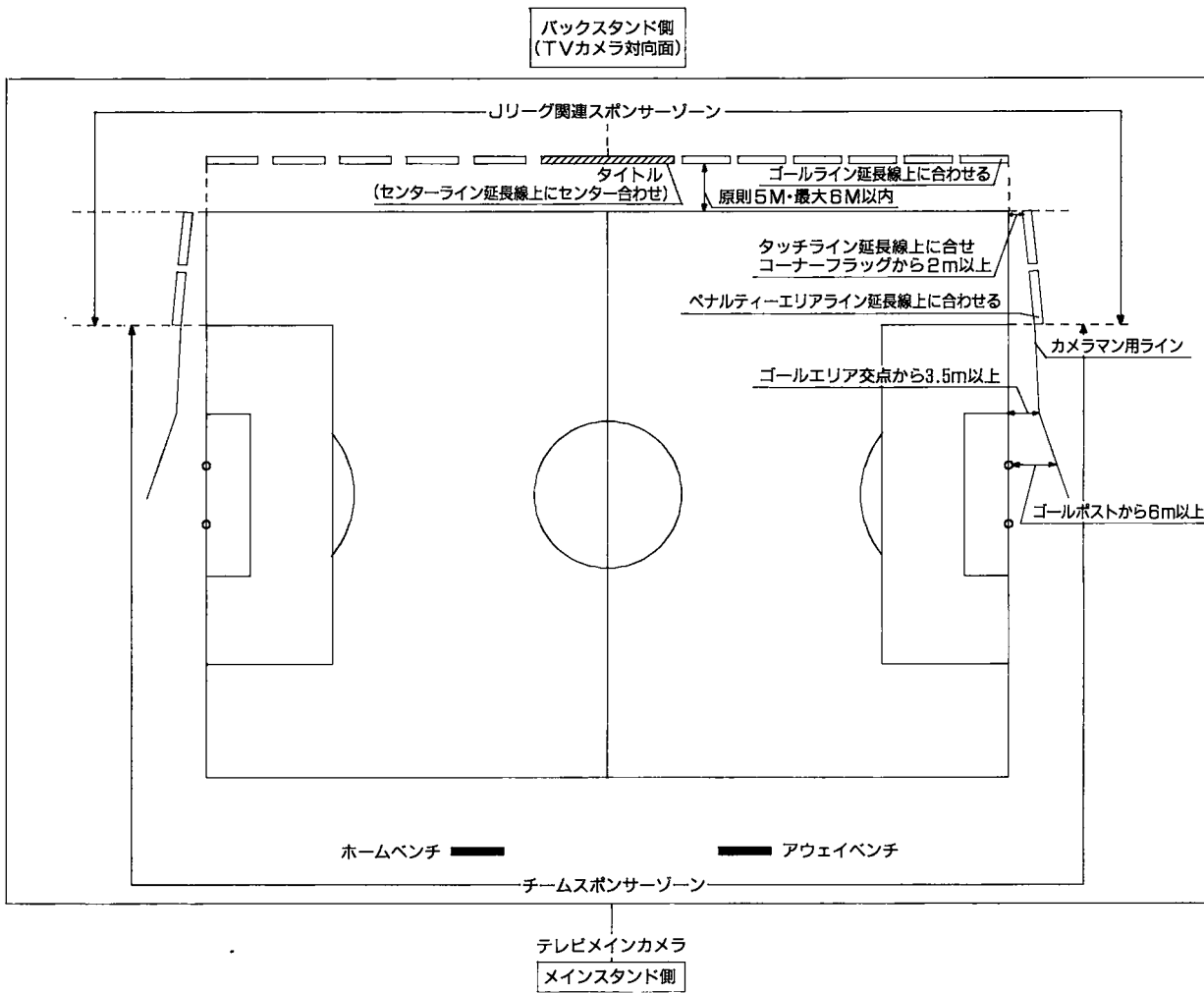
すべてのクラブは、大会終了後収支報告として、主管した試合の「試合収支決算書」(別紙 14) の写しを 21 日以内に Jリーグに提出しなければならない。

第 65 条〔遠征費用〕

チームの遠征にかかる旅費は、「旅費規程」(別紙 15) の第 2 条による。

(別表1)

Jリーグ関連スポンサー広告看板設置位置



サテライトJリーグ試合実施要項

本実施要項は、1993年度サテライトJリーグの試合（以下「本大会」という）の実施に関し定めるものであり、本大会運営はすべてこの要項に定めるところによる。

第1節 競技場

第1条〔競技場の確保と維持〕

Jクラブは、次条以下に定める要件を具備する競技場を確保し、良好な状態でホームゲームを実施し得るよう、これを維持管理する責任を負う。

第2条〔競技場〕

- ① 競技場は、次の各号の条件を満たすものでなければならない。
 - (1) ピッチは、天然芝であり、原則として縦長105m、横幅68mであること
 - (2) ピッチの外側周囲には、原則としてすべて1.5mの芝生部分を確保すること
 - (3) ゴールのポストおよびバーは白色かつ原則として丸型（直径12cm）であること
 - (4) ゴールネットは白色で、鉄製その他ボールを反発するような補強材を使用しないで取りつけるものであること
 - (5) コーナーフラッグおよびコーナーフラッグポールは、Jリーグ指定のものであること
- ② フィールド（ピッチおよびその周辺部分）には、選手のプレーに影響を与え、または危険を及ぼすおそれのある物は一切放置もしくは設置してはならない。

第3条〔競技場付帯設備〕

競技場は、原則として次の各号の付帯設備を備えるものでなければならない。

- (1) 更衣室（温水シャワーが使用でき、かつ、ホームチーム、ビジターチームおよび審判員について各々別個に用意されていること）
- (2) スコアボード（原則として電光掲示板であること）
- (3) メンバー掲示板
- (4) 放送設備
- (5) 記者席（フィールド全体を見渡すことができ、かつ、手元照明付きの机を備えていること）
- (6) リーグ旗およびクラブ旗の掲揚ポール（それぞれの旗の掲揚位置はリーグ旗を中央、ホームチームのクラブ旗をピッチから向かって左、ビジターチームのものを右とする。リーグ旗、クラブ旗の大きさは天地180cm、左右270cmとする。）

(7) 飲食物およびサッカー関連グッズ等の販売所

第4条〔照明装置〕

Jクラブは、競技場の照明装置の故障を未然に防止し、かつ、故障箇所をすみやかに修理するための措置を講じるよう努めなければならない。

第5条〔ベンチ〕

- ① ベンチは、原則として次の各号の要件を満たすものでなければならない。
 - (1) ピッチのタッチラインから5メートル以上離れた位置に設置すること
 - (2) 屋根を備えていること（ただし、観客等の視野を妨げるものであってはならない）
- ② ホームチームのベンチは、原則としてピッチから向かって右側に設置するものとする。

第6条〔医療施設〕

試合の開催時には観客等のための医療設備を整えておくものとする。

第7条〔広告看板の設置〕

- ① 競技場には、Jリーグが指定するサイズ（天地900mm×左右4,500mm～6,750mm）の広告看板を掲出できる。
- ② 広告看板設置位置は、ピッチのタッチラインから5メートル以上離れていなければならないが、ゴールラインに対してはカメラマン用のラインに沿うものとする。
- ③ チームスポンサー等の広告看板または横断幕を掲出する場合は、事前に「広告掲出申請書」（別紙1）によりJリーグに届け出なければならない。

第8条〔競技場における告知等〕

- ① ホームゲームを実施するJクラブ（以下「ホームクラブ」という）は、競技場において、次の各号の事項を告知しなければならない。
 - (1) 選手および審判員
 - (2) 選手および審判員の交替
 - (3) 得点者（得点時）
 - (4) 他の試合の結果
 - (5) 次の試合の予定
 - (6) 前各号のほか、Jリーグの指定する事項
- ② ホームクラブは、試合の前後およびハーフタイムに、次の各号の事項を行うことができる。
 - (1) 事前にJリーグに届け出て承認を得た広告宣伝
 - (2) 他の試合の途中経過の告知
 - (3) 音楽放送
 - (4) その他、Jリーグの承認を得たもの

第9条〔競技場の届け出〕

競技場は、Ｊリーグに予め届け出て承認を受けたものでなければならない。

第10条〔悪天候の場合のピッチ整備の義務〕

ホームクラブは、降雪または降雨等、悪天候の場合であっても、可能な限りピッチを整備し、その競技場での試合を実施することができるよう最善の努力をしなければならない。

第2節 試 合

第11条〔大会形式〕

すべてのチームが、2回戦総当たりリーグ戦をホーム＆アウェイ方式にて行う。

第12条〔試合の主催等〕

- ① 公式試合は、すべて財団法人日本サッカー協会（以下「協会」という）およびＪリーグが主催（自己の名義において試合を開催すること。以下同じ）し、Ｊリーグが主管（自己の責任と費用負担において試合を実施および運営すること。以下同じ）する。
- ② Ｊリーグは、公式試合のホームゲームの主管をホームクラブに委譲する。

第13条〔競技規則〕

試合は、すべて国際サッカー連盟（FIFA）および協会の競技規則に従って実施される。

第14条〔大会エントリー〕

すべてのチームは、1993年2月1日までに次の各号の事項を「大会エントリー用紙」（別紙2-①～④）によりＪリーグに届け出なければならない。また追加、抹消等の変更があった場合は「エントリー変更届出用紙」（別紙3-①～④）によりすみやかにこれを行わなければならない。

- (1) 役員、チームスタッフおよび選手
- (2) 第1ユニフォームおよび第2ユニフォーム

第15条〔エントリーと選手証〕

- ① 協会登録および本大会にエントリーを承認された選手のみが、試合における競技資格をもつ。
- ② Ｊリーグにおけるエントリーの追加および抹消の申請にかかわる受付時間は、休日を除く月曜日と木曜日の午前中（午前9時から正午まで）とし、手続きに問題ない場合、同日付で当該申請に基づくエントリーは承認される。

- ③ 前項の受付時間以外に提出された申請については、当該提出がなされた直後の受付時間において処理されるものとする。
- ④ 選手は、試合出場に際し、協会の発行する選手証（以下「選手証」という）を携帯しなければならない。

第 16 条〔エントリー選手の人数〕

本大会のエントリー選手の人数は、1 チーム 16 名以上とする。

第 17 条〔他大会への同時エントリーの禁止〕

本大会にエントリーした選手は、同時にトップのリーグ戦およびリーグカップ戦にエントリーすることはできない。

第 18 条〔ゴールキーパー〕

前条の規定にかかわらず、ゴールキーパーに関しては、トップのリーグ戦およびリーグカップ戦への同時エントリーが認められる。

第 19 条〔追加エントリー〕

選手の追加エントリーは、随時認められる。

第 20 条〔エントリー変更の制限〕

- ① 本大会にエントリーした選手が、トップのリーグ戦およびリーグカップ戦にエントリー変更する場合は、それぞれの大会の試合実施要項に基づく追加エントリーに関する制限に従う。
- ② トップのリーグ戦およびリーグカップ戦において出場停止処分期間中の選手は、本大会に追加エントリーすることはできない。

第 21 条〔外国籍選手〕

チームは、本大会に 2 名までの外国籍選手をエントリーすることができる。

第 22 条〔出場可能日〕

追加エントリーされた選手の試合に出場できる日は、エントリーされた日の翌日とする。

第 23 条〔ユニフォーム〕

- ① 本大会においては、Jリーグが承認したユニフォームを使用しなければならない。
- ② 前項のユニフォームには、メンバー提出用紙に記載された選手番号が明確に表示されていなければならない。
- ③ チームのキャプテンは、キャプテンであることを明確に表示するアームバンドを着用しなければならない。
- ④ チームは、Jリーグ所定のJリーグマークを上着の右袖上腕部につけなければならない。

ない。

- ⑤ スポンサーの名称、商品名等の表示は、「Jリーグユニフォーム規程」(別紙4)に従って行うものとし、事前に「広告掲出申請書」によりJリーグに届け出なければならない。

第24条〔ユニフォームの選手番号〕

本大会において着用するユニフォームの選手番号は、次の各号のとおりとする。

- (1) 選手番号は、服地と明確に判別できる色のものとし、Jリーグ所定のサイズでなければならない。
- (2) スターティング・メンバーの選手番号は、1から11までとし、ゴールキーパーは1番で以下ディフェンダー、ミッドフィールダー、フォワードのポジション順に若い番号からつける。
- (3) 5名の交替要員は12から16までの番号をつけ、控えのゴールキーパーは16番をつける。

第25条〔フィールド内のチーム要員〕

- ① フィールド上に用意されたチーム用ベンチには、「メンバー提出用紙」(別紙5)によってあらかじめエントリーされた役員およびチームスタッフ6名ならびに交替選手5名の合計11名が着席できる。ただし、ベンチでの喫煙は禁止する。
- ② クラブは、協会、Jリーグの決定により、ベンチ入りの資格を停止された者、出場停止処分を受けた者をベンチ入りさせてはならない。
- ③ 主審が試合を中断し、その旨の合図を出してはじめて、チーム要員2名がピッチ内に立ち入ることができる。これらの人員は試合がすみやかに続行できるように尽力しなければならない。
- ④ 前各項に違反する行為は、主審により排除されるものとし、試合終了後に主審から報告を受けた規律委員会により処分を決定される。

第26条〔試合の勝敗の決定〕

試合は、次の各号に従い勝敗を決定する。

- (1) 90分以内に勝敗が決しない場合には、5分間の休憩ののち、30分間(前後半各15分)を限度として延長戦を行う。
- (2) 前号の延長戦においては、前後半にかかわらず、先に得点したチームを勝者とし、当該得点の時点でただちに試合終了とする。
- (3) 第1号の延長戦で勝敗が決しない場合は、PK方式(各チーム5人ずつ、決着がつかない場合は6人目以降サドンデス)にて勝者を決定する。

第27条〔順位の決定〕

- ① 全試合が終了した時点で、勝利数の多いチームを上位とし、順位を決定する。ただし、勝利数が同一の場合は、次の各号の順序により順位を決定する。
 - (1) 全試合の得失点差

- (2) 全試合の総得点数
 - (3) 当該チーム間の対戦成績（イ. 勝利数 ロ. 得失点差 ハ. 総得点数）
 - (4) 当該チームの全勝利の内容（イ. 90分勝利数 ロ. 延長を含んでの勝利数）
 - (5) 順位決定戦
- ② 順位決定戦は、実行委員会が必要と判断した場合のみ実施され、それ以外は代表者による抽選によって順位が決定される。

第28条〔審判員〕

- ① 主審については協会登録の1級審判員とし、線審については2級以上の審判員とする。
- ② 前項の審判員については、Jリーグより協会審判委員会に派遣を依頼する。
- ③ 審判員は、キックオフ時刻の90分前までに競技場に到着しなければならない。
- ④ スペア審判員については、2級以上の審判員とし、ホームクラブの責任により準備する。
- ⑤ スペア審判員は、次の各号の職務を行う。
 - (1) 主審より要請された試合前、中、後の管理上の業務
 - (2) 選手交替の手続きの援助および交替選手の用具の検査
 - (3) 予備ボールの管理および試合中のボール交換
- ⑥ 主審または線審のいずれかにその職務の続行が不可能となる事態が生じた場合、スペア審判員は、マッチコミッサーの承認のもとに第2線審を務める。
- ⑦ 審判員の手当ては以下のとおりとする。

手当て：主審 10,000円 線審 8,000円 スペア審判員 5,000円
旅費・宿泊費：Jリーグの旅費規程による

第29条〔通行証〕

Jリーグは、次の各号の通行証を発行する。

- (1) 役員通行証（OFFICIAL・紫）
- (2) 選手通行証（TEAM・赤）
- (3) 業者通行証（SUPPLIER・青）
- (4) 報道関係者通行証（PRESS・緑）
- (5) カメラマンゼッケン（黄）

第30条〔入場料〕

- ① 入場料金はホームクラブが設定する。ただし、入場料金の下限は300円とし、料金の体系をJリーグの指定日までに「入場券報告書」（別紙6）により報告する。
- ② 入場券の販売は、売り切れにならない限りその試合の後半15分経過時まで行う。

第31条〔試合球の用意〕

ホームクラブは、キックオフ時刻の90分前までにJリーグ指定の試合球「アディダス・エトルスコ・ユニコ（モルテン製）5号球」を2個用意する。

第32条〔Jクラブの責任〕

- ① ホームクラブは、選手、審判員、役員および観客等の安全を確保する責任を負う。
- ② ホームクラブおよびビジタークラブは、それぞれのサポーター（応援者）が試合の前後および試合中において秩序ある適切な態度を保持するよう努める義務を負う。

第3節 運 営

第33条〔日 程〕

本大会は、Jリーグにより決定された当該年度の日程（別紙3）に従い開催される。

第34条〔試合の日時または場所の変更〕

- ① 試合の開催日、キックオフ時刻または開催地の変更は、次の手続きに従い決定する。
 - (1) ホームクラブがJリーグに対し、変更しようとする開催日の30日前までに「試合開催地変更申請書」（別紙7）により申請する。
 - (2) 実行委員会は、申請を受けた変更理由を審議のうえ、変更される開催日の20日前までに変更の可否をホームクラブおよびビジタークラブの双方に通知する。
- ② 前項の手続きが行われない場合、ビジタークラブは当該変更を拒否することができる。
- ③ やむを得ない特別の事情がある場合において、ホームクラブの申請に基づき理事長が承認したときは、前2項の規定にかかわらず、開催日時または場所を変更することができる。

第35条〔特別の事情による変更〕

Jクラブは、協会またはJリーグにおいて特別の事情がある場合には、日程等の変更に応じなければならない。

第36条〔運営責任〕

試合の運営にあたっては、ホームクラブの実行委員が一切の責任を負う。

第37条〔マッチコミッサー〕

- ① マッチコミッサーは、試合ごとに開催地の属する都道府県協会にホームクラブが派遣を依頼するものとし、3月末日までにその者をJリーグに届け出る。
- ② マッチコミッサーは、次の事項を遵守しなければならない。
 - (1) キックオフ時刻の120分前までに競技場に到着すること
 - (2) 試合終了24時間以内にJリーグ宛に「マッチコミッサー報告書」（別紙8）を発信すること
 - (3) 試合の中断または競技中の悪質な違反による退場等の重大な事項が発生した場合

に、所定の手続きにより「緊急報告書」(別紙9)をすみやかに理事長に提出すること

(4) 裁定委員会または規律委員会より出席を求められた場合に、これに出席し報告すること

(5) 前各号の他、別途理事長の定める事項を行うこと

③ マッチコミッサリーの日当は、以下のとおりとする。

手当て：5,000円

交通費：2,000円

第38条〔試合の中止の決定〕

試合の中止は、主審が、マッチコミッサリーおよびホームクラブの実行委員と協議のうえ決定する。ただし、主審が到着する前にやむを得ない事情により試合を中止する場合は、マッチコミッサリーおよびホームクラブの実行委員が協議のうえ決定する。

第39条〔競技場への到着〕

原則として双方のチームはバスを使用し、キックオフ時刻60分前までに競技場に到着しなければならない。

第40条〔試合への遅刻〕

- ① いずれか一方のチームがキックオフ時刻に競技場に現れない場合、相手チームは45分間、待機する義務を負う。
- ② 前項の待機時間経過後、競技場に現れなかったチームは、0対2で敗戦したものとみなされる。
- ③ 裁定委員会は遅刻したクラブに対して、Jリーグに納付する罰金および相手チームに発生した費用の補償を命じることができる。

第41条〔敗戦とみなされる場合〕

試合が、一方のチームの過失に基づき開催不能または中止となった場合には、その過失あるチームは0対2で敗戦したものとみなされる。

第42条〔前条の場合の記録〕

前条に基づき中止となった場合の得点の得点者は、記録されない。

第43条〔主管権の譲渡〕

Jクラブが、Jリーグの事前の承認を得て、そのホームゲームを都道府県サッカー協会に主管権を譲渡する場合においても、当該Jクラブは、Jリーグ規約上の義務を免れるものではない。

第44条〔再試合〕

- ① 公式試合が悪天候、地震等の天災地変または公共交通機関の不通その他いずれのチ

ームの責にも帰すべからざる事由（以下「不可抗力」という）により開催不能または中止となった場合に限り、再試合を行うものとする。

- ② 前項に基づく再試合は、原則として同一競技場において行われる。

第45条〔メンバー提出〕

双方のチームは、キックオフ時刻60分前までに「メンバー提出用紙」に必要事項を記入し、ホームクラブの実行委員に提出しなければならない。

第46条〔主審の確認事項〕

- ① 主審は、選手証と大会エントリー表の照合により選手の試合出場資格を確認しなければならない。
- ② 主審は、メンバー提出用紙の記載事項を確認し、もしこれに不備があれば、そのチームに差し戻す義務を負う。

第47条〔選手の交替〕

選手の交替は、次の各号のとおりとする。

- (1) 試合中の選手交替は2名に限る。
- (2) 交替は、退出選手の選手番号を交替ボードで提示したうえ、行わなければならない。

第48条〔係員〕

- ① ホームクラブは、試合実施を円滑に進行するため、次の各号の補助係員をおき、必要な業務を行わせる。
 - (1) 場内整備員
 - (2) 場内放送要員
 - (3) ボールボーイ
 - (4) 担架要員（4名、担架を2台用意しておくこと）
- ② 記録員は、所定の公式記録用紙（別紙10）により、試合記録を作成し、試合終了後、内容確認のためマッチコミッサーおよび主審の署名を受けたのち、ホームクラブの実行委員に提出する。
- ③ ホームクラブは、マッチコミッサーが円滑に業務を行うため、補助係員をおかななければならない。

第49条〔マスコミ対応〕

- ① 報道関係者の取材（インタビューを含む）は、原則としてキックオフ時刻60分前より、試合終了時までは行わない。ただし、それぞれのチームの広報委員を通じての取材を行う。
- ② カメラ（スチールおよびテレビ）による撮影は、ホームチームより指示された場所以外では許可しない。
- ③ キックオフ時刻30分前に「試合メンバー表」（別紙11）の配布を行う。

第50条〔試合結果報告〕

ホームクラブの実行委員は、公式記録をすみやかに報道関係者等に配布し、かつ、本紙をJリーグに提出しなければならない。（観客数は入場者実数を記入）

第51条〔試合運営報告〕

ホームクラブの実行委員は、試合終了後すみやかに「試合運営報告書」（別紙12）に必要事項を記載し、Jリーグに提出しなければならない。

第52条〔退場処分〕

- ① 退場処分になった選手は、規律委員会の決定があるまで出場を停止される。
- ② 退場（2回の警告による退場を除く）を命ぜられた選手は、自動的に至近の公式試合または全日本天皇杯サッカー選手権試合の出場停止処分を受ける。

第53条〔警告による出場停止処分〕

- ① 本大会で累積された警告が3回となった選手は、自動的に本大会の至近の1試合の出場停止処分を受ける。
- ② 同一試合で2回の警告により退場を命ぜられた選手は、自動的に本大会の至近の1試合の出場停止処分を受ける。
- ③ 前2項における警告は、試合出場停止により処分されたものとし、累積されない。
- ④ 累積された警告ならびに同一試合における警告2回の退場による出場停止処分は、本大会終了時をもって効力を失う。
- ⑤ 前4項の規定は、選手が移籍する等の事由によりクラブを移動しても適用される。

第54条〔表彰〕

Jリーグは本大会についての表彰を、別途定められた「表彰規程」（別紙13）に従う。

第4節 試合の収支

第55条〔試合の費用負担等〕

ホームクラブは、ホームゲームからの収入を受領し、その試合の開催に要する次の費用を負担する。

- (1) 人件費
- (2) 競技場使用料（照明使用料を含む）
- (3) 入場券・招待券の印刷費
- (4) 広告宣伝費

第 56 条〔不可抗力による試合中止等の場合の費用の負担〕

すでに何らかの経費の発生している試合が、不可抗力その他双方のクラブに過失なくして開催不能または中止となった場合には、前条第 1 号から第 3 号までの費用は J リーグが負担する。

第 57 条〔テレビ放送権料〕

すべての試合のテレビ放送権は J リーグに帰属し、放送権料については、その都度 J リーグ、ホームクラブおよび放送局により協議する。

第 58 条〔収支報告〕

すべてのクラブは、大会終了後、収支報告として主管した試合の「試合収支決算書」(別紙 14) の写しを 21 日以内に J リーグに提出しなければならない。

第 59 条〔遠征費用〕

チームの遠征にかかる旅費は、「旅費規程」(別紙 15) の第 3 条による。

広告掲出申請書

社 日本プロサッカーリーグ
理事長 川淵 三郎 殿

(大会名) _____にて下記のとおり競技場内（観客席を除く）へチーム
スポンサー等の広告を掲出することを申請いたします。

掲出期間			
掲出媒体	①看板 ②横断幕 ③ユニフォーム ④その他 ()		
広告社名		業 種	
内 容 (※体裁、サイズ、デザイン色彩等)			

19 年 月 日

チーム名：

代表者名：

印

※体裁、デザイン、色彩等に関する資料があれば、添付すること

別紙2-②

大会エントリー用紙

大会エントリー表 (選手用)

(NO.1)

大会名	'93 Jリーグ (第1ステージおよび第2ステージ)		申請日	19	年	月	日
チーム名	〔正式名称〕		〔通称〕				
連絡先	☎ -		〔氏名〕				
所在地	[TEL]	()	[FAX]	()			
代表者	実行委員		運営委員				
選手総数	名 [内訳: 77歳以上の選手= 名 (JFA 統一契約締結選手= 名)、77歳以下選手= 名]						

NO	氏名	彩フォソ	生年月日(年齢)	前登録チーム	身長cm	体重kg	※区分	備考
1			19 年 月 日 ()					
2			19 年 月 日 ()					
3			19 年 月 日 ()					
4			19 年 月 日 ()					
5			19 年 月 日 ()					
6			19 年 月 日 ()					
7			19 年 月 日 ()					
8			19 年 月 日 ()					
9			19 年 月 日 ()					
10			19 年 月 日 ()					
11			19 年 月 日 ()					
12			19 年 月 日 ()					
13			19 年 月 日 ()					
14			19 年 月 日 ()					
15			19 年 月 日 ()					
16			19 年 月 日 ()					
17			19 年 月 日 ()					
18			19 年 月 日 ()					
19			19 年 月 日 ()					
20			19 年 月 日 ()					
21			19 年 月 日 ()					
22			19 年 月 日 ()					
23			19 年 月 日 ()					
24			19 年 月 日 ()					
25			19 年 月 日 ()					

※区分: A=アマチュア選手 NA=アマチュア以外の選手 NAP=JFA統一契約締結選手
 ※添付資料: 顔写真 (パスポートサイズ 5×5cm)

別紙 2 - ②

大会エントリー用紙

大会エントリー表 (選手用)

(NO.2)

大会名	193Jリーグ (第1ステージおよび第2ステージ)	申請日	19 年 月 日
チーム名	(正式名称)		

NO	氏名	ポジション	生年月日(年齢)	前登録チーム	身長cm	体重kg	※区分	備考
26			19年月日()					
27			19年月日()					
28			19年月日()					
29			19年月日()					
30			19年月日()					
31			19年月日()					
32			19年月日()					
33			19年月日()					
34			19年月日()					
35			19年月日()					
36			19年月日()					
37			19年月日()					
38			19年月日()					
39			19年月日()					
40			19年月日()					
41			19年月日()					
42			19年月日()					
43			19年月日()					
44			19年月日()					
45			19年月日()					
46			19年月日()					
47			19年月日()					
48			19年月日()					
49			19年月日()					
50			19年月日()					
51			19年月日()					
52			19年月日()					
53			19年月日()					
54			19年月日()					
55			19年月日()					

別紙2-③

大会 エントリー用紙

大会エントリー表 (外国籍選手用)

大会名		申請日	19 年 月 日
チーム名			

<フリガ> 氏名			
通称		[英文字]	
国籍		登録区分	
前登録チーム (国名)			

<フリガ> 氏名			
通称		[英文字]	
国籍		登録区分	
前登録チーム (国名)			

<フリガ> 氏名			
通称		[英文字]	
国籍		登録区分	
前登録チーム (国名)			

[外国籍選手として取り扱わない外国籍選手]

<フリガ> 氏名			
通称		[英文字]	
国籍		登録区分	
前登録チーム (国名)			

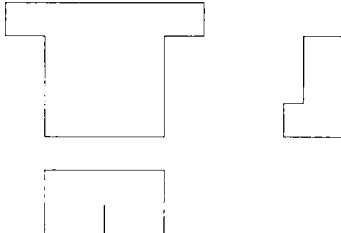
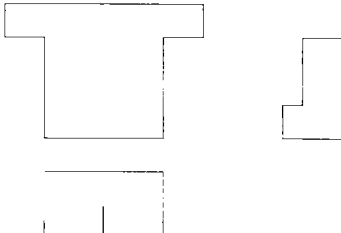
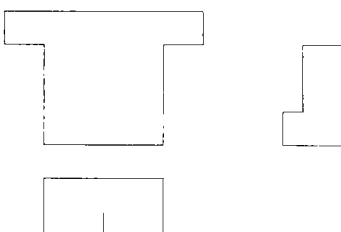
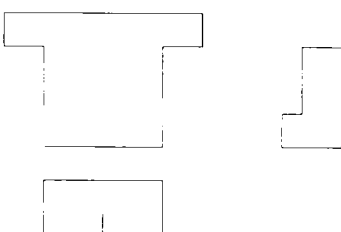
*大会エントリー用紙(別紙2-②)には、通称を記入してください。また通称は、試合のメンバー提出用紙に書き込む時ならびに新聞等の報道発表の際に使用する名称を記入してください。

別紙2-④

大会エントリー用紙

ユニフォーム申請書

日本プロサッカーリーグ
理事長 川淵 三郎 殿

大会名	チーム名
ユニフォームのデザインおよび色彩	
<p>① 第1ユニフォーム (フィールドプレーヤ)</p> <p>[上着] 色= _____ [スッキング] 色= _____</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p>[ショーツ] 色= _____</p>	<p>第2ユニフォーム (フィールドプレーヤ)</p> <p>[上着] 色= _____ [スッキング] 色= _____</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p>[ショーツ] 色= _____</p>
<p>② 第1ユニフォーム (ゴールキーパー)</p> <p>[上着] 色= _____ [スッキング] 色= _____</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p>[ショーツ] 色= _____</p>	<p>第2ユニフォーム (ゴールキーパー)</p> <p>[上着] 色= _____ [スッキング] 色= _____</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p>[ショーツ] 色= _____</p>

19 年 月 日

チーム名:

代表者名:

印

別紙3-①

エントリー変更届出用紙(別紙3-①)

役員・チームスタッフ エントリー変更届

㈱日本プロサッカーリーグ

理事長 川淵 三郎 殿

下記のとおり役員の追加・抹消をいたします。

追加・抹消	氏名	フリガナ	生年月日	役職
			19年 月 日	
日付	理由			
19年 月 日付				

追加・抹消	氏名	フリガナ	生年月日	役職
			19年 月 日	
日付	理由			
19年 月 日付				

追加・抹消	氏名	フリガナ	生年月日	役職
			19年 月 日	
日付	理由			
19年 月 日付				

19年 月 日

チーム名:

代表者名:

印

別紙 3 - ②

エントリー変更届出用紙 (別紙 3 - ②)

追加エントリー申請書 (選手用)

財団法人日本プロサッカーリーグ
理事長 川淵 三郎 殿

(大会名)

_____ へ下記選手の追加エントリーを申請いたします。

〈別冊〉 氏名					
通称	[英文字]				
生年月日 (年齢)	19 年 月 日 (才)				
身長cm	cm	体重kg	kg	国籍	
ポジション			登録区分		
前々登録チーム (国名)					
前登録チーム (国名)					

19 年 月 日

チーム名 :

代表者名 :

印

- 添付資料
1. 都道府県協会宛 協会追加登録申請書 (写)
 2. 顔写真 (パスポートサイズ 5 × 5 cm)

別紙 3-③

エントリー変更届出用紙

エントリー 抹消申請書 (選手用)

④日本プロサッカーリーグ

理事長 川淵 三郎 殿

(大会名)

から下記選手のエントリー抹消を申請いたします。

〈フリガ〉 氏 名				
通 称	[英文字]			
生年月日 (年齢)	19 年 月 日 ()	登録区分		
抹消年月日	19 年 月 日	ポジション		
理 由				

19 年 月 日

チーム名：

代表者名：

印

別紙 3 - ④

エントリー変更届出用紙 (別紙 3 - ④)

エントリー変更申請書 (選手用)

社 日本プロサッカーリーグ
理事長 川淵 三郎 殿

(いずれかのケースを○で囲む)

- ① サテライトJリーグからトップリーグ (リーグおよびリーグカップ) へ
- ② トップリーグ (リーグおよびリーグカップ) からサテライトJリーグへ

下記選手のエントリー変更を申請いたします。

〈別紙〉 氏 名			
通 称	[英文字]		
生年月日 (年齢)	19 年 月 日 (歳)	登録区分	
変更年月日	19 年 月 日	ポジション	

19 年 月 日

チーム名 :

代表者名 :

印

Jリーグユニフォーム規程

1. ユニフォームの適用範囲

Jリーグ加盟チームが出場するすべての公式戦とする。

(* 天皇杯に関しては天皇杯実施委員会との調整を要する。)

2. 番 号

シャツ—————前面の左側もしくは中央に高さ10cm、背中は高さ25cmの大き
さとする。

ショーツ—————前面の右下に高さ8cmの大きさとする。

3. メーカー名

シャツ—————片方の胸に20cm²を超えない大きさとする。

ショーツ—————前面の左下に12cm²を超えない大きさとする。

ストッキング—————それぞれ2カ所ずつに12cm²を超えない大きさとする。

4. 広 告

申請・登録後、シャツに3カ所（1カ所につき1社のみ）付することができる。

前面—————番号の上部に300cm²を超えない大きさとする。

背中—————番号の上部もしくは下部に200cm²を超えない大きさとする。

左袖—————30cm²を超えない大きさとする。

広告以外のものを付する場合の大きさはこの限りではないが、これを基準に考
えるものとする。

5. チームエンブレム

シャツに付するか否かはチームの自由とする。

6. Jリーグマーク

Jリーグ公式試合および天皇杯全日本選手権試合においてシャツの右袖上腕部に
付することとする。

(本部)

メンバー提出用紙

チーム名		
番号	ポジション	氏名
1	GK	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		

《注意》

- ① 本部への提出時刻は次の通りとする。
 - (1) リーグ 試合開始120分前
 - (2) リーグカップ 試合開始120分前
 - (3) サテライトJリーグ 試合開始 60分前
 - (4) その他 各試合の規定による
- ② 交替要員5名とその他のベンチに入る6名も必ず記入する。

◎ ベンチ

役職	氏名

《交替》

		時刻	交替退出選手
12		前後分	
13		前後分	
14		前後分	
15		前後分	
16	GK	前後分	

社団法人 日本プロサッカーリーグ

試合開催地変更申請書

㈲日本プロサッカーリーグ

理事長 川淵 三郎 殿

(該当項目を○で囲む) ①開催地変更 ②キックオフ時刻変更

下記のとおり試合開催に関する変更をしたく、申請いたします。

[対象試合]

大会名	
対戦カード	VS
試合日	19年 月 日() キックオフ時刻 : [節・回戦]
競技場	

[変更希望]

試合日	19年 月 日() キックオフ時刻 :
競技場	
変更理由	

19年 月 日

チーム名 :

代表者名 :

印

Jリーグ マッチ・コミッサー報告書

大会名： '93 Jリーグサントリーシリーズ 第 節

氏 名： _____

試合について

チーム名： _____ vs _____

試合結果： _____ : _____ (_____ : _____)

試合日時： _____ 年 _____ 月 _____ 日 () : _____ kickoff

競技場名： _____

審判員 : 主 審 _____

線審 1 _____

線審 2 _____

ｽﾌﾟﾚｰ 審判員 _____ (_____ 級)

天 候： _____ 入場者実数： _____

ピッチ 状況： _____

警告者名： [_____] 分 No _____ (_____)

_____ 分 No _____ (_____)

_____ 分 No _____ (_____)

[_____] 分 No _____ (_____)

_____ 分 No _____ (_____)

_____ 分 No _____ (_____)

退場者名： [_____] 分 No _____ (_____)

_____ 分 No _____ (_____)

[_____] 分 No _____ (_____)

_____ 分 No _____ (_____)

態度(チーム)： [_____] _____

[_____] _____

態度(観客)： _____

その他： _____

運営について (運営全般に対する問題点等)

審判員について

108

(1) 主審の評価

A. 個人的資質

1. 性格

(確固としているか、不安さは困難なケースで観客の影響を受けているか、競技者に影響されているか、公平か)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ×1 []

2. 体力

(プレーを追うのが速いか遅いか〔スピード〕、スタミナは十分か、プレーの近くにいるか)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ×2 []

B. 審判能力

1. 競技規則と解釈の適用

(規則の精神を適用しているか、故意と故意でないで分けているか、競技者に影響されているか、公平か)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ×3 []

2. 任務の遂行能力

(些細なことに気を遣っていないか、対角線式審判法は、線審との協力は、判定ははっきりしているか、笛の吹き方は、シグナルは正しいか、時間は正確か)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ×2 []

3. 規律とコントロール

(不正行為や暴力にどう対処しているか、警告や退場は適切か)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ×2 []

C. 試合の困難度

易しい 0.0 ← → 非常に難しい 1.0 []
[0.1きざみで評価]

評価点合計 (A1+A2+B1+B2+B3) ÷10 + C []

主審評価点の目安

* 1. 極端に悪い 2. 非常に悪い 3. 悪い 4. 不満足 5. やや不満足 *
* 6. 平均的 7. やや良い 8. 良い 9. 非常に良い 10. 理想的 *

(2) 線審の評価

線審 1 ①不満足 ②やや不満足 ③やや良い ④良い

線審 2 ①不満足 ②やや不満足 ③やや良い ④良い

ｽﾊﾞ7 審判員 ①不満足 ②やや不満足 ③やや良い ④良い

(3) その他のコメント

私念 言平

以上

別紙 9

(別紙 9)

平成 年 月 日

社団法人 日本プロサッカーリーグ
チェアマン 川 淵 三 郎 殿

Jリーグ
マッチ・コミッサリー緊急報告書

大会名： _____

チーム名： _____ vs _____

試合結果： _____ : _____ (_____ : _____)

試合日時： _____ 年 月 日 (_____) : _____ キックオフ

競技場名： _____

審判員：主審 _____ 線審1 _____
線審2 _____ スベ7 審判員 _____

緊急報告内容：

以上の通り報告いたします

マッチ・コミッサリー署名： _____

別紙 11

(社) 日本プロサッカーリーグ

試合メンバー表

対	
19 年 月 日	: キックオフ

マッチコミッサー		氏名	年齢	1級登録	試合数 主審 線審	備考
実行委員	主審					
運営委員	線審					
	線審					
	入場審判					

ホームチーム							リーグでの 対戦成績		
番号	位置	氏名	年齢	身長/体重	大会成績 出場:得点	前所属チーム	勝	分	敗
交替選手			先発	名の平均年齢:		歳			
名の平均年齢:						歳			
							第 節までの 成績		
							勝	分	敗
							得点	失点	
							勝点	順位	

役 職	
氏 名	年 齢
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----

アウェイチーム							リーグでの 対戦成績		
番号	位置	氏名	年齢	身長/体重	大会成績 出場:得点	前所属チーム	勝	分	敗
交替選手			先発	名の平均年齢:		歳			
名の平均年齢:						歳			
							第 節までの 成績		
							勝	分	敗
							得点	失点	
							勝点	順位	

役 職	
氏 名	年 齢
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----

試合運営報告書

㈱日本プロサッカーリーグ
 理事長 川淵 三郎 殿

NO. 1

大会名		天候		風	
入場者数	(実数) 人	ピッチ状況			
試合日時	19 年 月 日 () キックオフ時刻 : (節・回戦)				
対戦カード および 試合結果	[ホームチーム] _____ vs _____ [アウェイチーム] <div style="text-align: center;"> (—) (—) PK </div>				
競技場					
審判員	主審	線審①	②	予備審	
警告〔選手名、時間、理由〕					
退場〔選手名、時間、理由〕					
運営に関する報告					
① 試合競技の進行					

②観客サービス（試合前後、ハーフタイムのイベントの実施、他会場の経過等の情報サービス、等）
③マスコミ対応（情報サービス、記者・カメラ席の設置、記者会見・インタビューの実施、等）
④警備体制 (1)観客の入退場 (2)チケット販売 (3)選手・関係者の入退場 (4)フィールドへの飛び降り (5)その他
⑤その他（問題点、改善すべき点、等）

以上のとおり報告します。

19 年 月 日

チーム名：

実行委員： 印

運営委員： 印

試合収支決算書

19 年 月 日

チーム名: _____

代表者氏名: _____ 印

大会名		節・回戦	
該当試合	19 年 月 日	VS	

		券 種	単 価	枚 数	金 額	
収 入	入 場	前 売				
			(計)			①
	券 日	当				
		(計)			②	
		(合 計)			①+②=③	
入	その他					
		(合 計)			④	
[A]					③+④	
支 出	競 技 場 使 用 料					
	運 営 人 件 費					
	雑 費 (TEL、FAX、コピー、弁当、プレス対応)					
	その他					
[B]						
収 支 [A - B]						

立 替 金	審判員経費 (日当、旅費)	
	マッチミキリ経費 (日当、旅費)	
	(合 計)	

選手登録規程

第1条〔総則〕

本規程は、財団法人サッカー協会（以下「本協会」という）寄附行為細則第15条に基づき、選手の本協会への登録に関して定めるものとする。

第2条〔登録区分〕

本協会における選手登録区分は、次の各号のとおりとする。

- (1) アマチュア選手
- (2) アマチュア以外の選手

第3条〔アマチュア規程〕

アマチュア選手は、本協会のアマチュア規程を遵守するものとする。

第4条〔アマチュア以外の選手〕

アマチュア以外の選手は、次の各号を遵守するものとする。

- (1) 満16歳以上で、かつ、本協会寄附行為細則第2条による第1種または第5種の本協会加盟登録団体であるチーム（以下「加盟チーム」という）に所属し、本協会の認定を受けること
- (2) 本協会および選手の所属するチームの加盟するリーグ、連盟等（以下「加盟リーグ等」という）が広告・宣伝活動を行う場合は、原則として無償で協力すること
- (3) 国内・国外を問わず、本協会主催以外の試合に出場する場合は、事前に本協会の承認を得ること
- (4) 競技会の会場において本協会または加盟リーグ等の承認なしに広告・宣伝活動を行わないこと

第5条〔規約、規程等の遵守義務〕

選手は、本協会および加盟リーグ等の定める規約、規程等を遵守する義務を負い、当該規約、規程等による制約を受けるものとする。

第6条〔選手登録の方法〕

- ① 本協会への登録は、アマチュア選手、アマチュア以外の選手のいずれも加盟チームが加盟登録団体票（本協会の定める、様式一第1号）をもって行う。
- ② アマチュア以外の選手の登録には、前項の加盟登録団体票に加盟チームと選手間の契約書の写しおよび「選手登録申請書」（本協会の定める書式1号または2号）を添

付するものとする。

- ③ 本協会は、前項により受けつけた選手登録申請書の写しを管轄都道府県サッカー協会、管轄地域サッカー協会および加盟リーグ等に送付する。
- ④ 第2項に基づく登録申請料は、1件1名につき5,000円とする。

第7条〔登録有効期間〕

- ① 前条に基づく登録の有効期間は、毎年4月1日より翌年3月31日までの1年間（以下「登録年度」という）とする。
- ② 登録年度の途中で行った登録（追加、変更等一切の場合を含む）については当該登録を行った日の属する登録年度が終了するまで有効とする。

第8条〔登録区分変更〕

- ① 選手登録区分変更を希望する選手は、加盟チーム経由で選手登録区分変更申請書（本協会の定める、書式1号）により本協会に申請するものとし、本協会は、受けつけた申請を前2条に従って処理する。
- ② アマチュア選手への選手登録区分の変更は、選手1名につき1回に限るものとする。

第9条〔資格認定等の原則〕

選手の資格認定および区分変更認定は、本協会資格委員会の諮問に基づき理事会において決定する。

第10条〔外国籍の選手〕

外国籍の選手（日本国籍を有しない選手）も、本協会に登録する場合、本規程の適用を受けるものとする。

第11条〔外国籍扱いしない選手〕

- ① 日本で生まれ、次の各号のいずれかを満たす選手は、日本国籍を有しない場合でも、外国籍扱いしない。
 - (1) 学校教育法第1条に定める学校において、教育基本法第4条に定める義務教育中のものまたは義務教育を終了したもの
 - (2) 学校教育法第1条に定める高等学校または大学を卒業したもの
- ② 前項の適用をうけるためには、加盟チームが「選手登録申請書（外国籍扱いしない選手）」（本協会の定める書式9号）で本協会に申請し、理事会の承認を得ることを要するものとする。ただし、当該適用は、加盟1チームにつき1名に限るものとする。

第12条〔公式試合への出場〕

本協会に現に登録されている選手に限り、公式試合への出場を許可される。

第13条〔代表チームへの参加〕

加盟チームは、所属選手が本協会の招聘により代表チームまたは選抜チーム等の一

員に選出された場合、当該選手を参加させる義務を負う。ただし、傷害または疾病のために、本協会の招聘に応ずることのできない選手は、本協会が請求した場合、本協会の選定した医師の健康診断を受けなければならない。

第14条〔規程違反〕

選手または加盟チームが本規程に違反した場合の処分は、理事会が決定する。

第15条〔改正〕

本規程の改正は、理事会の決議に基づきこれを行うものとする。

附 則

第1条〔施行期日〕

本規程は、平成4年4月1日から施行する。

第2条〔経過措置〕

本規程の施行前に申請された登録に関しては、なお従前の例による。

選手移籍規程

第1条〔総則〕

本規程は、財団法人日本サッカー協会（以下「本協会」という）寄附行為細則第16条に基づき、アマチュア選手およびアマチュア以外の選手の移籍について定めるものとする。

第2条〔目的〕

- ① 本規程は、本協会の「加盟登録団体および登録選手」（過去に登録していたものおよび現在登録しているものならびに将来登録を希望するもの全てを含むものとし、以下総称して「加盟者」という）相互間ならびに加盟者と外国のサッカー関係団体との間の選手移籍に関する紛争を防止するとともに、紛争が生じた場合にこれを解決することを目的とするものであり、加盟者の全てを拘束する。
- ② 本協会および加盟者は、国際サッカー連盟の定める「選手の資格と移籍に関する規程」、すなわち「Regulations governing the Status and Transfer of Players」（以下「FIFA規程」という）を尊重するものとする。

第3条〔移籍の定義〕

- ① 移籍とは選手が現在所属しているチーム（以下「移籍元チーム」という）を脱退し、別のチーム（以下「移籍先チーム」という）に所属変更することをいう。
- ② 前項の規定にかかわらず、第1種から第5種（「種」とは、本協会寄附行為細則第2条に基づく種別を意味する。以下同じ）に登録している学校のチームに所属する選手が、卒業によって新たなチームに所属変更する場合は、移籍とはみなさない。

第4条〔移籍の手続き〕

- ① 選手が移籍を希望する場合、当該選手は、移籍元チームの発行した「移籍承諾書」を添付した「移籍申請書」を本協会に提出し、その承認を得なければならない。
- ② 本規程の定めにより移籍元チームが「移籍承諾書」を発行すべきにもかかわらずこれを発行しないときは、本協会の理事会は、移籍を希望する選手の申請に基づき、移籍元チームの承諾に代わる決定をなすことができる。

第5条〔アマチュア選手がアマチュア選手として移籍する場合〕

アマチュア選手が、アマチュア選手として移籍先チームへ移籍したい旨を申し出た場合、移籍元チームは、登録年度（毎年4月1日より翌年3月31日まで）途中での移籍を除き、当該移籍を承諾しなければならないが、かつ、名目のいかに問わず、当該移籍に対し対価を請求することができない。

第6条〔アマチュア以外の選手がアマチュア選手として移籍する場合〕

アマチュア以外の選手が、アマチュア選手として移籍先チームへ移籍したい旨を申し出た場合、移籍元チームは、当該選手との契約に基づく根拠がないかぎり、当該移籍について異義を申し立てることができず、かつ、名目のいかんを問わず当該移籍に関し対価を請求することができない。

第7条〔アマチュア選手として移籍する場合の特例〕

- ① 前2条の規程に基づきアマチュア選手として移籍した選手は、本協会が当該移籍を承諾した日から3年間は、移籍先チームの承諾を得ないかぎり、移籍先チームを含むいかなるチームとも、アマチュア以外の選手として契約することができない。
- ② 前項の承諾をする場合、移籍元チームは、移籍先チームに対し、次条に定めるトレーニング費用または第9条第4項に定める移籍金を請求することができる。

第8条〔アマチュア選手がアマチュア以外の選手として移籍する場合〕

アマチュア選手が、アマチュア以外の選手として移籍先チームへ移籍したい旨を申し出た場合、移籍元チームは、当該移籍について異義を申し立てることができない。ただし、移籍元チームが営利法人である場合にかぎり、移籍元チームは、移籍先チームに対し本協会の「トレーニング費用請求基準」に定められた金額を上限とするトレーニング費用を請求することができる。

第9条〔アマチュア以外の選手がアマチュア以外の選手として移籍する場合〕

- ① アマチュア以外の選手をアマチュア以外の選手として移籍させようとする場合、移籍先チームは、当該選手との交渉を開始する前に、移籍元チームの書面による承諾を得なければならない。
- ② アマチュア以外の選手がアマチュア以外の選手として移籍しようとする場合、当該選手は、移籍先チームとの交渉を開始する前に、移籍元チームの書面による承諾を得なければならない。
- ③ 前2項の規定は、移籍の対象となる選手と移籍元チームとのアマチュア以外の選手契約の期間満了（本協会統一契約において優先契約条項に合意している場合には、最後の優先契約期間の終了を意味する。以下同じ）前3か月以内に達しているときには適用されないものとする。
- ④ アマチュア以外の選手契約の期間満了後30か月以内に行われる移籍に関し、移籍元チームは、移籍先チームに対し本協会の「移籍金算出基準」により算出される金額を上限とする移籍金を請求することができる。
- ⑤ アマチュア以外の選手契約の期間満了前であっても、移籍先チームと移籍元チームとが移籍金その他移籍にともなう補償につき合意し、かつ、当該選手も移籍を承諾した場合は、移籍を行うことができる。

第10条〔外国籍選手等の移籍〕

- ① 外国籍の選手（日本国籍を有しない選手）が新たに本協会加盟チームに移籍する場合には、アマチュア選手もしくはアマチュア以外の選手のいずれの場合においても、次の各号の条件を具備し、かつ、本協会に「外国人選手登録申請書」を提出して、その承認を得なければならない。
 - (1) 移籍先チームは、当該選手との交渉を開始する前に、移籍元チームに対し、交渉を開始する旨を書面で通知すること
 - (2) 本人が日本国内に入学し居住していること
 - (3) 満 16 歳以上の選手については、移籍元チームが加盟するサッカー関係団体が発行した FIFA 規程に基づく国際移籍証明書（以下「国際移籍証明書」という）を提出すること
 - (4) 次の各書類を添付すること
 - イ 旅券および入国査証の写し
 - ロ 外国人登録証明書の写し
 - ハ 移籍先チームが発行した資格証明書
- ② 外国のサッカー関係団体に選手として登録されていた日本国籍の選手が本協会加盟チームに移籍する場合にも、前項の規定を準用する。ただし、この場合には前項第 4 号イおよびロの書類に代えて住民票を添付するものとする。

第 11 条〔公式試合への出場資格〕

- ① 本規程に基づき移籍した選手は、本協会が登録を承認した日の翌日から公式試合に出場することができる。
- ② アマチュア選手は、前項の規定にかかわらず、本協会が登録を承認した日から 30 日を経過した後でなければ公式試合に出場することができない。
- ③ 事前に本協会の承認を得て 1 年以内の研修を目的として外国のチームに移籍した選手が、帰国後、元のチームに移籍する場合、当該選手の公式試合の出場に関しては前項の規定を適用せず、本協会が別途決定する。

第 12 条〔外国への移籍〕

- ① 外国のチームへ移籍しようとする選手は、本協会が発行する国際移籍証明書の交付を受けなければならない。
- ② 前項の国際移籍証明書の発行は、本協会が FIFA 規程に基づき制定した「国際移籍証明書発行基準」によるものとする。

第 13 条〔代理人等〕

加盟者は、移籍に関し、弁護士以外の者を代理人または仲介人として雇用してはならない。

第 14 条〔規程違反〕

選手または加盟チームが本規程に違反した場合の処分は、理事会が決定する。

第15条〔移籍に関する異義等〕

- ① 選手の移籍に関して異義または疑義のある加盟者は、本協会に提訴することができる。
- ② 本協会統一契約を締結していない選手の移籍に関する異義または疑義について提訴を受けた場合、本協会は、登録規程上の登録区分のいかんにかかわらず、本規程の適用に関しては、当該選手をアマチュア選手とみなすものとする。

第16条〔改正等〕

- ① 本規程の改正は、理事会の決議に基づきこれを行うものとする。
- ② 選手登録規程第4条第2号に定める加盟リーグ等は、理事会の承認を得た場合には、本規程の特則を設けることができる。

附 則

第1条〔施行期日〕

本規程は、平成4年11月1日から施行する。

日本サッカー協会選手契約書

〔プロ選手統一契約書〕

_____ (以下「クラブ」という)と
_____ (以下「選手」という)とは、選手がクラブのためにアマチュア以外の選手 (以下「プロ選手」という)としてサッカー活動を行うことに関し、次のとおり契約を締結する。

第1条〔誠実義務〕

- ① 選手は、財団法人日本サッカー協会 (以下「協会」という)の寄附行為およびクラブが加盟するリーグ、連盟等 (以下「リーグ等」という)の規約ならびにこれらに付随する諸規程を遵守するとともにクラブの諸規則を遵守し、本契約を誠実に履行しなければならない。
- ② 選手は、プロ選手として自己の全ての能力を最大限にクラブに提供するため、常に最善の健康状態の保持および運動能力の維持・向上に努めなければならない。
- ③ 選手は、プロ選手として公私ともに日本サッカー界の模範たるべきことを認識し、日本サッカーの信望を損なうことのないよう努めなければならない。

第2条〔履行義務〕

選手は、次の各事項を履行する義務を負う。

- (1) クラブの指定するすべての試合および研修ならびに協会およびリーグ等の指定する試合および研修への参加
- (2) クラブの通常のスケジュールのトレーニングならびに特別に指定されたトレーニングおよび宿舎を含むトレーニングへの参加
- (3) クラブの指定するミーティングおよび試合の準備に必要な行事への参加
- (4) クラブの指定する医学的検診、注射、予防処置および治療処置への参加
- (5) クラブの指定する広報活動およびファンサービス活動への参加
- (6) 副業に関する事前のクラブの同意の取得
- (7) 合宿、遠征等に際してのクラブの指定する交通機関および宿泊施設の利用
- (8) 居住場所に関する事前のクラブの同意の取得
- (9) その他クラブが必要と認めた事項

第3条〔禁止事項〕

選手は、各行為を行ってはならない。

- (1) クラブ、協会およびリーグ等の内部事情の部外者への開示
- (2) 試合およびトレーニングに関する事項 (試合の戦略・戦術・選手の起用・トレー

ニングの内容等)の部外者への開示

- (3) クラブ、協会およびリーグ等の承認が得られない広告宣伝・広報活動への参加もしくは関与
- (4) 本契約履行の妨げとなる内容の第三者との契約の締結
- (5) クラブの事前の同意を得ない、第三者の主催するサッカーもしくはその他のスポーツの試合への参加
- (6) 試合の結果に影響を与える不正行為への関与
- (7) その他クラブにとって不利益となる行為

第4条〔報酬〕

- ① クラブは選手に対し、次の各号の報酬を支払う。
 - (1) 基本給 選手およびクラブの成績にかかわらず支払われる報酬
 - (2) 出場給 リーグ等が定める出場給支給対象試合(以下「支給対象試合」という)の出場実績に応じて支払われる報酬
 - (3) 特別給 別紙1に定める基準により支払われる次の報酬
 - イ. 勝利プレミアム 勝ち試合および引き分け試合の場合に支給する。
 - ロ. 成果プレミアム クラブの順位および選手の個人成績等により支給する。
 - ハ. 特別プレミアム 支給対象試合以外のクラブが指定する試合への出場等(日本代表チームへの選出を含む)の場合に支給する。
 - (4) その他の報酬 別紙2に定める基準により支払われる前3号以外の報酬
- ② 基本給は、選手およびクラブの成績いかんにかかわらず、次に定める金額(年額)の月割りをもって毎月___日に支給する。

年額 金 _____ 円
- ③ 出場給は、次に定める総額(A)を支給対象試合数(B)で除した金額(C)に各月の出場回数に乗じた金額を、翌月___日に支給する。
 - A. 総額 金 _____ 円
 - B. 試合数 _____ 回
 - C. 金 _____ 円/試合
- ④ 各月の出場回数は、次の係数により計算する。
 - (1) 公式記録に基づく出場時間が45分を超えたとき 1.00
 - (2) 公式記録に基づく出場時間が30分以上45分以下のとき 0.75
 - (3) 公式記録に基づく出場時間が30分未満のとき 0.50
 - (4) 試合登録のみで出場しなかったとき 0.25

第5条〔報酬の算定基準〕

前条に定める報酬は、いずれも円建てとし、所得税、住民税、消費税その他一切の税金を含むものとする。

第6条〔費用の負担および用具の使用〕

- ① 選手がクラブのために旅行する期間の交通費および宿泊費はクラブが負担する。

- ② 選手が試合およびトレーニングに使用する用具のうち、ユニフォーム一式およびトレーニングウェアはクラブが支給したものを使用しなければならない。

第7条〔休 暇〕

選手は、競技シーズン終了後に、連続して2週間以上の休暇を受けることができる。ただし、選手は、休暇を休養の目的に利用しなければならない。

第8条〔疾病および傷害〕

- ① 選手は、疾病もしくは傷害に際して速やかにクラブに通知し、クラブの指示に従わなければならない。
- ② 本契約の履行に直接起因する選手の疾病もしくは傷害（以下「公傷」という）につき、クラブの指定する医師が治療ないし療養を必要と認めた場合、その治療ないし療養に要する費用は、社会保険適用範囲内においてクラブが負担する。
- ③ 公傷により、選手が一時的に競技不能となった場合、クラブは、その競技不能の期間中、第4条第2項に定める基本給を支払わなければならない。ただし、競技不能の期間中に本契約が期間満了その他の理由により終了したときは、その時点でクラブの支払義務は消滅する。

第9条〔選手の肖像等の使用〕

- ① 選手は、選手の肖像、映像、氏名等（以下「選手の肖像等」という）が報道、放送されることおよび当該報道、放送に関する選手の肖像等につき何ら権利を有するものでないことを了承する。
- ② 選手は、クラブから指示があった場合、クラブ、協会およびリーグ等の広報・広告宣伝活動に使用するための素材制作（肖像写真撮影、フィルム・ビデオ撮影、インタビュー録音等）に、原則として無償で応じなければならない。
- ③ クラブは、選手の肖像等を、クラブ、協会およびリーグ等の広報・広告宣伝活動（リーグ等を題材として商品化した商品への使用を含む）のために無償にて使用することができるものとする。ただし、選手個人単独の肖像写真を利用した商品を製造し、有償で頒布する場合、クラブは選手に対し、別途協議して定める対価を支払う。
- ④ 選手は、テレビ・ラジオ番組もしくはイベント等への出演または新聞・雑誌記事もしくは広告宣伝・販売促進活動等への関与については事前にクラブの書面による承諾を得なければならない。
- ⑤ 前項の出演または関与に際しての対価の分配は、クラブと選手が別途協議して定める。

第10条〔クラブによる契約解除〕

- ① 次の各号のいずれかに該当する事実があった場合、クラブは、選手に対し書面（配達証明付内容証明郵便による。以下同じ）で通知することにより、本契約を直ちに解除することができる。
 - (1) 選手が本契約の定め違反した場合において、クラブが改善の催告をしたにもか

- かわらず、これを拒絶もしくは無視したとき
- (2) 選手が疾病もしくは傷害によりサッカー選手としての技能を永久的に喪失したとき
- ② 前項に基づき本契約を解除したクラブは、選手に対し、解除通知の発信した日の属する月までの基本給を支払うものとする。

第11条〔選手による契約解除〕

- ① 次の各号のいずれかに該当する事実があった場合、選手は、クラブに対し書面で通知することにより、本契約を直ちに解除することができる。
- (1) クラブが本契約に基づく報酬等の支払いを約定日から14日を超えて履行しないとき
- (2) クラブが支給対象試合に正当な理由なく連続して3試合以上出場しなかったとき
- (3) クラブがリーグ等から除名されたとき
- ② 前項に基づき本契約を解除した選手は、本契約の残存期間分の基本給および出場給（満額）を受け取ることができる。

第12条〔制裁〕

選手につき次の各号のいずれかに該当する事実があった場合、クラブは、選手に対し、戒告もしくは制裁金またはこれらの双方を課することができる。ただし、制裁金の金額は、1つの事実につき、基本給（年額）および出場給（総額）の合計金額の12分の1の30%を超えない範囲で、クラブがこれを決定する。

- (1) 出場した試合において警告、退場または出場停止の処分を受けたとき
- (2) クラブの指示命令に従わなかったとき
- (3) クラブの秩序風紀を乱したとき
- (4) 刑罰法規に抵触する行為を行ったとき

第13条〔有効期間および更新手続き〕

- ① 本契約の有効期間は、199__年__月__日から199__年1月31日までとする。
- ② クラブは、前項の期間満了後__年間は、選手との優先契約権（オプション権）を有するものとし、その期間中、クラブは、年度ごとに、下記の条件を満たすことにより、本契約を更新することができるものとする。

- (1) 基本給

--

- (2) 出場給

--

- (3) その他

-
- ③ 本契約を更新（前項の優先契約権の行使を含む）しようとする場合、クラブは、前年の10月31日までに、選手に対し更新の条件を明示した通知を書面により行わなければならない。
 - ④ 前項の通知を怠った場合、クラブには本契約を更新する意思がないものとみなし、選手はクラブに対し、移籍リストへの登録を請求することができる。

第14条〔修正〕

本契約は、クラブ代表者および選手の署名ある文書によってのみ修正され得るものとし、口頭による約束は拘束力をもたないものとする。

第15条〔準拠法〕

本契約は、日本法によって支配されるものとする。

第16条〔紛争の解決〕

- ① 本契約の解釈または本契約の履行に関してクラブと選手との間に紛争が生じたときは、クラブおよび選手が、その都度、誠意をもって協議の上解決する。
- ② 前項の協議を申し入れた後30日を経過しても紛争が解決しないときは、クラブまたは選手は、協会の裁定を求めることができる。
- ③ 前項の協会の裁定は最終のものであり、クラブおよび選手はこれに拘束されることを承認する。

第17条〔保管〕

本契約書は同時に正本2通を作成し、クラブおよび選手がそれぞれ1通ずつ保管する。

19 ____年 ____月 ____日

(住所)

(クラブ名)

(代表者名)

印

(住所)

(選手名)

印

(生年月日)

年

月

日

* 選手が未成年者の場合、法定代理人（親権者または後見人）の記名捺印

(住所)

(氏名)

印

(住所)

(氏名)

印

特別給の支給基準

[別紙. 1]

第4条第1項第3号に規定する「特別給」は、以下の基準により支給する。

イ. 勝利プレミアム

(1) 対象試合・金額・支給日： (単位 円)

対 象 試 合	金 額			支 給 日
	勝		分	
	勝		分	
	勝		分	
	勝		分	
	勝		分	
	勝		分	

(2) 支給基準：

ロ. 成果プレミアム

1. クラブの順位による成果プレミアム

(1) 大会名・クラブの順位・金額： (単位 円)

大会名	順 位					支給日

(2) 支給基準：

2. 選手の個人成績等による成果プレミアム

(1) 該当事項・金額・支給日：

(単位 円)

該 当 事 項	金 額	支 給 日

(2) 支給基準：

ハ. 特別プレミアム

(1) 該当事項・金額・支給日：

(単位 円)

該 当 事 項	金 額	支 給 日
日本代表チームへの選出		

(2) 支給基準：

その他の報酬

〔別紙. 2〕

第4条第1項第4号に規定する「その他の報酬」は、以下の基準により支給する。

移籍金算出基準

第1条〔趣 旨〕

「選手移籍規程」第9条第4項に規定する移籍金は、この基準により算出する。

第2条〔適 用〕

この基準は、本協会統一契約を締結したアマチュア以外の選手の移籍金の算出についてのみ適用する。

第3条〔算出方法〕

① 移籍金の金額は、当該選手の平均報酬額に、次の年齢別係数を乗じた額とする。

(本協会が移籍を承認した日の年齢)	(係 数)
満16歳以上満21歳以下	7.5
満22歳以上満24歳以下	6.0
満25歳以上満27歳以下	4.5
満28歳以上満30歳以下	3.0
満31歳以上満33歳以下	1.5
満34歳以上	0.0

② 前項の平均報酬額は、次の計算式により算出する。

$$\text{平均報酬額} = (A + B + C) \div 3$$

- ┌ A：移籍元チームにおける現在の基本給(年額) + 出場給(総額)
- ├ B：移籍元チームが申し出た次期の基本給(年額) + 出場給(総額)
- └ C：移籍先チームが申し出た次期の基本給(年額) + 出場給(総額)

③ 前項のCの金額がBの金額未満の場合には、Bの金額をCの金額とみなして前項の計算を行うものとする。

第4条〔端数の処理〕

前条により算出された移籍金の金額に千円未満の端数が生じたときは、千円に切り上げる。

第5条〔支払方法〕

移籍金は、原則として、移籍に関する契約の成立後30日以内に、移籍先チームから移籍元チームに対し、現金をもって一括して支払う。ただし、両チームが合意したときは、分割払いとすることができる。

第6条〔実施〕

この基準は、平成4年11月1日から実施する。

トレーニング費用請求基準

第1条〔趣 旨〕

「選手移籍規程」第8条に規定するアマチュア選手がアマチュア以外の選手として移籍する場合のトレーニング費用の請求は、この基準による。

第2条〔トレーニング費用の金額〕

- ① トレーニング費用は、選手が在籍したチーム（営利法人に限る）における満16歳以上の在籍期間に応じ、次に定める金額とする。

在籍期間	3年未満	100万円
在籍期間	3年以上	200万円
- ② 選手が前項の在籍期間中に日本代表チームに選出された場合には、前項の金額に100万円を加算する。
- ③ 選手が移籍前3年以内に在籍したチームが複数存在する場合には、それぞれのチームにおける在籍期間に基づき前2項の金額を按分することを原則とする。

第3条〔支払方法〕

トレーニング費用は、本協会が移籍を承認した日から30日以内に現金をもって一括して支払われるものとする。

第4条〔実 施〕

この基準は、平成4年7月1日から実施する。

懲 罰 規 程

第1条 サッカーに係る各種の懲罰に関しては本規程による。

第2条 本規程は、加盟団体（地域協会、都道府県協会、リーグ、連盟等）およびその役員、加盟登録団体（チーム）および役員・競技者に適用される。

第3条 懲罰の対象となる違反行為とは、次の通りとする。

- (1) アマチュア規程違反行為
- (2) 倫理的違反行為
- (3) 登録・移籍等に関する違反行為
- (4) 大会運営上の違反行為
- (5) 試合中の違反行為
ただし、審判の決定により警告、退場の処分を受けた者
- (6) その他提訴、検討、調査などによって発覚した違反行為

第4条 違反行為に対する罰則については、本協会専門委員会において審議され、その後本協会理事会において決定される。

第5条 違反行為者には、違反行為の内容により警告、けん責、罰金、特定数の試合の出場停止および特定期間の出場停止、あらゆる公的職務の一時的もしくは永久停止等の罰則が適用される。なお、これらの罰則は組み合わせることもできる。
ただし、その後の状況に応じて罰則の軽減をすることができる。

付 則

1. 本規程は、昭和58年11月17日より施行する。
2. 本規程の改正は、平成元年7月13日より施行する。
3. 本規程の改正は、平成5年4月1日より施行する。

懲 罰 基 準

1 国内において行われる公式競技会において、チーム、チーム役員、競技者の不祥事に対する懲罰基準を次のとおりとする。

1. 警 告

1.-1. 主審は以下の場合、競技者に警告を命ずる（退場はない）。

- (1) 反則行為
- (2) 危険な行為
- (3) 主審、線審の判定に対する非難、抗議等
- (4) 主審、線審、他の競技者、その他試合に立ち会っている人々に対する非難
- (5) 不正な行為
- (6) 非紳士的な行為
- (7) 策略的な行為（時間稼ぎ、意図的なハンド等）
- (8) 主審に無断で一時的に競技場を離れる
- (9) その他、スポーツマンらしくない行為（観客への無礼な仕種等）

罰則：警告の確認。場合によっては罰金も課す。

繰り返した場合：同一競技会において最低1試合の出場停止。場合によっては罰金も課す。（同一競技会において、前の試合で既に警告されている競技者への警告。内容は同一でなくてもよい。）

1.-2. 同一試合中に2度警告を受け、退場を命ぜられた場合（内容は同一でなくてもよい）。

罰則：最低1試合の出場停止。場合によっては罰金も課す。

2. 退 場

2.-1. 主審は以下の場合、退場を命ずる。

- (1) 著しい反則行為
- (2) きわめて危険な行為
- (3) 乱暴な行為
- (4) 主審、線審の判定に対する執拗な抗議

- (5) 他の競技者、その他試合に立ち会っている人々に対する侮辱
- (6) 警告を与えられた後、さらに不正な行為を繰り返す
- (7) きわめて非紳士的な行為
- (8) 戦略的な行為を繰り返す (1.1.7参照)
- (9) 主審に無断で抗議のために競技場を離れる
- (10) その他、きわめてスポーツマンらしくない行為 (1.1.9参照)

罰則：最低 1 試合の出場停止。場合によっては罰金も課す。

繰り返した場合：最低 2 試合の出場停止、および罰金。(内容は同一でもくてもよい)

2.1.2. 主審は以下の場合、競技者に退場を命ずる。

- (1) 主審および線審への侮辱

罰則：最低 2 試合の出場停止。場合によっては罰金も課す。

繰り返した場合：最低 4 試合の出場停止、および罰金。

2.1.3. 主審は以下の場合、競技者に退場を命ずる。

- (1) 他の競技者、チーム役員、その他試合に立ち会っている人々に対する乱暴な行為

罰則：最低 2 試合の出場停止、および罰金。

繰り返した場合：最低 4 試合の出場停止、および罰金。

2.1.4. 主審は以下の場合、競技者に退場を命ずる。

- (1) 他の競技者、チーム役員、その他試合に立ち会っている人々に対する著しく乱暴な行為 (乱闘、喧嘩等)

罰則：最低 6 試合の出場停止、および罰金。

繰り返した場合：特定期間 (最低 12 ヶ月) の出場停止、および罰金。

2.1.5. 主審は以下の場合、競技者に退場を命ずる。

- (1) 主審および線審に対する乱暴な行為

罰則：特定期間 (最低 12 ヶ月) の出場停止、および罰金。

繰り返した場合：永久的な出場停止。

3. その他の違反行為

- 3.1. その試合において主審が、既に何度か競技者に懲戒処分を課しているにもかかわらず、なおそのチームに違反行為があった場合。

チームに対する罰則：

- ①警告
- ②けん責
- ③罰金
- ④無効試合（場合によっては再戦の義務あり）
- ⑤減点もしくは得点の無効
- ⑥得点を3対0として試合を没収（ただし、すでに獲得された得点がこれよりかなりの差になっている場合、その得点は有効とする）
- ⑦退場
- ⑧観衆のいない試合の開催
- ⑨中立国における試合の開催
- ⑩現在、または今後の競技会への参加禁止

個人に対する罰則：

- ①警告
- ②けん責
- ③罰金
- ④特定数の試合の出場停止および特定期間の出場停止（またはいずれか）
- ⑤あらゆる公的職務の一時的もしくは永久停止

なお、これらの罰則は組み合わせることもできる。

- 3.2. チーム、チーム役員、競技者が試合継続を拒否したり、試合を放棄するなどの違反行為があった場合。

罰則：3.1.に準ずる

- 3.3. 試合中または試合終了後の、競技場内外における騒乱（観衆による競技場乱入、爆竹、花火、ロケット花火等の投入、その他の事件。この問題についてはFIFAの指示を参照）。

罰則：3.1.に準ずる。その試合開催の責任を負う、地域および都道府県サッカー協会もしくはリーグ・連盟に適用されるが、その際、事件の程度、およびそれが繰り返されたか否か等も考慮に入れるものとする。

4. 罰 金

4.一1. 罰金を課す場合は次の基準による。

- 1 試合の出場停止……………10万円以下の罰金
- 2 試合の出場停止……………20万円以下の罰金
- 4 試合の出場停止……………40万円以下の罰金
- 6 試合の出場停止……………60万円以下の罰金
- 12ヶ月の出場停止……………120万円以下の罰金

4.一2. アマチュア選手に対しては、罰金を課さないものとする。

II 国外で行われる競技会でのチーム、チーム役員、競技者の不祥事に対する懲罰については、原則としてIの懲罰基準による。

199 年 月 日

(選手名) _____ 殿

住 所:

クラブ名:

代表者名:

印

契約更新に関する通知書

貴殿と当クラブとの間に199 年 月 日締結した『プロ選手統一契約』は、来年1月31日をもって契約期間が満了いたします。

イ. つきましては、当クラブは、来年2月1日以降下記の条件をもって貴殿との契約を更新いたしたく、この旨ご通知申し上げます。

なお、現在の契約に優先契約条項（オプション条項）がある場合には、本書が貴殿に到達した時に、下記の条件をもって契約更新の合意が成立したものと取り扱われます。

ロ. しかし、当クラブは、来年2月1日以降、貴殿との契約を更新する意思はありませんので、この旨ご通知申し上げます。

なお、上記にともない、本年11月1日をもって貴殿の氏名等は『移籍リスト』に登録されることとなりますので、万一登録を希望されない場合には、速やかに当クラブ宛てご通知下さい。

記

※ 現在の契約における優先契約条項の有無：有・無（いずれかを○で囲む）

		現在の契約の内容	新規の契約の内容
契約期間		199 年 月 日から 1993年 1月31日まで	1993年 2月 1日から 199 年 1月31日まで
報酬	基本給	(年額) 金 _____ 円	(年額) 金 _____ 円
	出場給	(総額) 金 _____ 円	(総額) 金 _____ 円

(注) : ①上記イまたはロのいずれかを○で囲む。

②上記でロ（更新しない）を選択した場合は、新規契約の報酬欄にはいずれも0と記入する。

以上

[正本3部作成 ⇒ 選手、日本協会、クラブ]

199 年 月 日

移籍リスト登録申請書

財団法人 日本サッカー協会 御中

	住 所	
申請人	クラブ名	
	代表者	(印)

移籍リストの登録に関し、下記のとおり申請いたします。

記

1. 申請の目的（いずれかを○で囲む）

- イ. 新規登録
- ロ. 登録事項の変更
- ハ. 登録の抹消

2. 登録（変更・抹消）する事項

- (1) 選手の氏名：
- (2) 選手の生年月日： 199 年 月 日（ 歳）
- (3) 現在の契約の終了時期：199 年1月31日

登録申請受付年月日	年 月 日	受付番号	
-----------	-------	------	--

〔正本⇒日本協会、写し（事務局受付捺印後）⇒申請元クラブ〕

199 年 月 日

(選手名) _____ 殿

住 所:

クラブ名:

代表者名: (印)

最終提示額証明書

当クラブは、貴殿との次期（1993年2月1日以降）契約に関する交渉において、下記の報酬額を最終的に提示したことを証明いたします。

記

* 現在の契約の終了時期：1993年1月31日

	現在の契約の報酬額	最終提示額
基本給（年 額）	金 _____ 円	金 _____ 円
出場給（総 額）	金 _____ 円	金 _____ 円

以上

[正本3部作成 ⇒ 選手、日本協会、クラブ]

書式D

〔書式D〕

199 年 月 日

移籍承諾書発行依頼書

_____ 御中

住 所：

クラブ名：

代表者名： 印

選 手 名		生年月日	19 年 月 日 (歳)
-------	--	------	----------------

貴クラブ所属の上記選手と、下記1の条件にて契約いたしたいと存じますので、当該選手の移籍承諾書を発行していただきたく、お願い申し上げます。

なお、移籍金につきましては下記2のとおり合意していることを確認いたします。

記

1. 選手との契約条件

契約期間 : 199 年 月 日から199 年 月 日まで

報 酬 : 1. 基本給 金 _____ 円 (年額)

2. 出場給 金 _____ 円 (総額)

2. 貴クラブへの移籍金

移籍金 : 1. 金 額 金 _____ 円

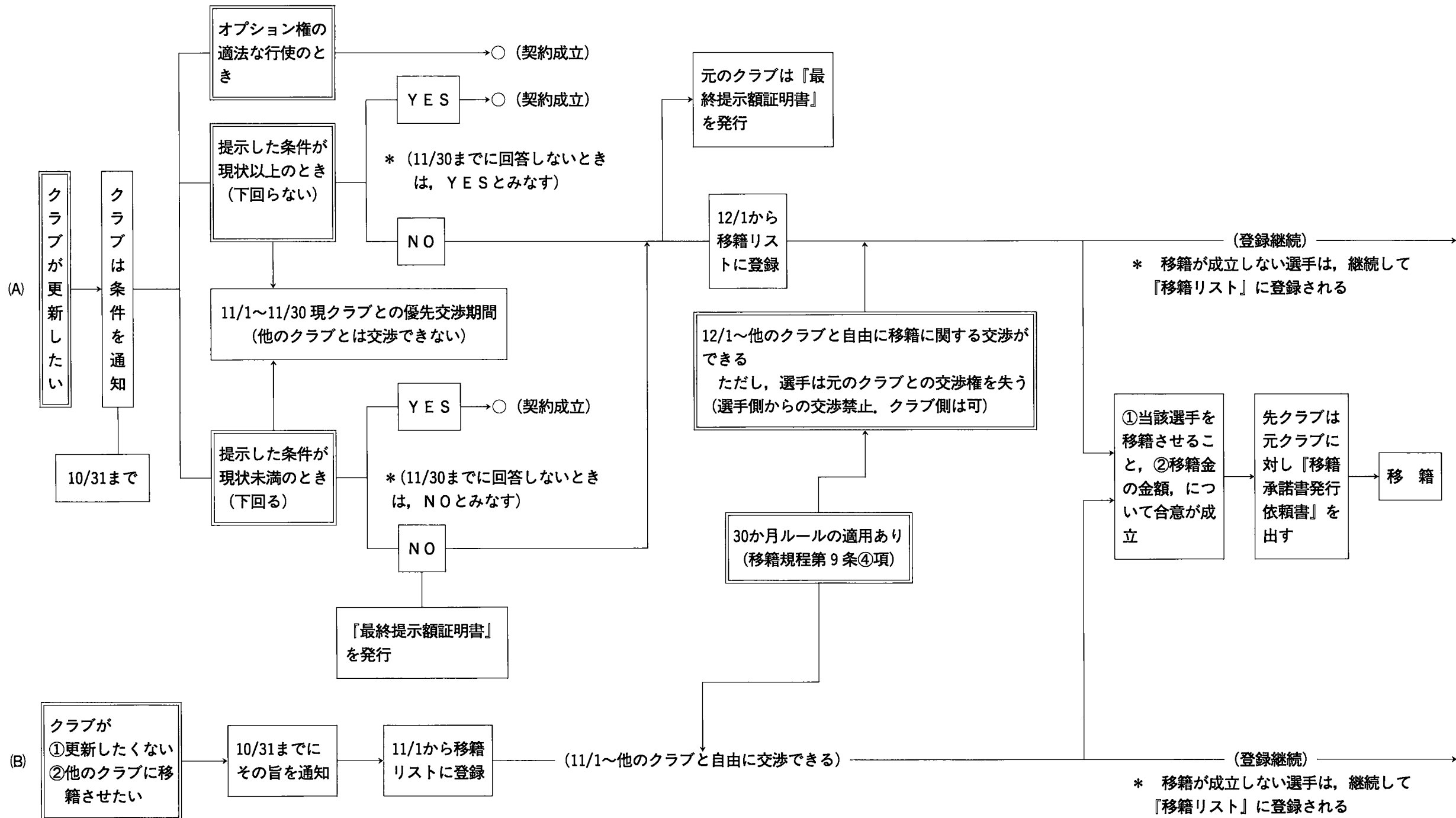
2. 支払い条件 _____

以 上

〔正本⇒移籍先クラブ、写し⇒移籍元クラブ、選手〕

契約更新と移籍交渉に関する手続き

移籍規程第16条第2項に基づく特別



© 1993 社団法人日本プロサッカーリーグ

〒101 東京都千代田区内神田3-19-8 櫻井ビル4階

TEL (03) 3257-4871

発行者／川淵三郎

印刷／株式会社精興社

社団法人 日本プロサッカーリーグ